

Doc. 3179 Evid.

Folder 24

(169)

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

Doc. No. 3179

Date 24 October 1947

ANALYSIS OF DOCUMENTARY EVIDENCE

DESCRIPTION OF ATTACHED DOCUMENT

Title and Nature: Excerpts from Bound book, "Opium Committee Report."

Date: 12 December 1938 Original (X) Copy () Language: Japanese

Has it been translated? Yes (X) No ()

LOCATION OF ORIGINAL: Document Division

SOURCE OF ORIGINAL: Welfare Bureau

PERSONS IMPLICATED: KIDO, Koichi; MATSUMOTO, Tadao; MITANI, Takanobu; ISHIWATA, Sotero; OYA, Hanjiro, and other members of the Opium Committee

CRIMES TO WHICH DOCUMENT APPLICABLE: Violation of the International Treaty on Opium.

SUMMARY OF RELEVANT POINTS (with page references):

Minutes of Proceedings of the 12th Session of the Opium Committee.

During this meeting, the following decisions were made:

(1) To dispose of the cocaine stored by the Formosan Drug. Co., Ltd.

Large quantities were to be disposed of within three years, whether used as a medicine or not.

(2) To increase the acreage of opium poppies in KOREA by 4,900 acres in 1939.

Large demands in Manchukuo under the Opium Monopoly instituted by the Japanese in 1933 were to be met.

These minutes indicate that the Japanese Army by collecting enormous revenues from the Chinese through the Opium Monopoly, was financing much of her military ventures.

Analyst: 1st Lt. Fred F. Surukawa

Doc. No. 3179

委員會報告

阿片委員會

Doc No. 3179

昭和七年三月

第一回及第二回委員會報告

秘

阿片委員會

Doc No 3179

第一回阿片委員會

昭和六年四月二十五日午前十時三十分 內務大臣官邸ニ於テ開催ス

出席者

委員長

會 委 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

小	河	赤	次	潮	古	松	永	矢	安
		木	田		屋	田	井	吹	達
原	田		大	惠		道	松	省	謙
		朝	三	之	慶				
直	烈	治	郎	輔	隆	一	三	三	藏

第一回阿片委員會

同 同 同 同 同 同

- 泉 二 新 熊
- 今 井 田 清 德
- 廣 幡 忠 隆
- 堀 切 善 次 郎
- 殖 田 俊 吉
- 生 駒 高 常
- 佐藤(庄)、白松、安香、佐藤(龍)
- 小野、棟居、井上各幹事
- 奥村、伊藤、保見、諸富、各書記

議事速記録

安達會長 一寸御挨拶ヲ申上ゲマス、阿片委員會開設ノ始メニ當リマシテ各位ト相會シテ一言致シ
 マスル機會ヲ得マシタコトヲ私ハ深く欣幸トスル處デアリマス。本會ノ前身タル外務省ニアリマシ
 タ阿片委員會ガ始メテ設ケラレマシタノハ大正十五年デアリマシテ、官制ニヨルモノデアリマセ
 スガ、阿片、麻藥類ニ關スル外務大臣ノ諮問機關トシテ献贊スル處ガ多カッタノデアリマス。然ル
 ニ御承知ノ通り近時阿片及ビ麻藥類ニ關スル事項ガ國內問題ト致シマシテモ又國際問題ト致シマシ
 テ頓ニ重要性ヲ加ヘテ參ツタノデアリマシテ、殊ニ我國ノ如ク大消費地タル東洋諸國就中支那、印
 度ニ隣接スルモノニアリマシテハ、コレガ對策ニ就キマシテハ最モ慎重ナル考慮ヲ要スルコトハ言
 フ俟タナイ處デアルト存ジマス。又阿片及ビ麻藥ニ關スル國際會議モシバ、聞カレルヤウニナリ
 マシテ、來ル五月二十五日カラハ「スイス」ノ「ジュネーヴ」ニ於テハ麻藥製造制限會議ガ開催セ
 ラル、トイフヤウニ、阿片麻藥ニ關スル事項ハ將來複雑多岐ヲ加ヘル狀勢ニアリマス、故ヲ以テ今
 般官制ヲ以テ阿片委員會ヲ設置セラレマシテ、コレヲ内務大臣ノ監督ノ下ニ於テ各省大臣ノ諮問ニ
 應ジテ阿片麻藥ニ關スル重要事項ヲ調査スルコト、ナツタノデアリマス。御繁忙中トハ思ヒマスガ
 本件ニ關係アル各位ヲ委員トシテ御盡力ヲ願フコトニナリマシタカラ、何卒各位ノ御努力ニヨリ本

委員會ノ使命並ニ目的ヲ達成スルヤウニ切望シテ止マナイ次第デアリマス。コ、ニ本委員會ノ趣旨ヲ申上ゲ併セテ本會ノ將來ニ對スル希望ヲ一言シテ開會ノ辭ト致シマス。先ヅ會ノ順序ト致シマシテ議事規則案ヲ議題ニ付シマス。

〔伊藤書記朗讀〕

安達會長　ドウカ御意見ガアリマシタラ……

河田委員　第十條ハ讀會ヲ省略スルコトヲ得トイフコトナノデスカ。

赤木委員　サウイフ意味デゴザイマス。

安達會長　他ニ何モ御注意ニナルコトハアリマセスカ。

松田委員　大體何カスウイフ御手本ガアツタノデスカ、別ニ御定メニナツタノデスカ。

赤木委員　コレハ外ノ委員會ノ例ヲ執リマシタガ、少シク細カク規定シ過ギタト思ヒマス。

松田委員　私ノ氣ノ付イタノハ二十一條ニ「可否ヲ決スルノ法ハ起立、記名投票及無記名投票ノ三種トシ會長便宜之ヲ用フベシ」トアルガ、コレハソノ他ノ方法ヲ簡便ナ時ニハ會長ガ御採用ニナツテモヨイト思ヒマス。

赤木委員　コレハ實際サウヤツテ居リマス。

小原委員　第三條ニ「議事ハ委員半數以上出席スルニアラザレバ之ヲ開クコトヲ得ズ」サウシテ但

書ニ例外ガ書イテアリマス、一但シ緊急ノ議事アルトキ若ハ會長ニ於テ半數以上ノ出席ナキモ差支ナシト認ムルトキハ之ノ限ニアラズ」二人デモ三人デモヨイト云フコトニモナル、何カ制限ガナクテハドウカト思ヒマス、コレダケヤカマシイ規則ガ出來テ見ルト……

赤木委員　コレハ理窟ハイロノアルト思ハレルノデスカ、衛生局ノ關係デスウイフ種類ノ委員會ノ前例ヲ追ツタノデアリマス、中央衛生會、保健衛生調査會等ノ規則ガスウイフヤウニナツテ居リマスノデ。

河田委員　非常ニ細カク規定ガシテアルニ拘ラズ第二十九條ハソレニ反シタヤウナ規定デスカ、ソレデヨロシウゴザイマスカ。

赤木委員　コレハ結局ハ會長ノ諮問委員會デゴザイマス、結局纏マラナケレバコレハ多數ノ意見ダトイフコトニスルノ外ナイ。

安達會長　大體コレデヨロシウゴザイマスカ。

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

安達會長　ソレデハ議事規則ハ原案ノ通り決シマス。次ニ席次番號ヲ決定シナケレバナラス。

赤木委員　席次ハ議事規則ニヨリマスレバ抽籤決定メルトイフコトニナツテ居ルノデアリマスガ、實際ノ便宜カラ申シマスレバ只今差當リヤツテ居リマスヤウニ各省ノ方々ガ纏ツテ居ルコトガ便利

ダト思ヒマスノデ、若シ御異議ガゴザイマセヌケレバコノ御着席ノ儘順番ヲ付ケルコトニシタガヨカラウト存ジマス。

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

安達會長　ソレデハ現在ノ御着席ノ順ニヨツテ席次番號ヲ付ケルコトニ致シマス、次ニ麻藥製造制限會議ニ關スル方針。

赤木委員　案ヲ一寸朗讀致シマス。

〔伊藤書記朗讀〕

赤木委員　麻藥製造制限會議ニ關スル方針ノ案ガコ、ニ諮問ニナツテ居ルノデアリマスガ、コレヲ御説明申上ゲマスル前ニ麻藥ノ製造制限會議トイフモノガ今日迄ドウイフ經路ヲ執ツテ參リマシタカトイフコトヲ簡單ニ御説明申上ゲタイト存ジマス。麻藥ノ製造制限ニ關シマシテハ大正十三年カラ十四年ニ「スイス」ノ「ジュネーヴ」ニ於キマシテ國際阿片會議ガ開カレマシテ、所謂「ジュネーヴ」阿片條約トイフモノガ作ラレマシタガ、麻藥ノ濫用ノ防止ニ就キマシテハ、ソノ數量ヲ制限スルニアラザレバ到底所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイトイフノデ、昭和四年九月ニ國際聯盟總會ニ於キマシテ全會一致ヲ以テ、コノ「ジュネーヴ」條約ノ第四條ノ(ロ)、(ハ)、(ト)トイフモノニ藥ノ名ガ上ツテ居ルノデアリマスガ、コレニ規定セラレテ居リマスル處ノ麻藥即チ「モルヒネ」、「ヘロ

イン」、「コカイン」等ノ製造ヲ國際協定ニヨツテ制限ヲスルノ原則ヲ承認致シマシタノデアリマス、サウシテ阿片諮問委員會ヲシテソノ制限ノ計畫ヲ樹テシメルトイフコトヲ決議致シタノデアリマス、コノ決議ニヨリマシテ阿片諮問委員會ハ一九三〇年即チ昭和五年一月ニ麻藥製造制限案トイフモノヲ作成致シマシテ、同年五月ノ理事會ノ承認ヲ經タノデアリマス、コノ阿片諮問委員會ノ作リマシタ制限案ノ骨子ハ大體次ノヤウニナツテ居ルノデアリマス。即チ各國ヲシテソノ醫藥用及ビ學術用ノ需要見積リヲ編成サセマシテ、ソノ總量ヲ以テ製造國ノ製造スル限度トスルコト、第二ハ製造スベキ總量ハ製造國ノ間ニ協定セラレマシタ處ノ割當率ニ從ヒマシテ、製造國ガソノ割當ダケヲ製造スルコトニスル、第三ハ各國ノ需要ノ見積ノ數量ヲ圓滿ニ供給シ得ルヤウナ方法ヲ採ル、斯ウイフ原則ヲ定メタノデアリマス、尙阿片諮問委員會ハ製造國政府又ハ製造業者ガ製造スル麻藥ノ各自ノ割當額ノ決定及ビ消費國ノ間ニ於ケルソノ適當ナル分配方法ニ關シマシテハ豫メ考慮シテ置タコトガ會議ノ成功及ビ進捗ヲ圖ル上ニ於テ便利デアラウ、斯ウイフコトヲ認メマシテソノ結果昭和五年ノ十月カラ十二月ニ亘リマシテ「ロンドン」デ所謂麻藥ノ製造國會議トイフモノヲ開イタノデアリマス、コレニ參加致シマシタ國ガ日、英、佛、和蘭、瑞西、獨逸、亞米利加、伊太利、土耳其、露西亞、斯ウイフ麻藥ヲ製造致シテ居リマス諸國ガコレニ參加致シタノデアリマス、コノ「ロンドン」ノ會議ニ於キマシテハ、ソノ主眼ト致シテ居リマス處ノ各製造國ノ製造割當量トイフコト

ニ關シマシテ、第一「モルヒネ」ニ就イテハ獨逸、佛蘭西、瑞西等ノ代表ハ英、佛、獨、瑞西デ出來テ居リマス處ノ「カルテル」ノ協定ヲ受諾スルノ準備ガアルトイフコトヲ述ベテ居ルノデアリマス、併シ英吉利ノ代表、コレハ印度及英吉利ノ代表デアリマスガ、ソノ人ノ反對ガアリマシタ、メニ今年一月ノ諮問委員會ノ前ニ於テコノ割當率ニ就テハ討議スルコトニナツタノデアリマス、第二「コカイン」ニ就キマシテハ獨逸、佛蘭西、英吉利、和蘭、瑞西デ出來テ居リマス處ノ「カルテル」ノ協定ヲ假リニ承認スルコトニナツタノデアリマスガ、コレニ就キマシテハ日本、亞米利加、露西亞、土耳其ノ代表ハコレ等ノ「ロンドン」會議デ作りマシタ制限案ニ就キマシテ留保ヲ何レモ致シマシタノデアリマス、「ロンドン」會議デハ製造國ヲ三種ニ區別致シマシテ、ソノ第一種ハ自分ノ國ノ需要ノタメニスル以外ニ相當大量ノ輸出ノタメニ製造ヲシテ居ル國、例ヘバ佛蘭西デアルトカ、獨逸デアルトカ、和蘭デアルトカ、瑞西デアルトカ、英吉利トイフヤウナ國ハ第一種ノ國ノ所謂製造國トイフノニ致シテ居ルノデアリマス、第二ハ自國ノ需要ノタメニ製造ヲ致シテ居リマスケレドモ現在餘リ大量ノ輸出ヲ致シテ居ラヌモノ、例ヘバ日本デアリマス、トカ、亞米利加デアリマストカ、或ハ露西亞、斯ウイフ國ヲ第二種類ノ國ト致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ第三ハ自分ノ國ノ需要ノ一部分ノミヲ製造スルモノ、例ヘバ伊太利ノヤウナモノデアリマシテ一部分ハ自國デ製造致シマスケレドモ、ソノ他ハ外國ノ輸入ニヨツテ需要ヲ充タシテ居ル、斯ウイフ製造國ヲ三種ニ

區別シテ居ルノデアリマス、サウシテ自國ノ需要ノタメノ外ニ相當大量ノ輸出ノタメニ製造ヲナシテ居リマス國ダケニ世界ノ輸出トイフコトヲ獨占サセマシテ、コレニ麻藥ノ製造輸出ヲ認メル、ソレカラ自國ノ需要ノモノダケヲ原則トシテ製造致シテ居リマシテ、輸出ヲ多ク致シテ居ラヌ國即チ自國需要ノタメニ製造ハスルケレドモ、現在大量ノ輸出ヲシテ居ナイ國ニハコレハ將來任意輸出ハアル程度迄許ス、斯ウイフコトニ致シマシテ、又現在製造致シテ居リマスケレドモ他國カラ輸入ヲ受ケテ居ル國ガ將來自國ノ需要ノタメニ製造ヲシヤウ、斯ウイフ場合ニハ第一種ノ國即チ輸出國ト協議ヲ致シマシテ、輸出國ノ持分ヲ貰ツテ製造ヲ新ニ始メルコトガ出來ル、大體斯ウイフヤウナ意味ニ於テ案ガ出來テ居ルノデアリマス。コノ案ニ就キマシテハ日本ハ次ニ申上ゲルヤウナ態度ヲ執ツテ來タノデアリマス、日本ハ重要ナ製造國デアリマシテ、ソノ領地及ビ屬地ノ需要ノ全部ヲ供給致シテ居ルノデアリマスガ、現在ニ於キマシテハ政府ノ採用スル嚴重ノ措置ノ結果ト致シマシテ大規模ノ輸出ヲ致シテ居リマスケレドモ、日本ノ政府ト致シマシテハ一九二五年ノ「ジュネーブ」條約ノ規定ニヨリマシテ相當ナル需要ガアル時ハ其品ノ輸出ヲナスノ意志ヲ持ツテ居ル、從テ總テノ製造國ニ對シテ公平ノ分配ヲナスタメニ割當ノ基礎ヲ發見シテ貰ヒタイ、斯ウイフ公平ノ基礎カラ協定サレル迄實際日本政府ニ取ツテ持分ノドレダケヲ欲シイトイフヤウナコトヲ言フノハ甚ダ困難デアル、何等確定的ノ提議ヲスルコトハ出來ナイノデアリマスカラ、日本ト致シマシテハ「ロン

「ドン」會議ノソノ案ニ致シテハ一切ノ決定ヲ留保スル、斯ウイフ意見ヲ述ベテ居ルノデアリマス。尙「ロンドン」會議ニ於キマシテハ麻藥ノ配給ニ關シマシテ中央局ヲ設ケルトイフコトニナツテ居ルノデアリマス、本年ノ一月ノ阿片ノ諮問委員會ニ於キマシテハ前申上ゲタヤウナ經過デ以テ充分ニ纏ラナカツタノデ、更ニ今年ノ五月「ジュネーブ」ニ於テ開カレマスル處ノ製造制限會議ニ附議セラル、處ノ制限條約案トイフモノヲ作成致シマシタノデアリマスガ、コノ一月ノ諮問委員會ニ於ケル制限條約案ニ就キマシテ消費國ノ代表ハ輸出國ニヨル製造割當方法ニ關シテ異議ヲ唱ヘタモノガアリマスノデ、ソノ委員會ニ於テハ現在大量輸出國デナイ國ガ將來大量輸出國トナリ得ル路ヲ開カナケレバナラス、尙制限會議ニ於テハ一月ノ諮問委員會デ出來テ居ル制限案バカリデナク、他ノ制限案ニ就テモ討議ノ基礎トナシ得ルトイフコトニシマシテ未ダ確定的ノ案ガ纏ラスデ今日ニ至ツテ居ルノデアリマス、日本ト致シマシテハ從來世界ノ正當需要總量ヲ製造國ノ間ニ割當ルトイフコトニハ異存ハナイトイフ態度ヲ執ツテ居ルノデアリマスガ、只ソノ割當ハ正當公平ナル基礎ニ基イテ割當ルノデナケレバナラストイフコトヲ力説シテ來テ居ルノデアリマスガ、今日迄各國トモノノ點ハ利害ガ異リマスノデ未ダ決定シマセヌ、即チ割當率トイフモノガ決マツテ居ラスノデアリマシテ、現ニ廻ツテ居リマス條約案ニヨリマシテモ割當率ハ未定ニナツテ居リマス、コレハ今度ノ會議ニ於ケル折衝ノ重要ナ問題ニナルデアラウト思ツテ居リマス、ソレガ決マリマセンデ一月ノ阿片諮

問委員會ノ開會ヲ見タトイフヤウナ次第デアリマスノデ、日本ト致シマシテハ阿片諮問委員會ノ開會ノ前ニ當リマシテモ關係國ノ代表ト内協議ヲ試ミマシテ、製造割當ノ方法ニ就テ各國ガ納得スルヤウナ案ガ得ラレサウモナイヤウデアリマシタラ、寧ろ割當ノ決定トイフコトハ止メテ、各國ガ正當ノ需要ニ基ク注文デアツタナラバソノ注文ニヨツテ製造ヲシタラドウカトイフコトヲ日本トシテハ主張ヲシテ見タノデアリマスガ、會議ノソノ時ノ形勢デハ日本ニ對シテモ相當ノ輸出量ヲ割當ヤウ、ソノ相當ノ輸出量トイフコトハ全ク未ダ纏ラナイガ、多少ノ割當ハ得ラル、ヤウニシヤウト申シテ來テ居ルノデアリマス、併シナガラ割當率ノ決定トイフコトニ就キマシテハ各國トモ未ダ納得スルヤウナ案ガ出來テ居リマセヌノデ、日本ト致シマシテハ結局一切ノ割當率決定ニ關スル問題ヲ五月ノ本會議ニ讓ルトイフコトヲ主張シテ居ルノデアリマス、今度コノ會議ニ日本カラモ代表ガ出ル譯デアリマスガ、コレ等ノ點ニ就キマシテハドウイフ態度ヲ持ツテ居ルカトイフ方針ヲ決定シテ置ク必要ガアリマスノデ、コノ方針案ノ諮問ガ出マシタ譯デアリマス、コノ方針案ノ内容ヲ御説明申上ゲマス。

只今申上ゲタヤウナ經過ヲトツテ來テ居リマスところノ麻藥製造制限條約案トイフモノ、概容ヲ御説明申上ゲヤウト思ヒマス、コレハ御手許ニ廻ツテ居ルト存ジマスガ、條約案ハ大分長イモノデアリマスカラ、コノ要點ダケヲ御説明申上ゲマス、第一コノ條約ノ目的デアリマスガ、コノ條約ハ麻

藥ノ製造量ヲ世界ノ醫藥用、學術用及ビ麻藥ヲ原料ト致シマシタル處ノ藥品ノ製造ニ要スル量ニ限定ヲ致サウトイフノデアリマシテ、ソノ製造量ヲ制限スル結果ト致シマシテハ麻藥ノ濫用ノ防止、濫用ニ基イテ起リマスル處ノ中毒者ノ發生ヲ防グコトガ出來ルトイフ趣旨カラコノ條約ヲ締結シヤウトイフコトニナツテ居ルノデアリマス、コノ條約ノ適用ヲ致シマスル處ノ藥ノ種類ハ、コノ條約案ニヨリマスレバ第一ガ「モルヒネ」及ビ生阿片カラ直接製造セラレマシタモノデアツテ、「モルヒネ」二〇%以上ヲ含有スルモノ或ハ「バントボン」、「ナルコボン」ノヤウナモノガ第一種デアリマス、ソレカラ第二ハ「ヘロイン」、ソノ他「モルヒネ」ノ「エステル」デアリマス、第三ハ「コカイン」、ソノ他「エクゴニン」ノ誘導體、第四ハ「オイゴタール」、「ヂョヂット」、「ヂラウヂット」、「アセヂコン」デアリ、コレ等ハ何レモ阿片「アルカロイド」カラ化學的操作ヲヤリマシテ製造セラレマシタ藥劑デアリマスガ、以上ノヤウナ藥ヲコノ條約ニヨツテ制限ヲシヤウトイフノガ目的物トナツテ居ルノデアリマス、然ラバコノ製造制限ハドウイフヤウナ方法ニヨツテ製造制限ヲシヤウトイフノデアアルカト申シマスレバ、製造制限ノ手段ト致シマシテハ世界ノ正當需要量トイフモノヲ見積リマシテ、ソノ見積リニ基キマシテ世界ノ製造數量ヲ決定シ、サウシテ一種ノ國際「カルテル」ノ協定ニヨリマシテ製造制限ノ實ヲ舉ゲヤウトスルノデアリマシテ、先ヅ需要量ノ見積リヲスルノデアリマス、各國ニ於キマシテソノ國ノ醫藥用、學術用及ビ製劑ノ原料トシテ必要デアリマスル處

ノ一ケ年ノ需要量ヲ見積リマシテ、コレヲ條約ノ規定ニヨツテ設ケマス處ノ一定ノ機關即チ國際聯盟ノ機關ニ需要量ヲ各國カラ提出スルノデアリマス、コノ國際聯盟ノ機關ニ於キマシテハ各國カラ提出致シマシタ處ノ見積リヲ査定スルノデアリマスガ、各國ガ全部見積ヲ出シテ呉レ、パヨロシイノデアリマスガ、假リニ見積ヲ出サナイ國ガアツタ場合ニハドウシテ需要量ノ見積ヲスルカト申シマスレバ、コレハコノ中央機關ニ於キマシテ適當ニ見積ヲナス、サウイフコトニヨリマシテ世界ノ正當需要量トイフモノヲ先ヅ決スルノデアリマス、ソノ決メタ數量ダケヲ世界デ製造スル、ソレ以上ハ製造ハシナイトイフコトニスルノデアリマス、ソレカラ次ハ自國用ノ麻藥ノ製造制限デアリマスガ、コノ條約ノ實施前ニ既ニ自國用ノ麻藥ヲ製造致シテ居リマスル國ハ見積ニ計上シタ數量ノ製造ハコレハ自由ニ出來ルノデアリマスガ、條約實施後ニ從來輸入シテ自國用ノ麻藥ニ當テ居タ國ガ自分ノ國デ自分ノ國ノ需要ヲ充タサウトイフ意味カラ新ニ製造ヲシヤウトイフ場合ニ豫メソノ製造セントスル數量ヲ申出テ、サウシテ後ニ製造ヲスル、斯ウイフコトニナツテ居ルノデアリマス。ソレカラ輸入ノ制限ト致シマシテハ原則トシテ輸出國デナイ處ノ國ノ輸入税ハ再輸出ヲ目的トスル場合ヲ除キマシテ見積ノ中ニ記載セラレテ居ル處ノ輸入量ヲ超過スルコトヲ禁ジテ居リマス、例ヘバ或ル國ガ一定ノ量ヲ需要スル、斯ウイフコトヲ見積ツテ居ル際ニハソノ國デ製造サレルモノヲ差引キマシテ後輸入ノ豫定デアリマス、コノ輸入ノ豫定量以上ニ輸入スルコトハ禁ズルノデアリマス。

但シソレガ輸入致シマシテ再輸出スルトイフコトニ就テハ別ニ計算スルノデアリマスガ、ソノ國ノ需要量以上ノ輸入ヲ禁ジャウトイフノデアリマス。

次ニ輸出ノタメニスル輸出ノ割當デアリマス、世界ノ總需要量ノ中カラ自國ノ製造量ヲ差引キマスト、ソノ残りノ數量ガ即チ製造シナイ國或ハ一部分ヲ製造スル國ニ對シテ供給スル量ニナルノデアリマス、ソノ殘量ノ製造ハコノ條約ニヨツテ輸出國ト指定サレタ國ダケデ製造スル、ソノ輸出國ト指定サレタ國ニ何等カノ割合ヲ以テコレヲ割當ヤウトスルノデアリマス、コノ成案ニ於キマシテ輸出國及ビ割當率ハ第十條ニ藥ノ名前ガ書イテアルダケデ、何處ノ國ニドノ割合デ當ルカトイフコトハ今日迄協定ノ見込ガアリマセヌノデアリマス、コノ問題ニ就キマシテハ昨年ノ冬「ロンドン」ノ準備會議ニ出席シタ國ノ意見デハ、既ニ歐洲ニ存在シテ居リマス處ノ「カルテル」ニ加盟シテ居ル會社ガ加入スル國ヲ輸出國ニスルトイフコトニ意見ノ一致ヲ見テ居ルノデアリマス、サウシテ日本ハコレ等ノ「カルテル」ニ加盟シテ居リマセヌノデ、日本等ハナルベクコノ輸出國カラ除外シヤウトイフコトヲ計畫シテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、只準備會議ニ於キマシテコノ製造ノ割當率トイフモノニ就キマシテ各國ノ利害ガ一致致シマセヌノデ、未ダ決定ヲ得マセヌデ今日ニ到ツテ居ルノデアリマス、サウシテコノ割當率ノ有効期間ハ二ケ年ヲ原則トシテ居リマシテ、ソノ後ハ關係國ノ協議ニヨリマシテコレヲ更新スルトイフコトニナツテ居リマス、コノ點ニ就キマシテ今度モコレ

トハ各國ノ政府ガ各々ソノ責任ヲ以テ輸出入ヲ統制シテ居ル上ニ更ニサウイフコトヲスルトイフコトハ適當デナカラウカト考ヘラレマス、殊ニ日本ノヤウナ遠隔ノ國ニアルモノガ「カルテル」ノ機關ニヨツテ輸出入ヲ統制サレルトイフコトハ甚ダ不都合デアラウト考ヘラレマスノデ、コノ點ハ反對致シタイト考ヘルノデアリマス。

次ハ日本ノ別個ノ主張デアリマスガ、從來カラモ斯ウイフ主張ヲ機會アル毎ニ述ベ來テ居ルノデアリマスガ、即チ麻藥ノ製造制限ニヨリマシテ不正取引、密造ヲ防止シヤウトイフコトガコノ目的デアリマス、併シソノ目的ヲ達スルタメニ密造ヲ防止シ、不正取引ヲ防止スルトイフヤウナコトノ實ヲ舉ゲルニハ現在ノ如ク各國ガ單ニカ、ル條文ニコノ麻藥ノ統制ヲ任シテ置イテ、不正取引、密造ヲ防止ガ出來ルトイフコトハ本據ツテ魚ヲ求ムルノ類デハナカラウカト考ヘマスルノデ、日本ニ於キマシテハコノ點ニ就キマシテハ本當ニ各國ガ不正取引、密造防止ヲセムトスル誠意ガアルナラバ、國家ガ專賣制度トイフヤウナ責任ヲ以テヤルヤウナ制度ヲ實施シテ、國家ガ麻藥ノ防止ヲスルノデナケレバソレハ困難デアラウト考ヘラル、トイフノデ、各國デ麻藥ノ專賣制度ヲ實施スルトイフ意見ヲ從來カラ主張シテ來タノデアリマス、コレモ日本ガ麻藥ノ統制トイフコトニ就テ日本ノ國家トシテ強硬ノ意志ヲ持ツテ居ルトイフコトヲ證明スル趣旨カラ致シマシテ、國家專賣制度ノ主張ヲ尙續ケルコトニ致シタイトイフノデアリマス。

以上が大體コノ條約案ニ對スル方針ト致シマシテ重要ナ點ハ考ヘテ居リマシテ、コ、デ御審議御決定ヲ願ヒタイト考ヘテ居ル點デアリマス、尙コノ條約案ハ非常ニ細カクナツテ居リマスノデ、各條項ニ就テハマダ細カイイロノナ問題ガアルノデアリマスガ、ソレ等ノ點ハ内務省、外務省、拓務省ノ三省ガ密接ナ關係ガアリマスノデ、ソノ三大臣ニ御一任ヲ願ヒタイ、斯ウイフ趣旨デ本案ガ出來テ居ル次第デゴザイマス、尙御質問ニ應ジテ御答ヘ致シマス。

河田委員　コノ第一號議案ノ中ノ初メノ制限ニ對スルコノイ、(ロ)トアツテ(ロ)ノ第二行ノ「前年輸出ヲナシタル國ハ注文ナクモ前年輸出數量ノ五〇%ノ範圍内ニ於テ豫メ製造シ得ルコト」コノ輸出數量トイフノハ各藥種毎ニソレノ異ルノデ麻藥トシテ各國ノ輸出ハ……

赤木委員　コレハ國際聯盟デ非常ニ詳細ニ調べテアリマシテ、御手許ニ上ゲテアリマス。

矢吹委員　他ノ方法ニヨリマスト自由競争ニ任カセルトイフコトニ考ヘマスガ、サウスルト自然價格ガ安イ國ガ輸出サレル國ニナル、サウイフコトニナリマス場合ニ日本ナドハ「ヨイロツバ」ニアル國トソノ價格ノ競争ヲシテ輸出ヲナシ得ル見込ガアル譯デスカ。

赤木委員　コレハ現在ノ處デハ日本ハ輸出ヲ致シテ居ラナイノデアリマスガ、ソレハ一ツハ日本ニ於テハ原料ガ高イ、原料ガ高イタメニ外國ヨリモ製品ノ高イトイフコト、一方製造ニ關係スル點カラ申シマスレバ、將來ノ市場ハ日本ニ便利ニナル、原料ガ安ク出來ルヤウニナレバ相當ニ競争シ得ル

ト考ヘテ居リマス、原料ニ就キマシテハ現在ハナルベク國內ノ原料ヲ用フルトイフ主義ヲ執ツテ居リマスカラ國內ノ高イ原料ヲモツト安クシ得ル餘地ガアルト考ヘテ居リマスノデ、將來ハ相當ニ出シ得ルコトニナラウカト信ジテ居リマス。

河田委員　コノ「ヨイロツバ」ニアリマス「カルテル」ノ中ニ星ハ入ツテ居リマセスカ。

赤木委員　入ツテ居リマセス、亞米利加ハ自給自足デ亞米利加以外ニハ出シモシナイシ、賣リモシナイトイフ方針デ行ツテ居リマス。

河田委員　今赤木君ノ御説明ノ將來市場ノ關係カラ製造スル日本ハ不利デアラウトイフ御陳述ニナリマシタガ、コレニ充分力ヲ持ツヤウナ製藥會社ハ見込ガアルノデスカ。

赤木委員　ソノ點ハ現在製藥會社デモ相當ニ製造能力ハ持ツテ居リマス、一番競争スル上ニ於テノ困難ハ原料デアリマス、將來原料ガ出來ルヤウニナレバ充分競争ガ出來マス、御承知ノ通り日本ハ阿片ヲ專賣ニシテ居リマシテ、ソノ阿片ノ專賣價格ガ外國阿片ヨリハズツト高イ、「コカイン」ニシマシテモ臺灣ノ「コカ」葉ヲ入レテ居リマス、コレガ非常ニ高イモノデアリマス、サウイフ譯デ原料ノ點ニ於テ非常ニ不利益デアリマス、コレ等ノ原料ハモツト安クシ得ルモノデナイカト思ヒマス、競争ヲシヤウトイフナラ原料モ外國ト同ジヤウニシテヤラナケレバナラヌガ、今スグハムヅカシイト思ヒマスケレドモ、漸次サウスベキモノデ、經濟上ノ不利カラ來ル競争ノ出來ナイトイフノハ止

ムヲ得スト思ヒマスガ、少クモ日本ガ「ヨーロッパ」諸國デ出來テ居ル「カルテル」ダケガ世界ノ市場デ日本ガサウイフコトニ手ヲ出サストイフテ引込ム必要ハナイト思ヒマス、最近ニハ日本ニモ多少ノ割當ヲヤルトイフコトニナツテ來テ居ルヤウデアリマス、ソレハ日本ガ考ヘテ居ル處ノホンノ僅カバカリノコトノヤウニ思ハレル。

泉二委員 原料ヲ將來安クシ得ル見込ガアルトイフ、ソレニ關聯シテ素人ガ判ラナイ處ヲ御伺ヒシマスガ、原料トイフノハ阿片ノ原料トイヘバ罌粟ノ栽培トイフヤウナ問題ト關聯シテ來ルノデセウカ。

赤木委員 「モルヒネ」及ビ「モルヒネ」ヲ原料トスルヤウナ藥品、ソレノ原料ハ所謂阿片、阿片ノ價格如何トイフコトデアリマス、今日日本デハ阿片ヲ百姓カラ買上ゲ總テ政府ガ賠償シテ居リマス、ソノ賠償價格ナルモノガ相當高イノデアリマス、ソレデ近年物價ノ下落或ハ阿片ハ大體麥作ニ相當スルモノデスカラ、麥作ノ收入ト比較致シマシテ年々下ゲテシマフ、餘リ下ゲルト百姓モ困ルモノデスカラ、麥ヨリモマダ相當ヨイノデアリマスガ、年々下ゲツ、アリマス、ソレカラ「コカイン」ノ原料ハ「コカ」葉デアリマスガ、コレハ日本ニ全然生産ガナカツタノデアリマシテ、南洋若クハ南米邊リカラ來テ居リマシタ、處ガ臺灣ガコノ栽培ヲヤリマシテ相當ニ出來ルヤウニナツタ、現在ハ臺灣及ビ南洋邊リデ日本人ガ經營シテ居リマス農場カラ出來ルモノヲ使用シテ居ル、コレガ非常ニ値段

ガ高イ、トイフノハ輸入先ヲ限定シマシタタメニ製造家ガ「コカ」葉ヲ買入レルノニ賣先ガ決マツテ居リマスカラ數年前ニ政府ガ變リマシテ、今度ハ獨占ノヤウナ形ニナツタカラ、結局製藥會社ハ高イ原料ヲ使ツテ製造シテ居ル、サウイフモノデアリマスカラ原料ガ高イノデアリマス、處ガ日本ノ内地ニ於テ「コカ」葉ガ最近出來テ來マシテ、例ヘバ沖繩ヤ小笠原島ノ硫黃島デ本年カラ採レ始メタ、將來ハ恐ラク臺灣カラ入レル必要ガナクナルダラウト思ツテ居リマス、コレ等ハ相當安イ原料ニナリ得ルト思ヒマス、ソレ等ノ國內デ出來マス原料ヲ用ヒマシテモ或ハ臺灣カラ來ル安イモノヲ止メテモ外國カラ高イモノヲ入レナケレバ容易ニ競争シ得ル、臺灣カラ來ル高イ原料トイフコトガ藥屋ガ一番困ツテ居ル。

泉二委員 三ノ國內ノ統制ハ各國ニ任カシテ置クトイフ御説明デアリマシタガ、國ニヨツテ事情ガ違フカラ一律ニ割當ルコト、一律ニ統制ヲスルトイフコトハ困ルトイフ御趣意ハヨク判リマシタケレドモ、矢張り斯ウイフ機關ガアツテ、ソノ機關デソノ國々ノ事情ヲ調べテ、「コカイン」ヲ使フ處デハ外ノ國ヨリモ「コカイン」ヲ多ク使フ事情ヲ認メル、「モルヒネ」ヲ使フ處ハソノ事情ヲ見テ濫酌ヲスルコトニスレバ差支ヘハナイデハナイデセウ、サウシテ何レカノ方法デ統一シナケレバコレヲ各國ニ任シテ置クト、正直ナ國ハ自分ノ國內ノ需要量ヲ正當ニ見積ツテモ、少シ正直デナイ國ハ國內ノ需要量ヲ勝手ニ見積ツテ製造ヲ多クスル、從ツテコノ條約ノ精神ガソコカラ自然ニ崩レテ來

ルトイフコトデ、コノ條約ノ根本精神ニ反スルヤウナ結果ニナリハセヌカトイフ虞ガアルヤウニモ思ハレマスガ、ソノ點ハ如何デゴザイマス。

赤木委員 ソレハ御尤モナ御話デアリマスガ、要ハ國際聯盟デサウイフ風ナ強イ力ヲ持ツタ各國ガ責任ヲ以テ自分ノ國デハコレダケトイフコトヲ申出ニ拘ラズ、コノ國ガ正直デナイトイフコトヲ國際聯盟ガ認定シマシテ、百々ヲ五十々ニ認定スルトイフ權限ヲ認ムル、サウイフ權限ヲ國際聯盟ニ認メサセル、斯ウイフ趣旨ナノデスガ、各國ガ責任ヲ以テ見積ツタ以上ハ國際聯盟トシテハコレヲ承認スベキモノデアアル、斯ウイフ考ヘデゴザイマス。

泉二委員 ソコハ程度ノ問題トシテ、ソノ位迄ハ各國ニ任シテ置クノガ至當デアアルヤウニ考ヘマスガ、一寸徹底シテ考ヘマスレバ各國ガ皆正直ニヤツテ居ルモノデアレバコノ條約ハ要ラヌモノデハナイカト思ヒマス。

赤木委員 各國ノ國內ノ需要量ヲ或國デハコレダケシカ要ルマイトイフコトハソノ國ノモノデナケレバ査定ガ出來ナイ、國際聯盟デ査定シ得ル能力ガアルト想像シ得ラレナイ、現在デモ各國ノ製造量ガ多過ギルトイフコトハ常ニヤツテ居ルガ、ソノ程度デコノ國ハコレダケシカ製造シ得ナイトイフコトヲ強制シ得ル制度……

矢吹委員 從來阿片ノ輸入ニ就テ制限ガアル、日本ニ對シテ

赤木委員 阿片ニ就キマシテハ從來日本ト致シマシテハ輸入ヲ許サヌトイフ——許シマスルニハ或特殊ノ制度即チ外國カラ製劑ガ輸入サレルモノト對抗スル或製劑ノ原料トスルモノダケハ外國ノ藥ト競争シナケレバナラヌカラ、國內ニ供給スル製劑ヲ造リマスル原料ダケヲ——ソレハ極ク少量デアリマシテ、ソノ藥ハ只今ノ處限定シテ居リマス、「バントボン」トイフノガ瑞西カラ來ル製劑デアリマス、ソレト競争スル國內製劑ニ「ナルコボン」トイフノガアリマシテ、ソレ以外ハ內國產ヲ使ヘトイフコトデ內國產阿片ノ數量ハ非常ニ多イ、寧ロ蓄積ノ處分ニ困ツテ居ル位困ツテ居ル、只價格ガ高イノデ困ツテ居ル。

矢吹委員 若シモ將來外國ニ輸出スルヤウナ場合ニ安イ藥ヲ輸入スル際ニハ外國カラ取ルコトハ自由デスカ。

赤木委員 ソレハ自由デス、只聯盟ノ方カラ申シマスト、日本ハ現ニ日本ノ「ストツク」ガ多イニ拘ラズ、尙澤山輸入スルノハ怪シカラストイフテ來ルカモ知レヌ、ケレドモソレヲ不正ニ使用シナケレバヨイ。

矢吹委員 最近ノ輸入量ハドノ位デス。

赤木委員 外國ノ阿片ハ最近ニハ六百八十キロダケ……

矢吹委員 ソレハ年々輸入サレルノデスカ。

赤木委員　コレハ「ラヂウム」製藥株式會社ガ「ナルコボン」ノ製造ヲシテ居ル、現在サウイフ製

劑ノ出來テ居ルノハコノ會社ダケデス。

矢吹委員　年ノ始メニコノ程度ノ阿片ノ輸出ヲ許シテ貰ヒタイトイフヤウナ出願ヲシマスカ。

赤木委員　年々出テ居リマス。

泉二委員　阿片條約トイフモノハ既ニアルノデアリマスカ、アノ阿片條約デハコノ案ノ先刻私ノ御

尋ネ致シマシタ三口カ四ニ關聯スルヤウナ中央阿片事務所トカサウイフモノガアツテ各國ノ需要ヲ

御調べニナルトイフヤウナコトニナツテ居リマセスカ。

赤木委員　阿片條約ニアリマス處ノ機關ハ斯ウイフ機關トハ違ヒ、阿片中央委員會トイフノガアリ

マス、コレハ常設中央委員會トイフモノデアツテ、結局方々カラ輸出入量トカ、製造量トカイフモ

ノ、報告ヲ整理スルダケノコトデアリマス。

泉二委員　アナタノ處ハ餘リ多量ニ製造スルトイフヤウナコトヲ……

赤木委員　ソレハ中央委員會ノ權限デナクテソレヲ纏メマス方デスル、ソレカラ今度阿片諮問委員

會ニ出マスト、ソコデイロ／＼議論ガ出ル、或ハ理事會デイロ／＼議論ガ出ル、ソノ時ニ攻撃ガア

ルトソノ材料ヲ提供スル。

泉二委員　諮問委員會見タヤウナモノハアリマセスカ。

ガ會議ノ最モ重要ナル一ツノ問題トナルコトデ、又利害ヲ感ズル處ガ大キイノデゴザイマスカラ、ソノ點ニ關スル日本ノ態度ト致シマシテコノ方針ノ第一ニ掲ゲタノデアリマス。ソレカラ新規輸出ヲシヤウトスル國ニ對スル制限ガ規定ニナツテ居リマス、コノ條約ニ就キマシテハ輸出國ト指定セラレナイ國ガ新ニ製造シテ多量ニ輸出ヲシヤウトイフ場合ニハ豫メ輸出國ト商議ヲ致シマシテ、輸出國ガ持ツテ居リマス割當率ヲ獲得シタ後デナケレバ新ニ輸出ノタメノ製造ヲ認メナイトイフコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ次へ供給ノ統制デアリマス、コノ條約ガ出來上リマストイフト、右申上ゲマシタヤウナ規定ノ結果ト致シマシテ、コノ條約ニ規定スル製造ノ一定量ヲ一年間ニ輸出スルトイフ少量ノ場合ヲ除ク外ハ他國カラ注文ガアツテモ輸出スルコトガ出來ナイコトニナリマスノデ、輸出國デモ多量ノ注文ガアリマシタ場合ニハ、コレヲ輸出スルモノガナイノデアリマシテ、サウイフ場合ニハソノ多ク參リマシタ注文ノ部分ハ、ソノ注文部分ヲ外ノ國ニ讓ルカ、又自分ノ國ノ消費ニ當テ、居リマス分量ヲ輸出スルコトニナツテ居リマスノデ、ソノ結果ハ不足ヲ致シマスノデ、他ノ輸出國カラ輸入シテ補填ヲスルトイフ仕組ニナツテ居リマス。次ハコノ條約ニ基ク製造及ビ取引ノ監督デアリマスカ、輸入ガコノ條約ヲ遵守シテ行ハレテ居ルカドウカトイフヤウナコトヲ監視スルガタメニ又別ニ一定ノ機關ヲ設ケマシテ、輸出ヲスルモノハ輸出ノ度毎ニソノ旨ヲ右機關ニ通告ヲ致シマシテ、ソノ機關カラ輸出シテ支障ガナイトイフ證明書ヲ得タ場合ニ限ツテ輸

出スルコトヲ得ル、又輸入ヲ終ツタ後ハコノ機關ニ報告スルコトヲ要スルコトヲ規定ニナツテ居リマス。次ニ販賣ノ價格ニ關スル條項デアリマシテ、ソノ販賣ニ關スル價格ニ關スル條項ノ内容ガドウナルカトイフコトモ決マツテ居ラナイデアリマスガ、準備會議ノ時ノイロ／＼ナ經過カラ見マスレバ、輸出ノ價格ニ一定ノ制限ヲ設ケヤウトスルノデハナカラウカト推測セラル、ノデアリマス、コレニ對シマシテ日本ト致シマシテハコノ價格ノ決定如何ガ影響スル處ガアリマスノデ、方針ノ第一ノ處ニ價格ノ關係ニ就テハ日本ノ方針ヲ斯ウイフ風ニ定メタイト存ジテ居リマス、即チ價格ヲ定ムルノニ最高價格ヲ決メテ、ソレ以上ノ價格ヲ賣ツテハナラヌトイフコトヲ決メルノガヨロシイガ、或ル藥ノ一定ノ價格ハ幾ラデナケレバナラヌトイフコトヲ決メラレルノハ日本トシハ甚ダ不利益デアル、或ハ生産費ノ關係カラ申シマシテ左様ニ參ラヌトコロデアリマスシ、又一定ノ最低價格ヲ決メラレテソレ以下ニ賣ツテハナラヌトイフコトガアリマス、自然ニ藥ノ價格ガ高クナルトイフ即チ價格騰貴ヲ來タス恐ガアルノデアリマス、左様ナコトハ一般ノ藥品ノ價格ニ影響ヲ及ボスコトデアルノデ、サウイフ點ニ就テハ反對致シタイト考ヘテ居リマス。次ニ「ジエネーブ」條約ノ補充ニ歸スル規定ガコノ條約案ニ入ツテ居ルノデアリマス、即チ本條約ニ於テハ「ジエネーブ」條約ノ適用ヲ受ケテ居ラナイ處ノ總テノ「モルヒネ」誘導體ニ對シマシテ「ジエネーブ」條約中ノ一部ノ規定即チ製造、輸出入、卸賣等ニ關スル條約ノ規定ハ「ジエネーブ」條約ノ適用ヲ受ケナイ處ノ「モルヒネ」

誘導體ニ對シテモ適用スルコトヲ規定致シテ居ルノデアリマス、日本ト致シマシテハ麻藥ノ製造制限ノ實効ヲ擧ゲ且ツ不正取引、濫造防止ヲ期スルタメニ公正ニシテ可能デアル處ノ製造制限デアラバ、コレニハ人道カラ見マシテモ、衛生上カラ見マシテモ賛成ヲ致スノデアリマス、然ルニコノ條約案ヲ見、又昨年ノ製造國會議ノ經過ニヨツテ見マスト、コノ製造制限ノ方法ハ或ル國ノ新規ノ製造ヲ抑壓致シマシテ、現ニ輸出ヲ致シテ居リマス處ノ「ヨーロッパ」ノ國ノ權利ヲ確保シ、ソレ等ノ國ノ製造家ノミデ世界ノ市場ヲ獨占シヤウトイフヤウナ案ト思ハレマスノデ、コレ等ノ點ハ甚ダ公正ヲ缺クモノデアラウト考ヘマス、全クコレハ歐洲ノ麻藥「カルテル」ガ出來テ居リマシテ、即チ之ヲ擁護スルタメノ製造制限法ガ行ハレルノデ、「カルテル」ヲ擁護スルタメニ製造制限トイフ名ニ隠レテコレヲ保護スルトイフコトハ認メラレナイノデハナイカト考ヘテ居リマス。ソレデ輸出ノタメニスル割當率ニ關シマシテハ次ノヤウナ二ツノ方法ノ何レカニヨルノデナケレバ日本トシテハ公正ノ案トハ認メラレナイト考ヘテ居リマス、コノ二ツノ案ハ(イ)、(ロ)トシテ置キテ、一ツハ輸出ノタメニスル製造ノ割當量ハ毎年決定スル、但シソノ方法ハ自國內ノ需要量ヲ全部製造スル國デアツテ、現在輸出ノタメニ製造ヲシテ居ルト否ト問ハズ、將來輸出ヲセムト欲スル國デアラナラバ、ソノ國ニ割當率ヲ平等ニスベシトイフコトヲ主張致シタイトデアリマス、コノ方法ニヨツテ輸出セムトスル製造豫定量ガ割當量ニ達シタイトイフ場合ニハ、ソノ残りハ他ノ輸出ヲセム

トスル國ニ平等ニ配分シタラドウカトイフ案デアリマス、コレハ從來ノ多クノ量ヲ輸出ヲシテ居
 タ國トシテハ從來ヨリモ輸出ガ少ナクナルトイフ恐慌ヲ來タス虞ガアリマスノデ或ハ纏ラヌコトニ
 ナルカト思ヒマスガ、ドウシテモコノ率ガ從來ノ經過ニ徴テシ見マス、ナカク纏リサウモナイ
 ノデアリマス、萬一纏ラヌ場合ニハ然ラバドウスルカトイフト、第二案トシテ(ロ)案ニ依ルコト、
 シテ居リマス、コノ(ロ)案ニヨリマス、輸出國ハ豫メ決メマセヌデ各國ニ於テハ現實ニ注文ガ
 アリマシタ場合ニノミノ注文ニ應ジテ輸出スルコトニスルノデアリマス、而シテ輸出ヲ致シマス
 ト、ソレニヨツテ國內ノ消費ノタメノ麻藥ニ缺陷ヲ生ジマスカラ、ソレガタメニ生ジタ缺陷ハコレ
 ヲ自由ニ製造スルコトヲ得、斯ウイフコトヲ認メヤウトスルノデアリマス、只サウ致シマスルトイ
 フト前年輸出ヲ相當ノ數量致シテ居ル國ハ尙翌年モ相當ノ數量ノ輸出ヲスルモノト認メラレマスカ
 ラ、或ル程度迄ハ輸出ノ注文ガナクテモ豫メ見越シテ製造シテオイテヨロシイ、ソノ數量ハ前年通
 リノ數量ヲ製造スルトイフト世界ノ現需要量ヲ多クスル虞ガアルノデ約五〇%ノ割合ノ數量ニシテ
 ハドウカト思ツテ居リマス、コノ五〇%ハ必ズシモ五〇%デナク、六〇%デモ、七〇%デモヨロシ
 イノデアリマスガ、全世界ノ需要量ヲ超過シナイヤウニスルトイフ意味カラ斯ウイフコトニシタラ
 ドウカト思フノデアリマス、但シサウ致シマスレバコレハ現實注文ガアツテ製造スルノデナクテ、
 注文ヲ見込ムデ製造スルノデアリマスカラ、注文ガナイ場合ニハソレダケ製造數量ガ剩ルコトニナ

ルノデアリマスガ、コノ殘餘數量ヲ生ジタ場合ニハ翌年ノ製造豫定數量カラ差引クトイフコトニシ
 タラ統制ガトレルノデハナイカト存ジマス、此(ロ)案ハ製造割當率ノ協定ガ纏ラナカツタ際ニ臨ム
 ダラドウカトイフ第二ノ案デアリマス、コノ方法デアルナラバ何レノ國ニ對シテモ公正デアリ公平
 デアルト考ヘラル、ノデアリマシテ、既往ノ輸出成績ニヨルトイフヤウナ案ハ日本トシテハ排斥致
 シタイト考ヘテ居リマス。

第二ハ麻藥ノ價格ニ就キマシテハ條約案ニハ前ニ申上ゲタヤウナ未ダ案ガ定マツテ居ナイヤウデア
 リマスガ、日本ト致シマシテハ最高價格ヲ決定スルトイフコトハ差支ヘマセヌケレドモ、價格ガソ
 ノ決定ノ價格ニヨリマシテ高クナル、或ハ又價格ヲ一定スルトイフコトニハ反對シタイトイフノガ
 第二デアリマス。

第三ハ麻藥ノ正當需要量ノ見積デアリマスガ、製造ヲ一定ノ正當ノ需要量ニ限定シロトイフコトニ
 ナリマス、正當需要量ノ見積ヲドウスルカトイフコトガ重要ナコトデアリマス、只コレヲ定メマ
 スノニ條約案ニヨリマス、ドウイフ機關ガ設ケラル、カ判然致シマセヌガ「コンベテント・オー
 ンリチイ」トイフノヲ設ケルトイフコトニナリマシテ、コレニヨツテ正當需要量ヲ査定スルトイフ
 コトニナツテ居ルヤウデアリマス、併シ從來國際聯盟等デ正當需要量ヲドウスルカトイフコトハ
 「コカイン」ニ就イテハ一人當リ七耗トイフヤウナコトヲ言ツテ居リマスガ、コレハ各國ノ實例ニ徴

シテ見マスト國ニヨツテ非常ニ違フノデアリマス、例ヘバ英吉利ノヤウナ阿片ヲ非常ニ多ク消費シテ居ル處ノ國ニ於キマシテハ「モルヒネ」ヲ非常ニ多ク消費シテ居ル、然ルニ他ノ國ニ於テハ「コカイン」ヲ多ク消費シテ居ル、皆國々ニヨツテ消費スル割合ガ非常ニ違フデアリマス、ソレデスウイフ中央機關ニ於キマシテ一定ノ率デ以テ何處ノ國ハ阿片ガ幾ラ、「モルヒネ」ハ幾ラトイフテ限定スルコトハ不公平ナ結果ヲ來タスト考ヘラルノデアリマシテ、サウイフヤウナコトハ事實不可能デアラウト考ヘルノデアリマス、從來ノ各國ノ實例ヲ見マシテモ、各國區々デアリマスカラコレヲ條約案ノヤウニ一定ニ規定スルトイフヤウナコトハ各國政府ガ麻藥ノソノ國ノ需要ヲ見積ツテ統制ヲ致シテ居リマスルトコロノ各國政府ノ麻藥ノ統制ニ干涉ヲナスモノデアツテ、ソノ結果ハ各國ノ麻藥ノ統制トイフコトニ支障ヲ來タス虞ガアリマスノデ、左様ナ方法ニハ反對シタイトイフノデアリマス。

ソレカラ今一ツハ中央麻藥事務所トイフモノガ條約案ノ第十條及ビ附則ノ第三章、第四章ニ規定ニ上ツテ居リマス、コノ中央麻藥事務所ガ各國ノ麻藥ノ輸出入ノ統制ヲスルトイフ仕組ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、コノ中央麻藥事務所トイフモノハドウイフモノニナルカトイフコトハ條約ノ上デハ今ノ處デハ判ツテ居リマセスガ、コレ迄ノ會議ノ經過カラ見マスルト「カルテル」ノ事務所デ以テ統制ヲシテ行カウトイフ案ヲ支持セムトスルガ如クニ推察セラル、ノデアリマス、斯ウイフコ

赤木委員

ソレハアリマセヌ。

泉二委員

ソレガナケレバ阿片ノ取締ハ世界的ニヤルコトハ出來ヌ。

赤木委員

阿片條約ニ基イタノハアル。

泉二委員

斯ウイフコトニ就テモ阿片諮問會デヤルノデスカ。

赤木委員

サウデス。

小原委員

今日ノ議題ハ御急ギニナルノデセウガ、私一個トシテハ殆ド斯ウイフ知識ガナイ、コレヲ直ニ決議デモナサルトイフコトデアツテハ全ク準備ガナイ、或ハ數時間時間ヲ頂イテ、ソコデ配布セラレタ書類デモ一應眼ヲ通シ、判ラヌ處ヲ研究スルトイフ餘裕ヲ與ヘテ頂キタイノデアリマスカ、外ノ諸君ハ今日決定シテモ差支ヘナイトイフコトデアリマスカ。

安達會長

ドウデス、皆様ノ御意見ハ……

松田委員

外務省ト致シマシテ今度ノ五月ノ製造制限會議、隨分コソ會議ハムヅカシイ會議デアラウト思フ、從ツテ今日コ、ニ方針トシテ御出シニナツタモノハソノ中最モ重要ナモノヲ御拾ヒニナツテ、我々外務省トシテハコレダケノモノハ御確定ヲ願ヒマシテ、尙細カイ點ハ隨分アラウト思フカラソレニ及ボサレタラ如何カト思フ、今日ノ御方針ダケニ就イテハ外務省ト致シマシテハコレニ全然賛成デゴザイマス。

小原委員 外務省ハ御急ギデアリマセウガ、私共ハ今日議案ヲ配布サレ、全ク知識ノナイモノデスカラコレデヨイトイフコトヲ申上ゲヤウガナイ。

松田委員 只今御發議ガアリマシタヤウニ今日直ニ御決議トイフコトハ御無理カ知リマセウガ、外務省トシテハ差シタル意見ハナイ、コレデヨイト思ヒマス、一應御決定ニナリマシテ、明日ナリ、明後日ナリ、特殊ノ委員カラ特ニコノ點ニ就テ考慮ヲ要スルトイフコトガアリマシタナラバソレハ承ハツテヨイト思ヒマス。

安達會長 拓務大臣ヨリ諮問ノ案ガアリマス、御説明ヲ願ヒマス。

殖田委員 第二號議案ハ臺灣總督府專賣局ノ粗製「モルヒネ」ノ處分ニ關スル件デゴザイマス、臺灣總督府專賣局粗製「モルヒネ」ノ處分ニ關シマシテハ昭和二年六月十四日ノ閣議決定ニヨリマシテ方針ガ定マツテ居リマスガ、ソノ閣議決定ノ方針ノ外ニ朝鮮總督府專賣「モルヒネ」鹽類製造原料ニモ使用スルコトガ出來ルヤウニ致シタイ、斯ウイフ議案デゴザイマス、ソノ理由ノ大體ヲ御説明申上ゲマス、臺灣總督ノ專賣ニ係リマスル阿片煙膏ヲ製造致シマスル場合ニ副産物タル粗製「モルヒネ」ガ出來マスノデアリマシテ、現ニ昭和六年度ニ於キマシテモコノ粗製「モルヒネ」ガ臺灣總督府ノ專賣局ノ手持ニナツテ居リマスノガ約二萬「ポンド」以上ニ上ツテ居リマスガ、コノ粗製「モルヒネ」ノ處分ニ關シマシテ昭和二年ノ六月ニ閣議ニ於キマシテ方針ガ決定サレマシテ、爾來ソ

ノ方針ニ基キマシテ毎年三千封度宛ヲ内地ニ持ツテ參リマシテ臺灣ノ蓄積量ヲ漸次減ラシテ參ツテ居ルノデアリマス、然ルニ昨年臺灣ニ於キマシテ新ニ阿片吸食者ノ特許ヲ致シマシテ、且ツ阿片煙膏ニ對シマシテ強制處分ヲ施シマシタノデアリマスガ、ソノ爲メニ一時的ニ吸食認許ヲ致ストイフ結果ト致シマシテ、臺灣ノ阿片吸食者ガ非常ニ殖エマシタ、ソレデ從來自然現象ナリソノ他ノ整理ニヨリマシテ減ツテ居ツタ管ガ又殖エテ參リマシタ、ソノ結果却ツテ阿片煙膏ノ製造高ガ殖エマシテ、折角減リツ、アリマシタ粗製「モルヒネ」ガ殖エタトイフコトニナリマシタ、現ニ昭和五年六月デ二萬封度殖エルトイフコトニナツテ居リマス、然ニ昭和二年六月ノ閣議決定ノ方針ニ基キマシテ二萬封度ヲ内地ニ移入スルトイフダケデコノ「ストック」ヲ處分スルコトハ出來マセウ、現在ノ儘デハ少クモ十年ヲ要スルト考ヘラル、ノデアリマス、ナルベクコレヲ早ク減ラシマシテ問題ヲ少ナク致シタイ、斯ウイフコトヲ考ヘテ居リマシタノデアリマス、然ルニ一方ニ朝鮮總督府ニ於キマシテ昭和三年以來「モルヒネ」及ビ「ヘロイン」ノ專賣ヲ致スコトニナリマシテ、而モソレヲ自ラ製造致シテ居リマス、ソノ原料ハ朝鮮內産生阿片ヲ以テ造ルトイフコトニナツテ居ルノデアリマシテ、朝鮮內産生ノ生阿片デハ相當ノ不足ヲ告ゲテ居ル狀態デゴザイマス、從ツテコノ朝鮮ニ於テハ「モルヒネ」、「ヘロイン」ノ原料ガ不足スル、臺灣ニ於テハ粗製「モルヒネ」ガ餘ツテ居ル、コレガ朝鮮ノ製造原料ニ適當シテ居ルノデアリマスカラ、コノ兩方ノ事情ヲ考ヘマシテ、臺灣、朝鮮兩總

督府相談ノ結果、差當リ昭和六年度以後毎年六百五十封度宛ヲ臺灣カラ朝鮮ニ譲リ渡スコトニ協定ガ成リマシタノデアリマス、コレハ至極臺灣ニ取リマシテモ朝鮮ニ取リマシテモ適當ナ處置ト考ヘマスカラ、先程申シマシタ昭和二年六月ノ閣議決定ノ追加事項トシテ同様閣議決定ヲナスベキモノト考ヘマスノデ、コノ際コノ委員會ノ御決議ニヨリマシテ、ソノ後閣議決定ヲ經タイト考ヘテ居リマス。

安達會長 第三號モ一緒ニ……

殖田委員 第三號議案ハ只今申上ゲマシタ臺灣、朝鮮ノ問題ト同様ノコトデゴザイマシテ、詰リ朝鮮總督府保管生阿片ト關東廳保管ノ「モルヒネ」等相互ニ保管轉換スルヤウニ致シタイ、ソノ理由ヲ大體御説明申上ゲマスレバ關東洲及ビ南滿洲鐵道ハ屬地ニ於キマシテ毎年「モルヒネ」鹽類ノ沒收量ガ相當多量ニ上ルノデアリマシテ、最近年平均ヲ採リマスルト二百十七斤デアリマス、コレガ處分ニ就キマシテ醫藥用及ビ化學用トシテ關東廳ニ於キマシテソノ需要ニ當テ、居リマスケレドモソノ外ニ殆ド使ヒ途ガアリマセヌ、關東廳ニ於キマシテハソノ處置ニ困ツテ居ルヤウナ状態デアリマシテ、何等カコレガ公正有効ナル利用ノ方法ハナイカト思ツテ居ツタノデアリマス、處ガ先程申上ゲマシタ如ク、朝鮮總督府ニ於テ「モルヒネ」、「ヘロイン」ノ製造專賣ヲシテ居ル、若シモコノ「モルヒネ」、「ヘロイン」ノ原料ニ只今ノ「モルヒネ」鹽類ヲ使フコトガ出來マスレバ關東廳ハ誠ニ

公平ナル利用方法ヲ見出スコトガ出來マスシ、朝鮮ニ於テハ割合ニ安價ノ原料ヲ得ラル、ノデハアルマイカ、且ツ又朝鮮ニ於キマシテハ朝鮮内製造ノ生阿片ヲ以ツテ「モルヒネ」、「ヘロイン」ヲ製造スルコトニナツテ居リマス關係上生阿片ヲ朝鮮ニ於テ專賣シテ居リマス、處ガ關東廳モ御承知ノ通り阿片ノ專賣ヲ致シテ居リマス、ソノ專賣致シマスルモノハ多クハ土耳其ヤ波斯ノ阿片ヲ輸入致シテコレヲ用ヒテ居リマスガ、關東廳内ニ於ケル阿片吸食者タル支那人ハ土耳其及ビ波斯ノ阿片ハ嗜好ニ適シマセヌ、「モルヒネ」含有量ハ如何カ知リマセヌガ、支那産ノ阿片ヲ好ミマス、處ガ朝鮮ノ阿片ハ支那産ニ類似シテ居リマス、若シモコノ朝鮮産ノ阿片ヲ用フルコトガ出來マスレバ關東洲ハ助カルノデ、コノ兩方ノ事實ヲ考ヘマシテ、若シ出來ルナラバ朝鮮産ノ生阿片ヲソノ儘關東洲ニ貫ヒマシテ、關東洲ノ手持品ヲ朝鮮ニ保管轉換ヲ致シマスレバ兩者互ニ利益スルデハナカラウカ、斯ウイフ結果朝鮮總督府ト關東廳ノ間ニ於キマシテ相談ヲ致シテ居ツタノデアリマス、ソノ相談ノ結果生阿片ト「モルヒネ」鹽類ト各々含有スル「モルヒネ」ノ純分量ヲ標準ト致シマシテ保管轉換ヲスルガヨロシイトイフコトニ話ガ纏リマシタノデアリマス、併シナガラコトハ同ジク朝鮮デ「モルヒネ」及ビ阿片ノ專賣ヲ施行致シマシタ昭和二年六月ノ閣議決定ニ基キマス方針トハ多少ノ相違ガアリマスノデ、コレモ更ニ閣議決定ヲスル必要ガアルト考ヘマシテ、閣議決定ニ出シマス以前ニコノ委員會ニ附議致シマシテ、コレニヨツテ閣議決定ヲ經タイト斯ウ考ヘマス次第デゴザイマス。

潮委員

コレハ閣議決定ダケ御變更ニナレバヨロシイノデスカ。

殖田委員

サウデアリマス、ソノ分量ハ大體關東洲カラ百七十八軒位ノモノヲ朝鮮ニ持ツテ來テ、

朝鮮カラ千二百軒位ノ生阿片ヲ關東洲ニヤル、ソレデ均衡ヲ得マス。

安達會長

ドウデセウカ、第一號カラ第三號ノ議案ノ決定ハコノ次ノ火曜日ニスルコトニ致シマス、

モウ一ツアリマス、阿片委員會ノ調査事項案。

赤木委員

コノ委員會ニドウイフ事項ガ付議セラレマスカトイフコトハ阿片委員會付議事項トイフモノヲ御手許ニ差上ゲテアルト思ヒマス、斯ウイフ事項ハコノ委員會デ以テ決議ヲ願フトイフコトニナツテ居ルノデアリマスガ、コノ外ニコノ委員會ト致シマシテ阿片麻藥ニ關スル統一ノ調査ヲ致シテ置ク必要ガアルト考ヘマスノデ、現在阿片麻藥ハ御承知ノ通り方々ニ機關ガ分レテ各別ニヤツテ居リマスノデ、コノ委員會ヲ統一スルタメニソレ等ノ材料ヲ常ニ纏メテ置キタイト考ヘルノデアリマス、就キマシテハコ、ニ調査事項案トイフモノニ七ヶ條バカリ列舉致シテ居ルノデアリマス、コレハ御手許ニ參ツテ居ルト考ヘマスガ、日本ニ於ケル阿片麻藥ノ生産、輸出、移出入數量ノ各年別調査ヲ續ケテヤルトイフコトニシタイト考ヘルノデアリマス、コレハ朝鮮、樺太、臺灣、關東洲、南洋等ノ各廳別ニコレヲ調べテ委員會ノ方ニ御提出ヲ御願ヒ致シタイトイフ事項デアリマス、ソノ次ハ本邦ニ於ケル阿片麻藥ノ各年別消費數量、コレヲ矢張りコノ委員會トシテ生産ト共ニ

消費モコレヲ調べテ置ク必要ガアルト思ヒマス、斯ウイフコトニヨリマシテ阿片麻藥ノ統制トイフコトヲ統一ニ圖ツテ行キタイト考ヘテ居リマス。ソレカラ日本ニ關係致シテ居リマス阿片麻藥ノ不正取引ニ關スル調査、コレハ各地テ往々ニシテ行ハレル事柄デアリマスノデ、コノ不正取引ヲ徹底的ニ調査ヲ致シマシテ、ソレ等ノ不正取引ガアリマシタラバ總テコノ委員會ニ報告ヲ願ツテコ、デ纏メルトイフコトニシタイト考ヘルノデアリマス、ソノ次ハ我國バカリデナク各國ノ阿片麻藥ニ關係ノ法令トカ制度トカイフヤウナモノ、調査ヲコノ委員會トシテ致シテ置キタイト、ソレデコレニ關係シタ材料ヲ入手スルコトニ御互ニ協力ヲシテ頂キタイトイフ趣旨デアリマス、ソノ次ハ日本バカリデナク各國ノ阿片吸食及ビ麻藥不正使用ガドウ行ハレテ居ルカトイフコトノ實情ヲ明カニ致シタイト考ヘマスノデ、ソレ等モイロ／＼協力シテ材料ヲ集メルコトニ致シタイト考ヘマス。ソノ次ハ日本ト並ニ各國ニ於ケル阿片麻藥ノ價格ガドウイフ狀況デアルカトイフコトヲコレカラ常ニ調査ヲ致シタイト思フノデアリマス、ソレカラ各國カラ出マス處ノ阿片麻藥ニ關スル年報ガコチラニ參リマスカラ、ソノ年報ノ審査及ビ調査ヲコノ委員會デシテ行キタイト、斯ウイフコトヲ研究シテ居リマスレバコノ阿片及ビ麻藥ニ關スル日本ノ全國的統制ヲ執ツテ行ク上ニ於テ便宜デアラウト考ヘマスノデ、委員會トシテ斯ウイフコトヲ調べルトイフコトヲ御決定ヲ願ヒマシテ、コノ御決定ニ從ヒマシテ關係各省ニ於キマシテコレ等ノ調査ニ協力シテ便宜ヲ圖ルトイフコトニ御願ヒシタイト考ヘ

テ居リマス、コレノ御決定ヲオ願ヒシタイ、コノ外ニ斯ウイフモノモ調査シタイトイフ御考ヘガアリマシタラ御差加ヘテ願ツテヨカラウト考ヘマス。

安達會長　　ソノ點私申上ゲテ置キマスガ、コノ阿片委員會ヲ内務大臣監督ノ下ニコ、デ開クコトニナリマシタ一ツノ原因ハ阿片密輸出ト申シマスカ、不正取引ニ關スル處ノ取締トイフコトガ主ナル意味デアリマス、誤解モアリマセウガ、列國ノ間ニ於テ日本ノ阿片密輸出、不正取引ガ大分評判ガアル、國際的ニ日本ノ位置信用ニモ關係シテ居ルコト少ナカラヌト考ヘマス、ソレデコノ會ノ働キヲ以テソノ邊ノコトヲ取締ツテ國際的ニモ信用ヲ高ムル必要ヲモ感ジテ居リマス、殊ニ遞信省ノ方カラ遞信次官ト管船局長ガ委員ニナツテ居リマスカラ、コノ取締ニ就キマシテハ船舶ノ方ヲ取締マラナケレバ徹底シマセヌカラ、殊ニ遞信省ノ次官及ビ局長ノ御注意ヲ願ヒタイカラ御出テ願ヒマシタ次第デゴザイマス、ドウゾコノ會ハ今後サウイウ意志ヲ以テ時々御高配ヲ煩ハストイフコトヲ一言申上ゲテ置キマス、而シテ今日付議シマシタ議案ナルモノハ内地ニ於キマシテモ又國際的ニモ非常ナ關係ヲ及ボスコトデゴザイマスカラ、ドウゾ絕對ニ秘密ヲ御願ヒ致シマス、今日ハコレデ散會致シマス。

午後零時三十分散會

第二回阿片委員會

昭和六年四月二十八日午後一時五十分　内務大臣官邸ニ於テ開催ス

出席者

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 會 | 長 | 安 | 達 | 謙 | 藏 |
| 委 | 員 | 矢 | 吹 | 省 | 三 |
| 同 | | 潮 | 惠 | 之 | 輔 |
| 同 | | 次 | 田 | 大 | 三 |
| 同 | | 赤 | 木 | 朝 | 治 |
| 同 | | 青 | 木 | 得 | 三 |
| 同 | | 小 | 原 | | 直 |
| 同 | | 侯 | 爵 | | |
| 同 | | 廣 | 幡 | 忠 | 隆 |
| 同 | | 堀 | 切 | 善 | 次 |
| 同 | | 殖 | 田 | 俊 | 吉 |

委員

生駒高常

三八

白松、安香、飯田、佐藤(龍)

小野、棟居、井上各幹事

奥村、伊藤、保見、諸富各書記

第二次回國委員會

議事速記録

安達會長 ソレデハ開會致シマス、先日議題ニナリマシタ第一號麻藥製造制限會議ニ關スル方針ノ件

小原委員 前回ノ會議ノ際ニ第一號議案ニ就キマシテハ書類ヲ拜見シテ居ラヌトソノ方面ノ知識ガナイタメニ一二質問等ヲ致シマシテ、今日ニ延期ノ提案ヲ私カラ致シマシタノデアリマスガ、歸リマシテ書面ヲ見マスシ、尙判ラヌ點ヲ御尋ネシマシタノデ、私トシテハ了解シマシタ、コレ以上御尋ネ等セズトモ疑ヒガナイコトニナリマシタ、コノコトヲ申上ゲテ置キマス。
堀切委員 私ノ方ノ側トシテモ何モ異論ハアリマセヌ、原案ニ賛成デゴザイマス。
安達會長 ソレデハ皆サン原案ニ御異議ゴザイマセヌカ。

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

安達會長 御異議ガゴザイマセヌカラ原案ノ通り第一號議案ハ確定致シマス、ソレカラ第二號議案臺灣總督府專賣局粗製「モルヒネ」ノ處分ニ關スル件、第三號議案朝鮮總督府保管生阿片及關東廳保管ノ「モルヒネ」ノ相互保管轉換ニ關スル件、コノ第二號、第三號議案ヲ一括シテ議題ニシマス——第二號、第三號議案トモ御異議ハゴザイマセヌカ——御異議ガナイヤウデゴザイマスカラ二號

三九

三號トモ原案ノ通り確定致シマス、ソレデハ本日ハコレデ閉會致シマス。
午後二時閉會

第一號議案

麻藥製造制限會議ニ關スル方針ノ件

阿片委員會

麻藥製造制限會議ニ關スル方針（別紙）
右諮問ス

昭和六年四月二十三日

内務大臣 安達謙藏

麻藥製造制限會議ニ關スル方針

一、輸出ノ爲メニスル製造割當率ハ本條約案及ビ過般ノ製造國會議ニ於テ提案セラレシトコロニ依レバ、單ナル既往ノ輸出実績ニ基キ之ヲ決定セントスルガ如キモ斯クノ如キ方法ハ既往ノ輸出國ニ獨占的特權ヲ認ムルモノニシテ、本邦ノ如ク新ニ輸出セントスル意思及能力ヲ有スル國ニトリテハ甚

ダ不利不平ナル方法ナルベキヲ以テ之ニ賛成スルコト能ハザルニ依リ左ノ方法ノ一ニ依ルコトヲ主張スルコト

(イ) 輸出ノ爲メニスル製造割當量ハ毎年之ヲ決定シ、其ノ割當決定方法ハ自國內ノ需要量ヲ全部製造スル國ニシテ輸出ノ爲メニ製造ヲナサント欲スル國ニ平等ニ配分スルコト、但シ製造セントスル國ノ輸出ノ爲メニスル製造豫定量ニシテ右割當量ニ達セザルトキハ殘餘量ヲ他ニ平等ニ配分スルコト

(ロ) 輸出國ナルモノヲ豫メ決定スルコトナク各國ハ其ノ現實ノ注文ニ應ジテ輸出スル麻藥ノ數量又ハ其ノ輸出ニ依リ生ズルコトアルベキ國內消費ノ爲メノ麻藥量ノ缺陷ハ之ヲ自由ニ製造スルコトヲ得ルコト

前年輸出ヲナシタル國ハ注文ナクモ前年ノ輸出數量ノ五十%ノ範圍内ニ於テ豫メ製造シ得ルコト但シ殘餘數量ヲ生ジタルトキハ翌年ノ豫定製造數量ヨリ之ヲ控除スルコト

二、麻藥ノ價格ノ管制ニ付テハ最高價格ヲ決定スル方法ヲ協定スルコトハ差支ヘナキモ價格ノ昂騰ヲ來スガ如キ虞アル方法又ハ價格ヲ一定スベキ方法ヲ協定スルコトハ反對スルコト

三、從來ノ實績ニ徴スルニ各國ノ正當ニ需要セラル、麻藥ノ種類及數量ハ區々ニシテ一定スルトコロナシ、コレ文化ノ程度、氣候風土ノ關係等ニ依ル當然ノ結果ニシテ、各國政府ノ提出シタル麻藥正

當需要量ノ見積ヲ本條約案附屬書第一章第六ニ規定セル當該機關ガ査定セントスルガ如キハ各國政府ノ麻藥ノ統制ニ支障ヲ來シ實狀ニ適セザル結果トナルベキヲ以テ賛成シ難キコト

四、中央麻藥事務所ヲ以テ麻藥ノ輸出入ニ關シ條約案ニ依ルガ如キ統制ヲナサシムルコトハ各國政府ガ其ノ責任ニ於テ輸出入ヲ統制スル以上不必要ナリト認メラル、ヲ以テカ、ル制度ノ設定ハ反對スルコト

五、麻藥ノ製造制限ニ依リ不正取引及密造ヲ防止スルニハ各國ニ於テ何レモ麻藥ノ國家專賣制度ヲ又ハ之ニ準ズル制度ヲ實施シ國家ノ責任ヲ以テ之ヲ統制スルニ非ザレバ其ノ實效ヲ舉グルコト困難ナリト思料セラル、ニ依リ製造制限ノ實施ニ伴ヒ麻藥ノ國家專賣制度又ハ之ニ準ズル制度ノ採用ヲ提案スルコト

六、右ノ外重要ナル事項ニ關シテハ其ノ都度方針ニ付代表者ヲシテ請訓セシメ、之ニ對スル方策ハ內務、外務、拓務各大臣ニ一任スルコト

第二號議案

臺灣總督府專賣局粗製「モルヒネ」ノ處分ニ關スル件

阿片委員會

臺灣總督府專賣局粗製「モルヒネ」ノ處分ニ關スル件
右諮問ス

昭和六年四月十七日

拓務大臣 原 脩 次 郎

記

臺灣總督府專賣局粗製「モルヒネ」ノ處分ニ關シテハ昭和二年六月十四日閣議決定ノ方針ニ依ルノ外
朝鮮總督府專賣「モルヒネ」鹽類製造原料ニ使用スルコトヲ得ルコト

理由

臺灣總督府專賣阿片煙膏ノ副產品タル粗製「モルヒネ」ノ處分ニ關シテハ昭和二年六月十四日閣議決定ノ方針ニ基キ爾來各年三千封度ヲ「モルヒネ」鹽類製造原料トシテ内地ニ移出シ以テ其ノ蓄積量ノ漸減ヲ計リ來リタル處、客年阿片吸食ノ特許及矯正處分者ニ對スル一時的吸食認許等ノ新措置ノ結果阿片吸食特許者ノ自然減少及客年ノ整理ニ拘ラズ阿片煙膏製造高從ツテ粗製「モルヒネ」產出高ニ若干増加ヲ來スニ至リ、爲ニ昭和五年度末粗製「モルヒネ」繰越高二萬封度ヲ超ユル見込ニシテ仍テ前示方針實行後ノ四ヶ年度ニ於ケル蓄積量減少高ハ合計三千餘封度ニ過ギズ、此ノ程度ノ減少率ヲ以テ

セバ蓄積量ノ處分ヲ盡スニハ向後猶略々十年ヲ要スベク、從テ能フ限り之ガ處分ヲ促進スル爲相當處置ヲ講ズルノ要アリト認メラル、然ルニ一方朝鮮總督府專賣「モルヒネ」及「ヘロイン」製造原料ハ鮮内產出阿片ヲ以テシテハ相當不足ヲ告グルノ現況ニ在リ依テ右粗製「モルヒネ」ヲ其ノ不足ニ充當シ之ガ利用ヲ圖ルヲ一方途ト認メラルヲ以テ今回兩總督府ニ於テ協議ノ結果差當リ昭和六年度以降六百五十封度（尤モ七年度以降ハ朝鮮ニ於ケル「モルヒネ」中毒者ノ登録及治療ノ進捗ニ伴ヒ多少増減アル見込）讓渡スルコトニ協定成立シタルヲ以テ右ハ前顯昭和二年閣議決定ニ對スル追加事項トシテ同様閣議決定ヲ俟テ實行セシムルヲ認メタルニ由ル

第三號議案

朝鮮總督府保管生阿片及關東廳保管「モルヒネ」
ノ相互保管轉換ニ關スル件

阿 片 委 員 會

朝鮮總督府保管生阿片及關東廳保管「モルヒネ」ノ相互保管轉換ニ關スル件
右諮問ス

昭和六年四月十七日

記

朝鮮總督府保管生阿片及關東廳保管「モルヒネ」ハ之ヲ相互保管轉換スルコトヲ得

理 由

關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル「モルヒネ」鹽類沒收量ハ各年相當多量ニ上リ最近年平均二百十七疔ヲ算ス、而シテ之ガ處分ハ醫藥用及科學用トシテノ州内需要ニ充ツルノ外殆ンド其ノ途ナク、關東廳ニ於テハ其ノ處置ニ腐心シツ、アル状態ニシテ從テ何等カ之ガ公正有效ナル利用ノ方法ヲ講ズルノ要アリト認メラル、トコロ、右ハ些少ノ再製工程ヲ經テ朝鮮總督府專賣「モルヒネ」及「ヘロイン」ニ充當スルヲ得ベク、而モ一方現在右專賣「モルヒネ」及「ヘロイン」ノ製造原料ニ供用セラル、鮮内產生阿片ハ北滿產生阿片ト略々同質ニシテ、之ヲ關東廳專賣ニ係ル土耳其及波斯產生阿片ト混用スルトキハ關東州内阿片吸食者ノ嗜好ニ適スル煙膏ヲ製造スルヲ得、依テ自ラ同州ニ於ケル阿片密輸入ノ防遏ニモ資シ得ベシト認メラル、ヲ以テ右兩品ヲ相互交換ノ件ニ關シ朝鮮總督府及關東廳間ニ於テ協議中ノ處、這般右生阿片及「モルヒネ」鹽類ヲ各含有「モルヒネ」純分量ヲ標準トシ保管轉換ヲ行ヒ、仍數量ハ各年打合ノ上適宜之ヲ決定スルコトニ協定成立シタルモ右ハ昭和三年十一月朝鮮總督府專賣「モルヒネ」及「ヘロイン」ノ原料ハ可成之ヲ朝鮮内ニ仰グ主旨ノ閣議決定トノ關聯モアリ同ク閣議決定ヲ經テ之ヲ實行セシムルヲ適當ト認メタルニ由ル

秘

第三回委員會報告

昭和七年三月

阿片委員會

會長代理(次田委員) ソレデハ開會致シマス、今日内務大臣ガ多摩御陵へ皇后様ガ行啓ガアリマスノ
デ供奉シテ參リマシテ二時五分ニ歸ヘル譯デアリマスガ、モウ時間ガ參リマシタカラ私ガ代理ヲ致
シマシテ始メヤウト思ヒマス

白松幹事 委員ノ變動ガアリマシタカラ御報告申上ゲマス、前殖産局長殖田俊吉氏、前朝鮮政務總監
兒玉秀雄氏、前内務次官潮惠之輔氏、コノ三氏ハ退官ニヨリマシテ委員ノ任ヲ解カレマシタ、新ニ
拓務省殖産局長ニナラレマシタ田原和男氏、遞信次官ニナラレマシタ大橋八郎氏、コノ二方ガ委員
ニ任命サレマシタ

會長代理(次田委員) ソレデハ盤谷阿片會議ニ對スル方針案ノ件ガ諮問ニナツテ居リマス、コレヲ議
題ニ致シマス

〔伊藤書記議案朗讀〕

堀切委員 コノ諮問ノ案ハ今年ノ十一月「シヤム」ノ盤谷デ阿片會議ガ開カルコトニナリマシテ、ソ
レニ對シテ帝國モ參加スルコトニナツテ居リマシタ、今日ノ官報デ代表ノ委員モ公表サレテ居リマ
スガ、外務省ノ方カラ向フノ公使ト拓務省ノ方カラ棟居書記官ガ代表シテ出席スルコトニナリマシ
タソレニ對シマシテ方針ノ案ヲコノ會デ御審議ヲ願ヒタイト思ヒマシテコノ案ヲ提出シタ次第デア
リマス、コノ内容ノ大體ノコトニツキマシテ棟居幹事カラ説明ヲ致スヤウニシタイト思ヒマス

棟居幹事 ソレデハ阿片會議ニ對スル方針案ノ大體ヲ御説明申上ゲヤウト思ヒマス、ソノ前ニ今度十
一月私等ノ參リマス阿片會議ノ大體ノ成立チト申シマスカ、ドウイフ謂レデ阿片會議ガ開カレルヤ
ウニナツタカトイフコトヲ申上ゲテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、ソノ阿片會議ガ開カレマス謂レ
ト申シマスカ、ソノ根據ノヤウナモノガアリマスノデ、ソノ根據ハ千九百二十五年ノ御承知ノ「ジエ
ネバ」第一阿片協定ノ十二條ニ斯ウイフ規定ガアリマス、「締約國ハ相互ニ協定セラルベキ期日ニ於
テ千九百十二年一月二十三日ノ「ヘーグ」條約第二章及「ジエネバ」協定ノ摘要ニ關スル狀況ヲ時々協
同シテ審議スルコトヲ約ス、其ノ第一回ノ會合ハ遅クトモ千九百二十九年中ニ開カルベシ」トイフ
規定ガアリマスノデ、コノ規定ニ根據シテコノ會議ガ開カレマシタ、尤モ規定ニアリマスヤウニ
昨年中ニ遅クトモ開カナケレバナラストイフ風ニ示サレテアリマスケレドモ、ソレガ今年迄二年延
ビマシタノハ多少ノ事情ガアリマスノデ、實ハコノ折角第二回ノ阿片會議ヲ開クナラバ殊ニ「ヘー
グ」條約ト「ジエネバ」協定ノ實行ノ成績ヲ充分ニ審議スルタメニワザ／＼各國ガ集マルナラバ、
ソノ會議ノ基礎トナルシツカリトシタ處ノ原案ノヤウナモノガナケレバ會議ノ目的ヲ充分ニ達成ス
ルコトガ出來ナイデハナイカ、漫然ト集ツテ各國ガ自分ノヤツテ居ルコトヲ報告スルヤウナコトデ
ハ條約ノ根本ニ關スル色々な問題ヲ審議スルニハ餘リニ漠然トシテ居ルカラ、確リシタ土臺ノアル
モノヲ作ツテ、ソレデ會議ヲシタ方ガ良イデハナイカトイフコトヲ「イギリス」側ガ主張致シマシ

テ、千九百二十八年ノ八月ノ聯盟ノ理事會デ「イギリス」ノ政府カラ理事會ニ出シマシタ「イギリス」側ノ代表ガ委員ヲ數名極東地方ニ派遣シテ實際阿片事業ノ狀況ヲ調べマシテ、ソノ調査ヲ基礎トシテ會議ノ一種ノ基礎案ト申シマスカ、問題トシテ御互ニ話シ合ヒヲスルナラバ纏ツタ材料モアルシ、御互ニ公平ナ立場カラ見タ材料デアルカラ、サウ所謂山ガアルトカ或ハ隠シタモノガアツテ我儘ナコトヲ主張シ合フコトガナク極メテ圓滿ニ會議ガ出來ルヤウニナルダラウ、斯ウイフヤウナ意味合ヒカラ、サウイフ提案ヲ致シマシタ、サウシテ御承知デアラウト思ヒマスガ、千九百二十九年コチラデ承認サレマシテ三月ニ小委員ヲ任命サレタ譯デアリマス、「スエーデン」ノ公使ノ「エキスツランド」ガ委員長トシマシテ「ベルギー」ト「チエツク」ノ公使ノ三名デ小委員會ヲ作りマシテ、極東ニ派遣スルコトニナリマシテ、サウシテソノ小委員會ノ連中ハ極東諸國ヲ實地ニ就キマシテ調査ヲ致シマシテ、千九百二十九年ニ「ジエネバ」ヲ出マシテ昨年ノ五月ニ「ジエネバ」ニ歸ツタノデ、數年ニ互ツテ調査ヲ致シマシタ譯デアリマス、ソノ結果ガ可ナリ浩翰ナ調査報告書トナリマシテ今年ノ初メニ刊行サレタ譯デアリマス、ソノ調査報告書ノ一番最後ノ項ニコノ會議ノ基礎案トナルト認メラレテ居リマス所謂提議トイフモノヲ二十程載セテ居リマス、ソレガ一ツノ結論ニナリ及ビ關係諸國ノ提議眼目トイフ形ニナツテ居リマス、結局今度ノ阿片會議ハ「イギリス」側ノ委員ヲ除キマシテ、各委員ノ見ル所ヲ基礎ト致シマシテ、ソノ適否ヲ各國政府ガ集リマシテ審議判

斷シテ行カウ、ソノ結果若シ「ヘーグ」條約ガ運用ノ上ニ不便ガアツテ、實地ニ即シテドウシテモ改正セナケレバナラヌトイフ風ナ話シ合ヒノ結果ガ纏リマスナラバ、ソノ話シ合ヒノ模様ニヨリマシテ、條約ヲ改正シテ行キタイモノデアルトイフコトヲ「イギリス」ノ政府ハ各國ニ意見ヲ求メマシテ、日本モ賛成ヲ表シマシテ必要ガアルナラバ條約ヲ改正スルコトニシタイトイフ模様ニナツテ居ルノデアリマス。尤モ今月ノ中頃マデニハ聯盟ノ方デモ假議案トイフモノヲ作りタイトイフ希望ヲ持ツテ居ルヤウデアリマスケレドモ、マダドウイフモノガ出來ルカ判リマセヌ、今ノ所デハ基本ニナルモノハ「コンミテ」ノ提案デアラウト考ヘラレマスノデ、ソレニ對シテ日本側ガドウイフ態度ヲ執ルベキカトイフコトヲコノ委員會デ御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス、大體ソレガコノ案ノ氣分ト申シマスカ次ノ基調トイフヤウナモノヲ抽象的ニ考ヘマスナラバ、爰ニハ二十ヶ條ダケ擧ゲラレテ居リマスノデ、ソレヲ通讀致シマシテ更ニソノ結論ヲ付ケルト致シマスナラバ、阿片問題ハ御承知ノ通り國際的ノ問題デアルカラ、コノ阿片問題ガ非常ニ注意ヲ惹クヤウニナリ、ヤカマシイ問題ニナツタノハ國際的ノ問題トシテソノ特徴ヲ持ツテ居ル所ニアル、尤モ吸食阿片ノ問題ニツキマシテハ普通ノ阿片問題ヨリモ範圍ガ狭クナリマシテ、全ク東洋的ノ問題デアリマス。而モ東洋諸國ガ共同シテコノ問題ノ解決ヲ圖ラナケレバ圓滿解決ハ出來ナイモノデアルトイフ認識ヲ受ケマシテ、ソノ阿片委員ノ報告ノ提案ヲ土臺ト思ハルルモノハ國際主義トイフモノヲ非常ニ強調シテ居ル

點ニアラウト思ハレマス、大體提案ノ精神ガ更ニ今マデヨリモ國際間ニ於テ助合フ一ツノ目的ニ向ツテ提携シテ行カナケレバナラス、ソレガ一番ノ本源デアルトイフコトヲ主張シテ居ルヤウニ考ヘラレマス。ソノ次ニハ今迄ハ「ヘーグ」ノ條約乃至「ジエネバ」ノ協定ニ對シテモ多少理論的或ハ名目的ニ綺麗デアルケレドモ、實際的ニハ適切デハナイ點ガアルヤウニ思ヒマスノデ、名ガアツテ實ガ副ハナイ點ガアリマスノデ、全クソレヲ實質的ニ改メテ行キタイ、「ボシチイブ」ニ改正シテ行キタイトイフ氣分ガ強イヤウニ考ヘマスノデ、沿革トシテ小賣店ノ制限ヲ撤廢シタイトイフコトナドモソノ點カラ出來タ結論ダト考ヘマス。第三トシテ申上ゲルコトガ出來ルトスレバ今迄ハ表面的ニ阿片ヲ吸フニ至ツタ動機、ソノ原因ヲ充分ニ檢討セズシテ寧ロ結果ヲドウイフ風ニ取扱フカトイフコトガ大部分デナカッタカト思ヒマスガ今度ハ寧ロ根源ニ向ツテ處置ヲ充分ニシナケレバナラス原因ヲ充分極メナケレバナラストイフコトニナツテ居リマス、原料ノ問題トシテ罂粟ノ統制ヲシナケレバナラス、社會的ノ情勢モ阿片問題改正ヲサレハシナイカ、社會制度ヲ改良シ經濟制度ヲ立派ニ立テテ行キマスナラバ、阿片ノヤウナ不正ナモノハ自然消滅シハシナイカトイフデアリマス、更ニ阿片ニ關スル統一トカ試験トカイフヤウナ點ヲ相當ニ改良シテ行キタイトイフヤウナ根本的ノコトニ眼ヲ付ケタノモ、新シイ人生ニ觸レタ見方デハナイカト思ヒマスノデ、サウイフ點ニ委員ノ一種ノ基調ガ現ハレテ居ルヤウニ思ハレマス、日本側トシマシテハサウイフヤウナ態度ニ對シテハ

反對スベキモノデナイト思ヒマスノデ、只問題トシテ實行ノ能否、適否トイフコトヲ考ヘナケレバナラスノデ殊ニ臺灣ハ既ニ三十年以上モ立派ナ制度ヲ世界的ニ模範ノ制度ト稱セラレテ居ルモノヲ圓滿ニ實行シテ來テ居リマスシ、關東州ニ於キマシテモ波瀾ガアリマシタケレドモ最近ニ於キマシテハ確リシタ制度ヲ樹テマシテ、今ソノ運用ニ努力ヲシテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、急ニ千九百二十年ノ協定ヲ變ヘルトイフタメニ影響ヲ受ケルヤウデアリマシテハ國內的ニ見マシテモ支障ヲ生ズルノデ、成ルベク急激ノ變化ハ好マシクナイトイフノデ、委員ノ提案ハ無差別ノ點ガアリマスガ、ソレヲ劃一的ニ無差別主義ヲヤリマシテハ面白クナイ、寧ロ各國ノ協力主義ヲ基調ニ致シマスケレドモ、實行方法ハ各國ノ實際ニヨツテ取捨スルトイフ考ヘデコチラノ態度ヲ決メル方ガ良クハナイカト思ヒマス。尙關東州ト臺灣ハ餘程事情ガ變ツテ居リマスノデ、ソノ結果意見ノ上デビツタリト焦點ガ合ハナイ所ガアリマスノデ、日本側トシテ態度ヲ一貫致シマス上ニ於テ徹底ヲ缺ク譯デアリマスケレドモ、大體關東州ト臺灣ト調整シマシテ日本トシテドウイフ態度ヲ執ルベキカトイフコトノ勸告ヲ受ケマシテ、二十ヶ條ノ中主ナ問題ニツキマシテ方針案トイフモノガ出來上リマシタ。ソノ他ノ細目デモアリマスケレドモ小問題ニ屬スルモノハ關係大臣カラ心得書デ訓令セラルルヤウニ承知シテ居リマス、サウイフ程度デ爰ニ現ハレテ居リマス方針案ガ國際的經濟ノ開争デ餘程重大ナモノデアラウト思ハレマス。問題ハ小賣店ガ政府デ總テ「マネイジ」サレソレカラ阿片ヲ

公ニ飲マセル組織ヲシタ場所、ソノ阿片煙館ヲ制限シロトイフコトヲ示サレテ居リマスガ、コレハ寧ロ政府デ煙館ヲ經營シロ、純粹ノ政府ノ煙館ニシロトイフ取締本位カラサウイフコトヲ主張シテ居リマス更ニ阿片ノ關係カラ生ズル收入ヲ阿片ノタメノ支出ニ使ツテシマヘトイフコトヲ提案シテ居リマス。ソレカラ阿片ノ中央機關トシテ極東ニ一ツノ國際聯盟ノ「プランチ」ヲ設ケタイトイフ提案ヲシテ居リマス、コレ等ハ日本カラ見マシテモ相當重要ナ提案デナイカト思ヒマス、大體斯ウイフ點ニツイテ御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス。ソノ他ノコトニツキマシテハ色々意見モ出テ居リマスケレドモ、大體以上ガ問題ト思ヒマスノデソレダケヲ申上ゲテ置キマス、コノ會議ニ參加シタ國ハ日本ノ外「イギリス」、「オランダ」、「ポルトガル」、「アメリカ」、「支那」、コレダケノ國ニナツテ居リマス

會長代理(次田委員) コノ方針案ニツイテ御質問ガゴザイマスレバ御述ベヲ願ヒマス

赤木委員 一ツ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、第二項ニ「罌粟栽培ノ制限及管理ニ關スル」事デアリマスガ、コレ迄日本ハ麻藥問題ニツキマシテ原料ノ制限ヲスルニアラザレバ完全ナ統制ハ出來ナイトイフコトヲ主張シテ來テ居ルノデアリマシテ、隨ツテコノ問題ノ如ク罌粟ノ栽培ノ制限管理ヲ具體的ニ統制スルトイフコトハ從來コチラノ規定ニ寧ロ適合シテ居ルモノデハナイカト思ヒマスガ根本趣旨ニハ賛成デアルケレドモ、何ンダカ少シ賛成デキナイカノ如キ風ニナツテ居リマスガ、一

層コレヲ完全ニスルタメニハ廣ク生産國消費國ノ參加スル會議デアルトイフコトガ必要デアリマセウカ、少クモ斯ウイフコトヲ勸メル國ニ於テコノ會議ニ於テ審議シテ良イトイフコトニナレバソレガ更ニ大キナ會議ノ議題ニナルコトデナイカト思ヒマスガ、寧ロ積極ニ賛成シタ方ガ良イデハナイカト思ヒマス如何デゴザイマセウカ

棟居幹事 別ニサウイフ風ニ何カ反對ノ一部ヲ殘シタ文句デハナイノデアリマシテ、提案ノ精神ニ賛成シタイトイフ意味デアリマス、只實行ニツキマシテハ今度ノ會議ハ限ラレテ居リマスシ阿片ノ吸食ニ關スル問題ヲ主トシテ取扱フ會議デアリマスカラ、罌粟ノ統制ニ關スル問題ハソノ範圍ガ廣クナリマシテ歐洲諸國「アメリカ」モ加ハラナケレバ充分審議ガ出來ナイデハナイカト思ヒマス。コノ罌粟ハ「モルヒネ」「ヘロイン」トイフヤウニ廣クナツテ居リマス關係上、需給ノ關係トイフコトハ消費國モ生産國モ廣ク加ハラナケレバモウ少シ別ノ會議ニ讓ツテ檢討スル方ガ良クハナイカト思ヒマスノデ、内容ニ互ツテ審議スルコトヲ避ケマシタ、會議ヲ開クトイフ氣分ヲ作ルコトハ大ニ賛成ナノデ、細カイ實行上ノ議論ヲスルコトハ適當デナイデアラウトイフダケノコトデアリマス

赤木委員 コノ文句ヲ讀ムトサウイフ氣分ガスルノデアリマス、日本ノ内輪トシテノ可否トイフヤウナ氣分ガシテ居ルサウイフ風ニ進ムヤウニシタ方ガ良イデハナイカトイフ感ジガスルノデアリマス。今一ツ伺ヒタイノハ第四及ビ第五デアリマスガ、煙館ノ官營トイフコトハコレハ賛成シテ良イ

ノデナイカトイフ感ジガスルノデアリマス、又サウナケレバナラヌヤウニ思フノデスガ實行困難ダ
トイフ事情ハドウイフ事情デアリマセウカ、ソノ點ヲ伺ヒマス

〔次田次官會長席ヲ退キ安達内務大臣會長席ニ就ク〕

棟居幹事 煙館ノ制限ヲ撤廢シテ却ツテ煙館ヲ本位ニ阿片ノ取締ヲ進メテ行ツタ方ガ良イデハナイカ
トイフコトニツキマシテハ相當ニ問題ガアリマス譯デ、多少ノ意味ニ於テ俄ニ決定シタイトイフ餘
裕ヲ取ツタ言葉デ極メテ曖昧ナ言葉ニナツテ居リマスガ、ソノ事ニツキマシテモ相當ニ意見ガアリ
マスコトト考ヘラレマスノデ、寧ロ各家庭デ飲ムコトヲ止メマシテ、煙館本位デ吸食サシタ方ガ不正
ナコトモ出來ズ、取締ガ出來マスシ殊ニ官營本位デアリマスレバ衛生設備ノヤウナモノモ相當ニ出
來マスカラ比較的煙館ハ普通ノ家庭デ飲ムダリ阿片窟デ飲ムダリスルモノニ比べマスレバソノ方ガ
取締モ出來マスカラ弊害ガナクテ濟ムダラウトイフ見方モ立チマス譯デ、現在ニ於キマシテハ極東
地方ハ大部分煙館ヲ認メテ居リマス、殊ニ煙館ヲ經營シテ居リマス所、英領「ボルネオ」「シヤム」
「サラワーク」トカイフ所デハ元來煙館ヲ設ケテ居リマス、只禁止シテ居リマスノハ印度支那、安
南ダケデ日本ハ臺灣ト關東洲、寧ロ禁止シテ居ル方ガ事例ガ少ナイノデ、煙館ノ開設ヲ認メテ居リ、
官營トシテ居ル所ガ大部分ヲ占メテ居リマスカラ、煙館ノ利害ト申シマスカ、斯様ナモノヲ決メマ
スル上ニ於キマシテモ、相當ニ問題ガアルノデナイカト思ヒマス、只日本ト致シマシテハ臺灣ハ昭

和三年以來コレヲ禁止シテ居リマスノデ、現在臺灣ハ阿片令ノ第八條デ禁止シテ居リマス、關東州ノ
方モ第六條デ禁止シテ居リマス、既ニ昭和三年以來ドチラモ禁止シテ國內法制ノ上ニ於テハ煙館ト
イフモノヲ認メテキナイ譯ニナツテ居リマスノデ、ソレヲ直グ復活致シマシテ煙館本位ニシテ行ク
トイフコトニツキマシテハ可ナリ色々ニ實行上ニツキマシテ考ヘナケレバナラヌ問題ガアラウト考
ヘマスノデ、充分研究致シマシタ上、煙館ノ利益ガ弊害ノ方面ヨリ優レテ居ルトイフコトガ確定致
シマスレバ煙館本位ノ時期ガ來ルト考ヘマスガ、眼前ニ於テハ煙館本位ニ致シマスコトハ不便ノヤ
ウニ思ヒマス、殊ニ臺灣ハ理想的ニ進ムデ居リマシテ、今更煙館ヲ設ケル必要ハナイデハナイカ、
關東州ノ方ハ事實上百四ツバカリノ煙館ヲ持ツテ居リマス、煙館トイフト勅令違反ニナリマスケレ
ドモ、實際煙館トイハザルヲ得ザルモノヲ持ツテ居リマス、但シ國內デハコレヲ禁止シテ居リマス、
故ニ大ニ煙館賛成デアルトイフコトヲ申シマスコトハドウデアルカ知リマセスケレドモ有意義ノ取
締法ヲ講ズルコトガ出來ルナラバ煙館トイフモノヲ法制ノ上ニ於テ認ムルコトガ適當デナイカ、只
直グニ煙館主義ヲ求メテ無條件ニ致シマスコトハ弊害ガ多イヤウニ考ヘマスノデ、緩和規定ヲ設ケ
テ賛成スルコトニシテ、實行ノ問題ハ後日ニ譲リタイトイフコトニ致シマシタ、少シ態度ガ曖昧ナ
嫌ヒガアリマスノデ、實情止ムヲ得ヌタメニ斯ウイフ結論ガ出來タノデアリマス

赤木委員 ソレカラ第五ノ問題デアリマスガ、コノ提議モ理論トシテハ最モ正シイコトデアリ、サウ

ナケレバナラヌコト、思フノデアリマスガ、コレモ國際的ニ斯ウイフ風ニナルコトデアレバ反對シナイ方ガ良イデハナイカト思ヒマスガ、ソレハドンナモノデアリマセウカ

棟居幹事 理論ト致シマシテハ阿片收入ナルモノヲ一般ノ經費ニ附屬收支致シマスルコトハ好マシクナイコトト思フノデアリマスケレドモ、御承知ノ通りニ臺灣ニ於キマシテモ、關東州ニ於キマシテモ相當阿片收入ガ有力ナ財源ニナツテ居リマスノデ、關東州ニ於テハ一割五分トイフモノガ純益ニナツテ居リマス、臺灣ハ絶對額ハモット多イノデアリマスガ、割合ハ少シ減ツテ居リマスケレドモ、ソレデモ四分トイフ程度ニナツテ居リマス。五年度ノ決算デ臺灣ハ二百五十萬圓、關東州ハ百五十萬圓、コレハ餘程落ちテ居リマスケレドモ、一番少イ時デサウイフ状態ニナツテ居リマシテ相當財源トシテモ餘リ輕ク見ル譯ニ行キマセヌノデアリマス、表面上コレヲ變更スル理由ニナラヌト思ヒマス、只問題ハ斯ウイフモノガ實行出來ルカドウカトイフコトニツキマシテ餘程問題ニナリ日本ナドハ未ダ良イガ、外ノ地域ノ狀況ヲ見マスルト二割三割トイフヤウナ「バーセント」ヲ占メテ居ル所ガ可ナリアリマス、「マツカ」ノ如キハ二割二分ニナツテ居リマス、香港デモ約一割餘リ、海峽殖民地モ一割五分トイフ程度ニナツテ居リマスカラ、コレヲ實行スルニツキマシテモ、餘程財政状態ヲ考ヘナケレバ、主義的ニ賛成シテモ實行的ニ蹟クノデナイカト思ヒマス、若シ實蹟本位ニコノ提案ヲ許可シテ行クトスレバ、條約デ規定スルコトハ餘リ強イ効力ヲ加ヘルコトニナリマスカラ

コノ實行ニ近付ケテ行ク方ガ良イノデ、ナイカト思ヒマスノデ條約デヤルコトハ反對スルトイフ形式上ノ趣旨ヲ示サレタモノト考ヘテ居リマス、實質的ニハ餘リ反對スベキモノデナイト思ヒマスガ今ノヤウナ事情ガアリマスノデサウイフヤウニナツテ居リマス

矢吹委員 一寸御尋ネ申上ゲマス、六ノ國際聯盟極東阿片中央局ノ設置ノ件ニツイテ反對ヲシヤウトイフ案ニナツテ居リマスガ、ソノ理由トシテハ各關係國ノ誠意アル相互的直接協力ニヨリ、充分實効ヲ收メ得ベキコトヲ豫想シテノコトデアルガ、現在ハ満足スベキ状態デハナイダラウト思ヒマス、就イテハ斯ウイフ提議ガ出ルノハ當然ト思フノデアリマスガ、當局デハ斯ウイフ設置ガナクテモ充分取締ガ出來ルトイフ御考ヘデアリマスカ、ソノ點ヲ伺ヒマス

棟居幹事 國際協力主義ト言フモノヲ大体根本ニ考ヘマスナラバ、何カ現在各國ガ協力シテ居リマス以上ニモット有効ニ、モット誠實ノアル方法デ更ニ阿片取締、殊ニ不正取締ヲ防壓スルタメニ積極的ノ處置ヲ講ゼラルルモノデナイカト考ヘマスガ、阿片協定ニツキマシテマダ間モナイ事デアリマシテ、條約ノ實施ナドモ日本ナドハ昨年ノ一月九日カラ協定ガ實施サレテ居ル譯デアリマシテ、實行後期間モ淺イ事デアリマスシ、各國ガ充分ニ協同スルトイフ問題ニツキマシテハ理解ガ乏シイノデハナイダラウトイフヤウニ思ハレマスノデ、訓練濟デナイト思ハレマスカラ、コノ會議ヲ機會トシテ各國ガ協力シ合フトイフ精神ヲ盛ニスル、ソノタメニ一種ノ結論ヲツケルコトハ賛成ガ出來

ルト思ヒマスガ、直グ國際聯盟ガ中央局ヲ作ツテ統制ヲ持チ、場合ニヨツテハ内政ニ迄力ヲ入レルコトニナリマス、今伸ビテ行ク所ノ國際的ノ協力ヲ阻止スルヤウナコトニナリハシナイカ、却ツテ責任ヲ負ハナイヤウナ空氣ニナリマスモ考ヘラレマスノデ、寧ロコノ際ハコノ會議ノ結果ニヨリマシテ「コーボレーション」ノ精神ヲ盛ニスル、ソレニヨツテ或規定ガソノ趣旨ニヨツテ作ラルルガ良イデハナイカト思ハレマス、中央機關ヲ設ケラレテ或一種ノ指導ヲスルコトハ如何カト思ヒマス、常設委員モアリマスシ、阿片諮問會モアリマスシ、相當ニ機關トシテハ働キノアル組織ニナツテ居ルト思ヒマス、極東ニ乗出シテ來テヤルトイフコトハ時期尙早デハナイカト考ヘマス。コノ點ハ反對ハアリマスケレドモ精神ニ反對スル譯デハナイケレドモ、今暫ク時期ノ熟スルノヲ待ツテ新シイ問題ヲ考ヘル方ガ機關ヲ動カス上ニ於テ條件ガ備ハルカラ、ソノ方デ好マシクナイカト考ヘマシタノデ、別ニ精神ニ反對トイフ譯デハナイト考ヘテ居リマス

次田委員　コノ案ハ實ハ私共ハ今日初メテ拜見シタノデ、少シ考ヘサセテ頂キタイト思フノデアリマス、併シ色々御都合モアルデゴザイマセウカラ、コノ次ノ會トイフコトハ如何カト思ヒマス、今日ハ又外ニ麻藥會議ノ報告モアルノデアリマスカラ、一寸コノ案ハコノ程度ニ止メテ麻藥會議ノ報告ヲ先ニヤツテ頂キマシテ、ソレカラモウ一度コノ案ニ戻ツテ議ヲ纏メテ頂クトイフコトニ願ヒタイト思ヒマス

安達會長　コレハ後ニ廻シテ報告ヲ先ニ聽カウトイフノデアリマスガ如何デアリマスカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

安達會長　御異議ガナクバ左様致シマス

大達内務書記官　先般「ジエネバ」ニ於テ開カレマシタ會議ハ御承知ノ通り内地カラ私ト松尾君ト出席致シマタノデアリマスガ、七月中旬ニ會議ガ終リマシテ先般歸朝ヲ致シマシタ、ソレデ大體會議ノ經過ヲ申上ゲヤウト思ヒマス、御承知ノ事デアリマスガ麻藥ノ製造制限ヲシナケレバナラストイフコトハ既ニ千九百二十五年「ジエネバ」條約ガ締結セラレマシテカラ幾莫モナクシテ「ジエネバ」ノ諮問委員ソノ他ニ於テシバ「起草サレマシタ、ソノコトハ色々各國ガ協力シテ濫用不正取引ノ取締ヲスルケレドモ、今日ノヤウニ麻藥ノ製造數量ガ實際ノ醫者ノ使フ醫療ノ必要以上ニ上ツテ居ツテハ到底ソノ取締ノ効果ヲ擧ゲルコトガ出來ナイ、如何ヤウニシテモ過剰ノ數量ダケハ制限スルコトヲ免レナイ、デアルカラシテ麻藥ノ數量ヲ醫療上ノ必要ノ程度ニ制限スルコトニナラナケレバ濫用ノ跡ヲ絶ツコトガ出來ナイデアラウ、コレガ理窟デアリマシテ既ニ「ジエネバ」ニ於ケル輿論ヲ惹キ起スニ至ツタノデアリマス、コノタメニ直接影響ヲ受ケマシテ殊ニ問題ニナリマシタノハ日本ノ「コカイン」ノ製造數量ガ多ウスギルトイフコトニナリマシテ、コレニ壓迫セラレタトイフテハ語弊ガアリマスガ、當時約二千キロヲ製造ヲシテ居リマシタ日本ノ「コカイン」ノ製造ハ漸次減少

シテ半減セザルヲ得ナイヤウナ状態ニナツタノデアリマス。私共ガ衛生局ニ居リマス當時ニコノ理窟ハ怪シイ點ガアルト思ツテ居ツテソノコトモ色々議論シタノデアリマスガ、不幸ニシテサウイフ理窟ハ早クカラ「ジエネバ」ノ會議ニ於テ反映スルコトナクシテ、製造制限ノ必要トイフコトニツイテハ最早議論ヲ許サナイヤウニナツテ今日ニ及ンダノデアリマス。コレハ主トシテ「イギリス」ノ非常ナ熱心ナ「リード」ノ下ニサウイフ輿論ガ作ラレタノデアリマシテ、終ニ千九百二十年ニ聯盟總會ガ製造制限ノ必要並ニソノ事ヲ調停スルタメニ國際會議ヲ開クコトヲ發議シタノデアリマス、サウ致シマシテ一面實際ノ方面ニ於キマシテハ「コカイン」ノ製造ニ關スル「トラスト」ガ千九百二十四年以來「ヨーロツバ」ニアルノデスカラ「イギリス」ハ從來「コカイン」トイフモノヲ使ツテイナカタタノデアリマスガ、「コカイン」ノ「トラスト」ニ加入スルニ至ツテハ製造ノ割當ヲ獲得シタ、サウシテ「モルヒネ、コデイン」ニ關スルモノガ一昨年ノ暮ニ迫リマシテ英、獨、瑞西ノ間ニ成立スルニ至ツタ、サウシテ製造割當ノ制度トイフコトガ行ハレタ、サウイフ風ニ實質的ニ製造制限ヲスル準備ガ出來タ譯デアリマスガ、段々輿論トシテコノ必要ガ唱ヘラレ、聯盟總會ニ於テ決議スルトイフコトデ、製造制限ニ關スル國際條約ヲ成立セシムベキ會議ヲ成立スル機運ガ熟スルニ至ツタノデアリマス、サウシテ去年ノ十月ニ内地カラ松尾技師ガ出ラレマシテ、「イギリス」ガ出題シテ準備會議ヲ「ロンドン」ニ開催シタ、ソノ當時日本モ反對致シマシタ、ソノ他大分議論ガア

リマシテ準備會議トシテハ不成功ニ終ツタノデアリマスガ、ソノ時ノ原案ノ精神ガ本年一月ノ「ジエネバ」ノ諮問委員會ニ於キマシテ終ニ條約案トシテ具體的ニ提議サル譯ニナツタノデアリマス、ソコデ聯盟ガ主催致シマシテ聯盟委員會ガ作リマシタ條約案ヲ原案トシテ今回ノ會議ガ開催セラルルニ至ツタノデアリマス。諄イヤウデアリマスガ諮問委員會ノ原案ノ骨組ヲ申上ゲマスレバ、ソノ要點ハ世界各國ソレ／＼自分ノ國ニ醫療上必要ナル麻藥ノ數量ヲ申出マシテ、ソレヲ集計スルコトニヨツテ世界ニ於ケル醫療上ノ必要量ガ算出セラルルソノ數量ハ一定ノ歩合ヲ以テ割當テテ製造スル、從來製造シテキナカタ國ハソレ等ノ國々カラ供給ヲ受ケテ自國ノ必要ヲ充タス、斯ウ云フ大體仕組デアリマス、尤モ自分ノ國ニ必要ナモノハ自分ノ國デ造ルコトハ許サレテ居リマスガ、他ノ國ニ輸出スルタメニ製造スルコトハ條約ニ決メラレタ割合ヲ持ツテ居ル國デナケレバ輸出ヲスルコトハ出來ナイト云フ方針ニナツテ居リマス、我々共ガ「ジエネバ」ニ參リマシテ、持ツテ參リマシタモノハ勿論コレト反對ノモノデアリマシテ、コノ前ノ委員會デ決マリマシタヤウニ若シ割當ヲスルノデアアルナラバ苟シクモ輸出ノタメニ麻藥ヲ造リタイト思フ國ハ平等ナル割合デ分配スベキモノヨリ餘計作ツテ輸出シテ居タガ當時或國ハ五割五分、少クモ三割三分トイフヤウナ將來獨占的ノ地位ヲ與フルコトハ宜シクナイ、先ヅ割當ガ必要ナル各國ニ平等ニ分配スベキモノデアアル、若シソレガ賛成ヲサレナイトスルナラバ、各國トモニ自分ノ國ニ必要ナルモノ以外ハ造ラナイコトニス

ル、外國カラ相當ニ注文ガアツタナラバソノ注文ニ應ズルダケノ分量ヲ造ル、豫メ注文ガナイノニ輸出スルモノヲ造ルコトハ差控ヘル、ソレデハ兎角複雑ニナリマスカラ前年ノ輸出品ノ半分ノ數量ダケハ新ニ造ツテモ宜シイトイフ御趣旨デアツタノデアリマス、ソノ何レカノ方法ニ依ラナケレバ日本トシテハ賛成ガ出來ナイトイフ訓令ノ御趣旨デアリマシテ、私共コレヲ以テ「ジエネバ」ニ參リマシタノデアリマス。申上ゲマシヤウニ「イギリス」「ドイツ」「フランス」「スイス」「オランダ」トイフヤウナ世界ノ主ナル製造國ノ間ニハ大體割當ノ數量モ決マツテ居リマシテ、サウシテ前申上ゲマシタヤウナ經過デ條約草案トイフモノガ出來テ居リマスカラ、條約草案ト根本的ニ相容レナイヤウナ訓令ヲ持ツテ參リマシテ、日本ノ主張ガ通ルトイフコトハ私共考ヘテ居ナカツタノデアリマス、私共參リマス時ノ考ヘハ斯ウイフ偏敵ナ條約ハ成ルベク成立シナイヤウニシタイ、若シドウシテモ成立スルトイフコトデアレバ止ムヲ得ズ日本トシテハ會議ヲ脱退スル外ハナカラウ、併シ脱退トイフコトハ非常ニ妙ナコトニナリマスノデ、歸スル所ハサウイフ所ニナルヤウニ體良ク會議ノ壞レルコトヲ希望シタ譯デアリマス、併シ出來得ルナラバ日本ガ壞シタトイフ評判ナクシテ會議ガ壞レルコトガ一番良イ、日本ガ壞シタトイハレタクナイ、斯ウイフ積リデアリマシタノデ、私ト松尾君ト五月初メニ出發シテ、會議ハ二十七日カラ始マツタノデアリマス、先ヅ「パリ」ニ着キマシテ澤田公使ソノ他ノ人ト色々打合セテ致シマシテ、差當リ會議ガ始マレバ割當ノ問題ヲ先ニ決

メテ欲シイ、割當ノ問題ヲドウスルカトイフコトガ決マラナケレバ條約ノ骨組ガ違フノデアルカラ、割當ノ先決ヲ主張シナケレバナラス、ソレデ寧ロ一カバチカ勝負ヲ決メタ方ガ良カラウ、斯ウイフ打合セテ致シマシテ、サウシテ「ジエネバ」ニ參リマシタ譯デ、會議ハ五月ノ二十七日ニ始マツタノデアリマスガ、參加シタ國ガ五十六ヶ國、後ニ一ヶ國殖エマシテ五十七ヶ國、聯盟主催ト致シマシテハ未曾有ノ數字ダサウデアリマス、議長ハ「ベルギー」ノ人デアリマシテ「ブルツケール」トイフ人デアリマス、コレハ聯盟ノ方デ推薦致シマシタ、サウシテ副議長ハ「ポルトガル」ノ代表デ諮問委員會ノ議長ノ「ヴァスコンスコ」、ソレカラ「アメリカ」ノ「コールドウエル」トイフ首席代表、コノ二人デアリマシテ、サウシテ集リマシタ各國ノ代表ハ「イギリス」ソノ他、阿片ノ方デ有名ナ人が集ツタノデアリマス、サウシテ傍聴ハ新聞記者ニハ一切公開スルトイフコトニナリマシタ、ソレデ會議ガ始マリマスルト委員會ヲ置クトイフコトニツイテノ相談ガアリマシテ、其際日本ハ普通ノ議事ニ關スル委員會ダケデ後ハ制限方法ヲ研究スル委員會、コレダケアレバ宜シイ制限方法ガ決マツテカラ後ノ問題ニ入ルベキモノデアツテ、先ヅ制限方法ヲ決メナケレバナラスカラ澤山ノ委員會ヲ設ケルコトハ面白クナイ、斯ウイフコトヲ主張シタノデアリマスガ、結局議事ニ關スル委員會、制限方法ノ委員會、専門ノ委員會、ソレカラ起草委員會、斯ウイフ四ツノ委員會ガ出來タ、ソノ他分配問題ニ關スル委員會、價格ノ問題ニ關スル委員會、取締ニ關スル委員會ヲ作りタイトイフ

コトデアリマシタガ、日本ノ主張ト折半致シマシテ大體四ツノ委員會が成立致シマシタ、主ナ國ハコレ等ノ委員ニナツタノデアリマス、サウシマシテコレダケノコトガ濟ミマスト四五日ノ間ハ初メノ中ハ一方討議トシテ各國代表ガソレ／＼自分ノ所感ヲ述ベタ譯デアリマス、併シマダ主ナ國ノ間ニ步調が揃ツテ居ナイノデアリマスカラ英、佛、獨、米、日、瑞西、和蘭トイフヤウナ主ナ國ハマダ一般討議ヲ致シマセヌデ、大體模様ヲ見テ居ツタノデアリマス、コノ一般討議ニ現ハレマシタ澤山ノ國ノ意見ヲ申シマスト、直接原案ニ對シテ反對意見ヲ述ベル國ハナイノデアリマスガ、併シ或國ハ「ブランク案」ト申シマスカ、割當案ト違ツタ日本ノ主張スル方法ニ良ク似タヤウナ「ブランク」トイフ人ノ案ヲ支持スル者、ソレカラ不正取引ノ取締ヲ嚴重ニシナケレバ駄目ダトイフノデ、取締トイフコトヲ主トシテ討議スル、或ハ普通ノ制限ダケデハ意味ヲナサヌトイフコトヲイツテ居ルモノ、專賣制度ニスベキモノトシテ居ルモノ、詰リ大體ノ空氣ヲ見マスト正面カラ原案ニ對シテ反對ハ唱ヘナイケレドモ、原案ニ對スル不滿ノ模様ガ微ニ見エルヤウナ状態デアツタノデアリマス。會議ノ初メノ日デアリマシタカ翌日デアリマシタカ「イギリス」ノ代表カラ日本ノ方ニ申出ガアリマシテ會議デナシニ個人的ニ會ツテ話ヲシタイ、斯ウイフ申出ガアツタノデアリマス、ソレハドウモ餘リ澤山國ガアリマシテ、議論ガガヤ／＼シテ居ルカラ、コノ際製造國ハ成ルベク步調ヲ一ニシテソノ間ニ相談ヲ決メテ一ツノ腹ヲ決メナケレバ會議ガ纏マリ惡イ、ソレニハ日本モ參加シテ貰ヒタ

イ、斯ウイフ話デアツタ、日本デモコノ前佐藤大使ト「イギリス」ノ「バーマーストン」トノ間ニ今年ノ春ノ諮問委員會ノ時ニ一種ノ妥協案ノヤウナモノガ出來マシテ、ソレニ對シテ日本ノ返答ガシテナイノデ、ソノ返事ヲスル必要ガアルノデコレニ加ハツタノデアリマス、主ナ國々デ三回ニ亘ツテ行ハレマシタ、主トシテ日本ノ態度ニ關スル問題デアルノデ、日本ト致シマシテハ先ヅ第一ニ佐藤大使ト「イギリス代表」ノ間ニ前ニ相談サレタ妥協案ニ對シテ日本政府ハ絶對ニ同意スルコトガ出來ナイトイフコトヲ返事ヲ致シマシタ、ソコデ「イギリス」カラ日本ハドウイフ積リデコノ會議ニ出タカ、サウイフコトデハ會議ヲ壞ハスコトニナルトイフコトデアツタ、ソレデ日本ノ訓令ニアリマス、(イ)案ト(ロ)案ノ兩方ヲ「イギリス」ノ代表ニ發表シタノデアリマス、所ガソコニ集リマシタ國々ハ殆ド異口同音ニ日本ノ案ニ對シテ非難ヲシタ、主ナル非難ハコレデハマルデ制限ニナラス、初メノ分配ハ問題ニナラス、ソノ先ノ注文ニヨツテトイフコトハコレデハ制限ニナラヌトイフコトガ主ナルコトデス、尙日本ハ價格ノ協定ノ問題ニツイテドウイフ風ナ御考ヘデアルカトイフ話デアツタカラ、日本トシテハ價格ノ問題ハ最高價格ヲ決メルコトナラ別ニ異論ハナイ、只最低價格ヲ決メタリ、或一定ノ價格ヲ決メルトイフコトナラバ日本トシテハ應ジラレナイトイフコトヲ話シタラ、ソレモ困ル、サウイフコトナラ價格ノ協定ヲスル必要ガナイ、良ク考ヘテ貰ヒタイトイフコトデアツタ、最後ニ日本ハ幾ラ考ヘテモ同意シ難イトイフコトヲ申出マシタ、色々妥協的意

見モアツタノデアリマスガ、ソノ中ニ「アメリカ」カラソレナラバ各國ノ割當ニ對スル表示ノ中ノ割當全體ノ一割カ二割ヲ全然表示ノナイ所ニ割當ヲシテ、注文ヲ受ケナイ國デモソレダケノ數量ガ出來ル、表示ハナクテモ割當ニ達スル迄ハ何處ノ國デモ注文ガアレバ造ルコトガ出來ル、斯ウイフ妥協的ノ意見ガアツタノデアリマス、コレハ形式ハ割當案ト殆ド違ハナイノデアリマスケレドモ實質的ニハ日本ノ要求ニ近イモノデアリマシテ、一應考ヘテ見ル必要ガアルト思ヒマシタガ、何ニシロ會議ガ始マリマセヌカラ日本ノ正式ニ意見ヲ發見シテナイノデアリマスカラ、コレニ對シテ考慮ノ餘地ガナイトイフコトヲ主張致シマシタ、ソレデ結局何等纏マル所ガナイノデ然ラバ止ムヲ得ヌカラ銘々自分ガ持つテ居ル意見ヲ議場ニ於テ發表シタラ良カラウ、斯ウイフコトニナリマシテソレデ別レタ、サウイフコトニナリマシタカラ、日本ハ直ニ一般討論ノ席上ニ於テ日本ノ態度ヲ演述シタ、ソレガ五月ノ三十日デアリマス、コレハ一般討論デアリマスカラ具體的ノコトハ申シマセヌガ、大體ノ要旨ハ麻藥製造ノ制限ノ問題ハソノ趣旨カラ考ヘテ人道的ノ見地ヨリ考究スベキモノデ利害ノ見地ヨリ考ヘルコトハ面白クナイ、併シナガラ同時ニ又出來得ル限り通商ノ自由、産業上ノ機會均等ヲ念トシナケレバナラス、或國ニ對シテハ獨占的、或國ハ全然手モ足モ出ナイヤウニナルトイフコトハ避ケナケレバナラス、更ニ又コノ問題ハ一般的ニ適用サレルヤウナ條約デナケレバナラナイ、多數ノ國々ガ條約外ニアルトイフコトニナルトイフコトハ製造制限ノ目的ヲ達スルコトガ

出來ナイカラ、各國ノ間ニ均等ナ條件ノ方法デナケレバナラナイ、斯ウイフ抽象論ヲ致シマシテ、サウシテ日本ノ案ヲ紹介致シマシテ、サウシテ一體製造制限ダケニヨツテ麻藥ノ濫用並ニ不正取引取締ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイ、一面ニ於テ立法的ノ手段並ニ社會的協力ノ方法ヲ講ジテ濫用並ニ不正取引ノ斷絶ヲ期スルコトニヨツテ效果ガ舉ガルノデアルカラ、ソレガタメニハ各國デ專賣制度ヲ採用スルコトヲ考ヘテ見ルコトガ必要デアラウ、斯ウイフコトデ先ヅ一般の意見ヲ述ベタ、日本ガソノ意見ヲ發表致シマスト「イギリス」ノ代表ガ直ニ立チマシテ、サウシテ諮問委員會ノ從來ノ沿革竝ニ内容ヲ説明致シマシテ、非常ニコノ案ハ良イ案ダ、コノ案ヲ通ス上ニ於テ困ルコトハ日本ト「トルコ」デアル、「トルコ」ニツイテハ何等カノ話ガ出來ルト思フガ、ドウモ日本ノ態度ガ困ル、示サレタ日本案ハ實行ノ案デモ何ンデモ到底採用スベキモノデナイ、一體諮問委員會ノ案ハ各々國內ニ於テハ麻藥ノ製造ニ從事シ、國際問題ニ通曉シテ居ル所ノ人ガ集ツテ二年間研究シタ合作デアルカラ、會議トシテハ輕視スルコトノナイヤウニシテ貫ヒタイ、斯ウイフ演說ヲシタ、ソノ時ハ原案ガ通ルトイフ勢ヒデアリマシタカラ「イギリス」ノ委員ハ非常ニソレヲ主張シタノデアリマス、ソレカラ二三ノ國ガ矢張りサウイフ一般討論ノ議論ノ演說ヲ致シマシテ、引續イテ逐條討論ニ入り、一條カラ順序ニ審議ヲスルトイフコトニナツタ、日本トシテハ順々ニ決メテ行カレルコトハ甚ダ困ル、條約ノ眼目ニナツテ居ル所ハ原案ノ第八條デアル、先ヅ第八條カラ審議ヲシテ、

第八條ガドウナルカトイフノニヨツテ以下體裁ガ變ツテ來ルカラ、ソレヲ先決問題トシテ決メテ貫ヒタイトイフコトヲイヒマシタガ、餘リ賛成者ガナクテ一條カラ順次ニ討論スルコトニナツタ、ソコデ日本ト致シマシテハ取急イデ日本ノ修正案ヲ作りマシテ提出シタノデアリマス、外ノ國モソレノ修正案ヲ作りマシタガ、日本ハ大體修正案トシテハ訓令ノ(ロ)案ヲ主トシテ心得書ニ書イテアル所ヲ加ヘテ全部ノ修正案ヲ六月二日ニ提出致シマシタ、只申上ゲルノハ日本ノ訓令案ヲ提出スルニ當ツテ心得書ト訓令トヲ取捨シタノデアリマス、ト申シマスノハ(ロ)案ニヨツタノデアリマスケレドモ中ノ原案側ノ勢ガ強イノデアリマスカラ成ルベク理窟ヲ揃ヘテ於ク必要ガアル、デナイト太刀打ガ出來スト思ヒマシタカラ、心得書ニハナカツタノデアリマスガ各國ハ見積以上ノ麻藥ヲ輸入スルコトハ出來ストイフ條文ヲ一ツ加ヘ、ソレデ再輸出ノタメニ輸入ニツイテ嚴重ニ規定ヲスル、輸出輸入共輸入證明書ノ制度ニヨツテ行ハル、ノデアリマスガ、輸入國ニ輸入證明デ自分ノ國ニ輸入セラレタ數量ト輸出セラレタ數量ノ集計ヲ輸入證明書ニ書キ込ム、斯ウイフ三ツノ事柄ヲ加ヘタノデアリマス、コレハ中央機關トイフモノニ反對シテ居ルノデアリマスカラ、ソレニ代ハルベキ何等カノ規定ヲ設ケテ置キマセスト都合ガ惡イノデ左様ニ致シマシタ、ソレカラ心得書ニアリマシタ見積ノ際ニ各國カラ自分ノ國デハコレダケノ必要ノ麻藥ヲ何處ノ國カラ輸入スルツモリデアアル、斯ウイフコトヲ申出ル、コレハ日本ノ覺書デハ削除スルヤウニナツテ居ル、ソレヲ削除セズニ修正モ

加ヘナイ、コレハ毒ニモ藥ニモナラヌ規定デアリマスガ、消費國側デハ非常ニ重キヲ置イテ、諮問委員會ニ於テ三日間モコレガタメニカ、ツタトイフコトドドウイフ譯デアリマスカ、消費國側トシテハ非常ニ重要ニ考ヘテ居リマスノデ、日本トシテ進ンデコノ削除ヲ主張スルコトハ消費國ノ援助ヲ受ケテ日本案ヲ通ス必要上、コレヲ餘リヤカマシクイフコトハ不利益ト考ヘマシタノデ、ソノ點ダケハ日本トシテハ修正案ノ中ニ加ヘテ居ラナカツタノデアリマス、サウイウ風ニシテ修正案ヲ提出シテ置キマシタノデアリマスガ、コレ迄ノ日本ノ態度ニ對シマシテハ、段々評判ヲ聞イテ見マスト日本トシテハ割當ガ貫ヘナイカラ非常ニ駄々ヲコネル、日本ノ主張ハ自分ノ經濟上ノ利益ヲ圖ル、爲メニ出シテ居ル案デアアル、斯ウイウ意味ノ評判デアリマスカ、宣傳デアリマスカ、行ハレタ、現ニ日本ノ聯盟ノ伊藤トイフ人ニ會ヒマシタ時ニサウイフヤウニ考ヘテ居ルカラ何トカ考ヘ直シテ貫ヒタイトイフコトデアリマシタ、ソレカラ日本ハ會議ヲ成立サセル成意ガナイ、色々ナコトヲイツテ會議ヲ毀ハシニ掛ル、コレハ現ニ「スイス」ノ代表ガ日本ノ代表ニ直接サウイフコトヲ申シタ、ソノ時分ハ日本案ニ對シテ理解ガ足りナカツタトイフ點モアリマシタラウガ、餘リ評判ガ良クナカツタ、只「アメリカ」ノ代表部ハ多少日本ニ傾イテ居リハセヌカトイフ風ガアツタガ、大體ノ空氣トシテハ餘リ樂觀シ得ナイ風デアツタ、大體逐條討議ガ進ンデ來マシテ第八條ニ入りマスト同時ニ日本ハ日本ノ修正案ニ對スル説明ヲ致シマシタ、コノ演説ハ餘リ長イ演説デハアリマセヌガ、

三十分足ラズノ演説デアリマスガ、コノ會議ノ中デ最モ注目サル、演説デアリマシタ。日本ノ當時申シマシタ大體ノ事ヲ申上テ見タイト思ヒマス、ソレハ先ヅ日本ノ修正案ノ内容ヲ一應説明致シマシテ、日本ノ案ハ麻藥ノ製造ヲ世界ノ必要ナ數量ニ止メルトイフ點ハ諮問委員會ノ案ト違ハナイ、只方法ガ違フダケデアツテ、決シテ諮問委員會ノ案ト變ルモノデナイ、籲ツテ諮問委員會ノ原案ヲ見ルトソコニハ救フベカラザル根本的ノ缺陷ガアルヨウニ考ヘル、ソノ第一ハ諮問委員會ノ案ハ各國ノ必要量ノ見積ヲシテ、ソノ見積ツタダケノ麻藥ノ製造ヲシロ、斯ウイウ案デアルケレドモ一體見積トイフモノハ正鵠ヲ期シ難イモノデアアル、多少デモ見積ニ過大ナモノガアレバソレダケハ造ルノデアアルカラ麻藥ノ生産過剰ヲ來タス譯デアアル、數量制限ノ目的ハ全ク没却サレルデアラウ、然ルニ日本ノ案ハ見積ハ各國ガ輸入シ得ル「マキシマム」ヲ示スニ留ル、ダカラ假ニ見積ガ過大デアツテモ必要ガナケレバ輸入シナイカラ、實際ノ必要量ヲ超エル筈ハナイ、然ルニ諮問委員會ノ案ハ當然數量過剰ヲ來タスコトニナルト思フ、第二ニハ諮問委員會ノ案ハ世界ノ必要量トイフノヲ條約國ダケデ造ルトイフ考へ、デアアルカラ條約外ノ國ガ製造ヲ始メタナラバ、條約外ノ國ガ造ツタマケハ數量過剰ニナル、世界ノ必要量ハ或特定ノ國デ造ルトスルトソノ他ノ國デ造ツタモノヲドウスルトイフコトヲ解決シナケレバナラス、日本ノ案ニ從ヘバ注文ニ應ジテ造ルノデアアルカラ必要ガナケレバ注文シナイ筈デアアルカラサウイフ危險ガナイ、第三ニハ諮問委員會ノ案ハ通商自由ノ原則ト機會均

等ノ原則ヲ破壊スル、勿論製造ヲ制限シロトイフコトデアアルカラ多少ノ窮屈ハ止ムヲ得ナイ、併シナガラ出來ル限リハサウイフコトハ避ケナケレバナラス、諮問委員會ノ案ノ如ク將來ニ於ケル麻藥市場ノ獨占ヲ認ムルヤウナコトハドウシテモ必要デナイトイフコトガ説明セラレザル限リ甚ダ不當ノ事デアアル、將來割當ヲ變ヘルトイフ規定モナイコトハナイガ、ソレガ有名無實デアツテコレガ働クコトハ想像シ得ラレナイノデアアルトイフ風ニ諮問委員會ノ案ニ對スル缺點ヲ指摘シタ。サウシテ聽ク所ニヨリマスレバ日本ノ提案ヲナスニ當ツテ日本ノ商賣上ノ利益ヲ考ヘタトイフヤウナコトヲイフ人ガアルガ、決シテ左様ナコトハナイ、日本ノコノ提案ヲナスニ當ツテ割當ガ欲シクテシタノデナイ、割當ナドハ要ラナイ、日本ニ於テ今日ニ至ル迄麻藥ノ製造制限ヲ國內ニ於テ實施シテ來テ居ルノデアアル、國內ニ於テ必要量以上ノ製造ハ許サナイコトニシテ居ル、日本ガ外國ニ對シテ相當ノ市場ヲマダ持つテ居ナイカラサウイフ風ニシテ居ル、將來ト雖モ外國ニ相當ノ市場ヲ持得ナイ限リハ條約ガ成立シヤウガシマイガ、日本ハ忠實ニコレヲ實行スル、コレニヨツテ見テモ割當ガ欲シイ或ハ經濟上ノ利益ヲ得ルタメニコノ主張ヲナスノデナイトイフコトハ明カデアアル、最後ニ大凡ソ如何ナル良イ方法ガアツテモ餘リ複雑デアツテ又普通の性質ヲ缺イテ居ルモノハコレヲ採用スルコトハ良クナイ、諮問委員會ノ案ハ良案カモ知レヌガ極メテ複雑デアアル、總テノ國ガ満足スルコトガ出來ナイ、ソノ點ニ於テモ日本ノ案ガ採用セラルベキモノデアアル、斯ウイフ意味ノ演説ヲシタノ

デアリマス。コノ演説ハ時間ハ短カッタガ非常ニ滿場傾聴致シタノデアリマシテ、ソノ時分ハ會議ノ始マツタ時デアリマシテ、誰ガ演説ヲシテモ騒ガシイノデアリマスガ、ソノ時ニハ鎮マリ返ツテ手ヲ拍ク者モナイ位デアツタ、サウシテ日本ノ演説ガ濟ミマスト、直グ「イギリス」ノ代表ガ日本ノ席ニ來マシテ原稿ヲ貫ヒタイフノデ原稿ヲ持ツテ行ツテ額ヲ集メテ研究シタヤウナ譯デ、非常ニ反響ガ強カッタヤウデアリマス、會議ガ濟ミマスト日本ノ所ニ來テ、日本ノイフ所ハ合理的デアル、勇敢デアル、或ハ日本カラ良イ案ヲ出シテ貫ツテ結構デアルトイフコトヲイツタヤウナ譯デアリマシタ、コノ演説ヲヤリマシテ今迄工合ガ惡カッタノデアリマシタガ餘程工合ガ良クナツタノデアリマス。翌日六月五日私共議場ニ行キマシテ「イギリス」ノ代表カラコレニ對スル反駁演説ガアルト思ツテ居ツタ、會議ノ始マル前ニ演説ヲヤルカト云フト「イギリス」ハ今日ハ演説ヲシナイガ、一週間位經ツタラ「イギリス」ガ止メヲ刺シテシマフ、斯ウ謂フコトヲ云ツテ居ツタ、會議ガ始マリマシタガ「イギリス」ハ立タナカッタノデアリマスガ、ソノ中ニ「イタリー」ノ代表ガ立チマシテ日本ノ修正案ニ對シテ昨日説明ヲシタ原案ノ起草者ハ「イギリス」ノ「デレヴィンニユ」君デアルカラ「デレヴィンニユ」君カラ此處デ一ツ原案ノ説明ヲシテ貫ヒタイ、日本ノ案ニ對スル意見ヲ聽キタデ「イギリス」ノ代表ガ立ツテ反駁演説ヲシタ、ソレハ日本ノ案ハ直接ノ制限ニナラス、コノ會議

ニ於テ決定セラルベキモノハ直接制限デナケレバナラス、日本ノ案ハ取引ノ實際ニ適合シテキナイ、只注文ガアツテカラ只藥ヲ造ルトイフコトハ到底取引ノ實際ニ當筈ラス、サウシテ日本ハ五〇パーセント迄ハ豫メ造ツテモ良イトイフテ居ルガ、ソレハ日本ノ案ソノモノヲ其處ニ暴露シテ居ル日本ノヤウナ國ニ於テハサウイフ特別規定ガアルコトハ都合ガ好マシカラウガ、今カラ製造シヤウトイフ國ニ對シテハ一向利益ニナラス、コンナ規定ガアツテモ新シイ國ニ對シテハ何ニモナラス。次ニ日本ノ案ハ輸入證明書ニ對シテ特別ノ案ヲ作ツテソレデ取締ヲシヤウトイフヤウデアルガ、コレハ甚ダ覺東ナイコトデアツテ、「イギリス」ノ制度ヲ採用シテキナイ國モ澤山アル、「ジエネバ」條約ニ入ツテ居ル國デコレヲ實行シテ居ラヌノモアル、コレヲ以テ制限ヲ期サウトスルコトハ危險デアル、斯ウイフ意味ノ非難ヲシタ、サウシテ諮問委員會案ニ對シテ色々イフケレドモ、見積ガ過大デアルトイフコトガ直ニ生産過剩ヲ來タス譯デハナイ、餘リノモノハ翌年ニ至ツテ減セバ過剩生産ニハナラス、尙日本ノ非難シタ通商ノ自由ヲ破壊スル、斯ウイフコトハ一理アルコトデアルケレドモコレニ對シテハ修正案ヲ出ス積リデアル、サウスレバ原案ガ一番宜シイ、斯ウイフコトヲイツタノデアリマス。サウシテ二三ノ國ガ演説シタノデアリマスガ、即日「イギリス」ハ即チ六月五日ニ修正案ヲ提出致シマシテ、割當ハ一應決メルケレドモ、割當ヲ持タヌ國デアツテモ外國ノ注文ニ應ズルダケノモノハ自由ニ造ツテ宜シイ、ソレヲ三年位續ケテ、三年ノ平均ヲ見テソノ國ニ對シテ一定

ノ割當ヲスル、斯ウイフ修正案ヲ出シタ、サウシテ日本ノ非難ニ備ヘタ、ソノ翌日ノ六月六日ニナリマシテ更ニ日本ノ代表ガ立ツテ「イギリス」ノ演説ニ對スル反駁ヲ加ヘタノデアリマス、コレハ餘リ諄クナリマスカラ省略致シマスガ、大體「イギリス」ガ擧ゲタ日本ノ案ニ對スル非難ニ對シテ一々辯明ヲシタ譯デアリマス、サウ致シマシテ結局制限委員會ニ附託シヤウトイフコトデ本會議ノ方ハ打切ツタノデアリマス。ソノ間ニ日曜ナドガ入りマシタガ、ソノ間ノ狀勢ヲ見マスト、日本ノ最初ノ演説竝ニ「イギリス」ノ演説トノヤリ取りニ於キマシテ日本ニ對スル理解ガ強マツテ來テ段々評判ガ良クナツタ、先ヅ第一ニ國際聯盟ノ事務局ノ連中ガ色々研究シタ結果日本ノ案ガ一番良ササウダトイフコトニナツタヤウデアリマス、ソレデ事務局側カラ好意ヲ表シテ來タ、何ントカシテ日本ノ案ヲ纏メレバ良イトイフコトニナツタノデアリマス、一般ニモ段々ト日本ガ特ニ自分ノ利益ヲ主張シテ居ルモノデナト謂フコトガ理解サレルヤウニナツテ、段々好轉シタノデアリマス。委員會ハ六月ノ八日カラ始マリマシテ結局制限方法ヲ議決シタノハ十九日デアリマスカラ、十日バカリ續イタノデアリマスカラ、ソノ八日ニハ阿片ノ事務局長「エクストラン」ガ日本ノ方ニ來マシテ、日本案ガ良イヤウニ思フ、一般ニ徹底シタヤウデアルカラ、日本ノ修正案ニヨツテ條約草案トイフモノヲ作ツテ出シテ貰ヒタイ、ソレヲ一般ニ配ルト理解ガ仕易イダラウ、日本ノ方法ニヨツテ運用スル場合ニハドウイフ場合ニ制限ヲ運用スルカトイフ説明ヲ加ヘル、サウスルト事務局ノ方デ

モソレノ參考ニナルヤウナ參考書類ノ統計ナドヲ集メテ一絡ニ各國ノ代表ニ送ルカラ、餘程日本案ニ對スル理解ガ強マルダラウカラト云フ非常ナ好意ノアル話デアリマシテ大急ギデソノ日デアリマシタカソノ翌日デアリマシタカ、サウイフ風ナモノヲ一切事務局ニ提出シタノデアリマス、サウシテ制限委員會ハ六月ノ八日カラ始マリマシテ、色々ト日本ノ外ニモ「イタリー」「トルコ」「アルゼンチン」トイフヤウナ國ガ賛成シテ、日本ノ案ガ原案ニ遠イカラソレカラ審議スルト云フコトデ、一應ハ細目ニ入り掛ケタノデアリマスガ、細目ヲイキナリヤルコトハ良クナイカラ、日本ノ案ニ依ルカ、原案ニ依ルカ、ドツチニ依ルカトイフコトヲ決定シタ方ガ良カラウト云フコトデ「イタリー」ガ續イテ立チマシテ主義ノ方ヲ先ニ決メテシマツタ方ガ宜シイ、大體ニ於テ委員會ノ前ニアル所ノ案ハ割當ノ原案ト云フノト「イタリー」ノ案ト、日本ノ案ト三ツノ案ニ分類スルコトガ出來ル、「アメリカ」ノ案ハ日本ノ案ニ似タモノデアアル、コノ三ツノ何レニスルカト云フコトヲ先決シタ方ガ良イト云フコトヲ言ヒ出シタ、所ガ「スペイン」ガ非常ニ大膽ナコトヲ言ヒ出シマシテ、「イタリー」ハ三ツノ中何レカニシロト云フケレドモ、自分ハ「イタリー」ノ案ト日本ノ案トノ決ヲ採ルコトヲ主張スル、諮問委員會ノ割當案ハ死ムダト同ジ事デアアル、日本ト「イタリー」ノ兩案ドチラカニシタ方ガ良イト云フコトデアリマシタガ「アメリカ」「ユーゴスラヴ」「トルコ」ナドガ相續イテ立チマシテ、諮問委員會ノ案ハ第八條ヲ見ルト主ナ所ハ「ブランク」ガアツテ書込ミガシテナイ、ダ

カラ審議ノ仕様ガナイ、諮問委員ノ案ノ審議ヲスルニハ「ブランク」ヲ埋メテカラニシヤウトイフコトヲ言ヒ出シタ、今度ハ「フランス」ガ立チマシテ、諮問委員會ノ案ハ良イケレドモ「ブランク」ノ儘デハ案トシテ成立シテキナイ、ソレダカラコレヲ比ベル譯ニイカヌカラ、諮問委員會ノ案ハ案トシテ取扱ハレヌ、斯ウ云フトコヲ言ヒ出シタ、コノ時ノ模様ニヨリマシテ日本ノ案ノ地位ガ諮問委員會案ト相當ノ程度迄上ツタト云フコトガ判ツタノデ、私共ハコレニヨツテ安心シタノデアリマス、ソレデ日本案ニ付テ審議ヲ進メヤウト云フコトニナリマシタ時ニ「フランス」ガ突然立チマシテ、自分ハ日本ノ案ニ對シテ或種ノ「サブセツシヨシ」ヲシタイ、日本ノ案ニハ「ストツク」ヲ認メテ居ラス、ソレヲ認メテ取引ノ圓滑ヲ期スルヤウニサルナラバ「フランス」ハ日本ノ案ニ賛成ヲスル、コレハ「フランス」ガ從來ノ立場トシマント非常ニ不思議デ驚イタノデアリマスガ「フランス」ガ言ヒ出シタノデ「スペイン」ハ「フランス」ノ考ヘト日本ノ考ヘト合セテ何カ案ヲ作ルコトニシテ貫ヒタイ、次イデ「イタリー」ガ立ツテソレガ宜シカラウ、自分トシテハ日本ハ中央機關ヲ否認シテ居ルガ、ソレヲ加ヘテ吳レバ「イタリー」ハ全然日本ノ案ニ賛成スル、斯ウ云フトコヲ言ヒ出シタ、其處デ非常ニ日本案ノ景氣ガ急ニ良クナツテ參リマシテ、兎ニ角「フランス」ト日本ト相談シテ案ヲ作ツテ貫ヒタイト云コトニナツテ、ソノタメニ小委員會ヲ作ツタノデアリマス、コレハ「フランス」ガドウイフ譯デ斯ウイフコトヲ言ヒ出シタカ判ラヌガ、素々「フランス」ハコレニ

遅クナツテ入りマシタノデ、製造國トシテ除外サレテ居ツタ、本年一月ノ諮問委員會ノ席デモ日本ノ案ニ似タヤウナコトヲ主張シテ撤回サレタヤウナコトモアツタ、製造國側トシテハ「フランス」ハブラ／＼シタ立場ニアツタコトハ間違ヒナイ、同時ニ「イギリス」ガ日本ノ演説ガアツテカラ非常ニ周章シテ修正案ヲ出シタ、恐ラク「ドイツ」「フランス」等ニモ相談スル暇ガナクテ出シタラシイノデアリマシテ、斯ウイフコトノタメニ製造國ノ間ニ多少歩調ガ亂レテ、サウシテ「フランス」ノ代表ハ非常ナ突飛ナコトヲイフ人デアリマスカラ、斯ウイフコトヲ言ヒ出シタノダト思ヒマス、ソレカラ二三日ノ間ハ日佛案ヲ作ルコトニナリマシテ、日本ト「フランス」ソレト「ドイツ」ト「アメリカ」邊リガ一緒ニ入り、又「スペイン」モ入ツテ色々相談ヲシテ作ツタノデアリマス、事務局デモシバ／＼會合ヲ致シマスシ、我々ノ泊ツテ居ル宿屋ニモ集ツテ色々相談致シマシテ日佛案ヲ曲ナリニモ作ツタ譯デアリマス、コノ時分ニナリマスト評判ガ非常ニ日本ガ優勢デアルト噂サルルヤウニナツタ、日本案ハ原案ニ對立スル案、ソレ以上ニナツテハ到底會議ガ決裂スルダラウ或ハ會議ヲ決裂サセルタメニ暗中飛躍ヲシテ居ル者ガアルトイフ評判ガアリマシタガ、私共ハ決裂スルトイフコトハ初メカラ豫期シテ居ルコトデアリマスシ、サウシテ斯ノ如キ狀勢ニナリマシテハ日本ガ壞ハシタコトニナラスノデ大變安心シタ譯デアリマス、ソレカラ日佛案トイフモノガ二三ノ中ニ出來マシタ、ソレガ十二日デアリマスガ、小委員會ニ提出致シマシタ、サウシテ日本竝ニ「フランス」カラ

ソレノ説明シタ、「イギリス」ハ例ニヨツテ細カイ點ニ亘ツテ一々反對ヲ致シマシテ、主トシテ日本ト「イギリス」ト「フランス」ノ間デ質問應答ノ論戰ガ行ハレタ、只「アルゼンチン」ガ賛成シテ外ノ國ハ黙ツテ聽イテ居ツタノデアリマス、サウ致シマスソノ中ニ段々日本ノ案ガ優勢ニナツテ參リマスノデ、十五日ニ至リマシテ「イギリス」ハ再ビ修正案ヲ提出シタ、ソレハ一應割當ヲ決メテ、別ニ注文ガアレバ造ツテモ良イトイフコトニシタノデアリマスガ、今度ハ初メノ割當ヲ決メルノニ國際聯盟ノ手デ決メル、既往三ケ年ノ平均ヲ見テ決メルコトトシ二度目ニ出シタ修正案ト同ジニ「イギリス」ガ三割トカ、「ドイツ」ガ四割トカイフ國ニヨツテ數量ヲ現ハシタモノヲ條約ノ中ニ入レナイデ、「オートマチック」ニ決マルヤウナ修正案ヲ出シタ、コレハ非常ナ讓歩デアリマシテ、割當ノ精神ヲ壞シタノデアリマス、我々ノ内輪側トシテ大體コレダケナラ良イデハナイカトイフコトニナツテ、兎ニ角行ク所迄行カウトイフコトニナツタ、サウシテ「イギリス」ハ修正案ヲ出スト共ニ委員會ニ出マシテコノ修正案ヲ説明シテ日佛ヲ攻撃シテ大ニ維持ニ努メタノデアリマス。小委員會ニ於キマシテハ日本ト「フランス」ト「イギリス」ノ三ケ國ノ間デ妥協ノツクヤウニ話合ヒヲシテ見タイ、ソレデ妥協ガツケバ結構ダカラ、ソノ話合ヒノ上デモウ一遍委員會ニ掛ケヤウトイフコトニナツタ、ソコデ會合シタノデアリマスガ、會合シテ初メニ日本カラ割當案ト日本ノ案トイフモノハドウモ氷炭相容レナイカラコレヲ一緒ニスル譯ニ行カヌ、日本ノ案ニ對シテ色々ト「イギリス」ノ

委員カラ細カイ點ニツイテ非難ガアツタガ、サウイフコトヲヨク承ハツテ、サウシテ日本案ヲ完全ナモノニシテ出スコトニシタイ、斯ウ申込マシタ所ガ、「イギリス」デハサウイフコトデハ困ルトイフノデ反對シタ、次デ「イギリス」カラ二度目ノ會合ノ時ニ妥協案ト致シマシテ條約ヲ第一條ト第二條トニ分ケル、第一條ニ於テ日佛案ト同ジヤウナモノヲ作ツテ効力ヲ發生シテ行フ、第二條ニ於テ割當案ノ規定ハ重要製造國ノ間ニ相談ガ纏レバソノ時ニ第二條ガ適用サレル、サウシテ第一條ハ摘要ガナクナル、斯ウイフ妙ナ案デアリマスガ、サウイフコトニシテ貫ヒタイ、コレハ「イギリス」トシテハ最大限度ノ讓歩デアルトイフコトデアツタ。「フランス」ハ稍ソレニ傾イタヤウデアリマシタガ、「フランス」ト相談致シマシテ協調ヲスルトイフコトニ致シマシテ、結局三國ノ話合ヒガ纏ラヌトイフコトデ十九日ニ小委員會ニ臨ムダノデアリマス、サウシテ小委員會ニ於キマシテ各々私的會合ノ經過ヲ報告シタ、申シ落シマシタガ、「イギリス」トノ話合ヒガ纏ラヌトイフコトニナリマスト同時ニ、足固メヲスル必要ガアリマスノデ、「アメリカ」「ドイツ」「スペイン」コレダケノ國ヲ日本ノ代表ノ部屋ニ來テ貫ヒマシテ相談ヲシマシタ、ソレ迄「アメリカ」ハ日本案ニ同情ヲ持ツテ居ルヤウデアリマシタガ、ドウモ態度ガ判ラヌヤウニ見ヘタガ、ソノ席上ニ於テ「スペイン」カラ「アメリカ」ノ代表ニ駄目ヲ押シマシテ「アメリカ」ハ修正案ハアルケレドモ日本案ニ賛成スルトイフコトニ話合ヒガツキマシテ、委員會ニ臨ムダノデアリマス、委員會ニ於テ各々經過ヲ報告致シマシテ

「イギリス」ガ演説ヲシマシテ「イギリス」案ヲ維持シ、指名點呼ニヨツテ採決ヲシタツノ結果、日佛案ヲ是トスル者ガ十四票、否トスル者ガ二票、ソレハ「イギリス」ト「ロシヤ」デ棄權ガ六票、缺席四、結局大多數ヲ以テ日佛案ハ委員會ヲ通過致シマシタ、ソレト同時ニ各國ノ代表ガ立チマシテ何ガ故ニ日本案ニ賛成シタカ、或ハ忌避シタカトイフコトヲ説明シタ、「ドイツ」ハ「イギリス」ノ原案ヲ維持シテ居ツタノデアリマスケレドモ、コノ時ニ「ドイツ」ハ日佛案ニ票ヲ入レタ、ソノ理由トシマシテハ「ドイツ」ハ依然トシテ原案ヲ最良ノ案ト考ヘルガ、コノ會議ニ臨ムデ見ルト一般ニ多數ヲ得ラナイヤウデアアル、會議ヲ成立サセルタメニハ原案ヲ固守スルコトハドウカト思フ、ノミナラズ自分トシテハ良ク知ラナカツタガ、コノ議場或ハ以外ノ場所ニ於テ屢々非難サレル、ソレハ製造國ガ自分勝手ノ案ヲ作ツテ販賣市場ヲ獨占シヤウトシテ居ル、サウイフ誤解ガアツテハ面白クナイ、又「イギリス」ノ修正案ヲ見ルト割當ヲ認メナガラ他ノ一面ニ於テ注文サヘアレバ輸出ノタメニ製造ガ出來ルトイフコトハ新シイ國ヲ刺戟シテ、割當ノタメニ競争ヲ起サセルトイフカラ賛成ヲ仕難イ、彼是ノ理由ニヨツテ「ドイツ」ハ日佛案ニ賛成スルトイフコトニナリマシタノデアリマス、委員會トシテハソレデ濟ムダノデアリマスガ、翌六月二十日ニ本會議ニ於テ委員長カラソノコトヲ報告サレタノデアリマス、ソコデ議長ハ日佛案ヲ以テ會議ノ基礎トスルトイフコトヲ宣告シタノデアリマス、所ガ「イギリス」ノ代表ハソレハ成程普通ノ會議トシテハソレデ良イカ知ラヌガ、

コノ大問題ヲ決ヲ採ラズニ置クトイフコトハナイ、諮問委員會ノ案ト日佛案ト何レヲ採用スルカラ本會議ニ於テ決定シテ貰ヒタイ、自分ハ日佛案ニ對シテハ非常ニ澤山疑問ヲ持ツテ居ルカラ、ソレニ賛成スル人ハ一々説明シテ貰ヒタイ、自分ハ又ソレニ對シテ一々申述ベテ見タイ、斯ウイフ辭色ノ激シイ演説ヲシタ、ソコニ支那ガ立チマシテ日佛案ニ賛成演説ヲシタ、又「イギリス」ノ代表ガ立ツテ一時間以上モ熱辯ヲ揮ツタ、ソレデ諮問委員會ノ原案ハ過去二年間ニ於ケル苦心ノ結晶デアアル然ルニ日佛案ハコノ會議ガ始マツテカラ二日カ三日デ出來上ツタ案デアアル、而モ自分ハ日佛案ノ起草者ガ細目ニ付テ何等ノ決定ヲシテ居ラヌトイフコトハコノ案ヲ見テ驚カザルヲ得ナイ、ソレカラ日佛案ノ實質ヲ見ルト非常ニ抜穴ガアル、成程色々ナ抜穴ガアツテモ將來阿片ノ諮問委員會ニ於テ論議スル、或ハ關係國ニ質問ヲ發スル方法ガアルトイフコトハ言ヒ得ルケレドモ、自分ハ過去十年ノ間諮問委員會デ論議シ、各國ノ不正取引ニ質問モシタリ紹介モシタ自分ノ經驗ハ今云ハスケレドモ一體「アメリカ」ハ從來不正取引ノ情報ニツイテ満足スベキ情報ヲ受取ツテ居ラル、カドウカ「アメリカ」ノ代表カラ話シテ貰ヒタイトイフヤウニ日本ニ對シテモ大分當ツテ居ツタ、同時ニコノ案ハ「トルコ」「ユーゴースラヴ」ノ如キ新シイ製造國ニ對シテ何等ノ注意ヲ拂ツテ居ラヌ、コレ等ノ國ガコノ會議ニ於テ願ラレヌコトハ悲劇デアアル、斯ウイフ國ニ向ツテ充分ノ考慮ヲ拂フ必要ガアルトイフヤウナコトヲイツテ、最後ニ諮問委員會ノ原因ヲ反覆説明致シマシテ、日佛案ハ殆ド研究

シテキナイ所ノ未熟極マル案デアアル、斯ウイフ案ヲ採用シコレヲ實行スルト將來ドウイフヤウニナルカ殆ド豫想スルコトガ出來ス、斯ウイフ極メテ激烈ナ演説ヲシタ、併シナガラコレニ對シテ一應ノ辯駁ガアツタノデアリマスガ、直グ採決トイフコトニナリマシテ、日佛ノ案ノ方が多數デ「イギリス」ノ案ハ「ロシヤ」ト「オランダ」「イギリス」自身三國デアリマシテ「ロシヤ」ハ勿論割當案ニ賛成スルトイフ意味デ、日佛案ニ反對シタモノデナイトイフコトデアツタ、爰ニ於テ議長ハコレニヨツテ會議ガ兎ニ角討議基礎ガ出來タトイフコトハ非常ニ喜バシイトイフコトデアリマシタトイフ挨拶ガアリマシテ、ソレニヨツテ根本方針ガ決定サレタノデアリマス。即チ原案ガ潰レマシテ詰リ日佛案ヲ基礎ト致シマシテ細目ニ關スル起草ヲ始メヤウトイフコトニナツタ、コレ迄約一月掛リマシテ、始メテ細目ノ起草ニ掛ツタノデアリマスカラ、會議モ非常ニ永引イタコトニナツタノデアリマス。日佛案ガ採用サレマシタ當時ニ於キマシテハ「イギリス」側ノ委員ハ余程不愉快デアツタヤウデアリマシテ、細目起草ノ時ニ來テ貫ヒタイトイツテヤツテモ、日本ダケトハ話合ツテ見タイガ、「フランス」ヤ「スペイン」ナド、話ヲシテモ仕方ガナイトイフコトデ當分工合ガ惡カツタノデアリマスガ、ソノ後非常ニ熱心ニ「イギリス」モ協力致シマシテ色々日佛案ニ於キマシテモ細目ハ變更サレタ點モアリマスガ「イギリス」ノ非常ニ熱心ナ協力ニヨツテ具體的ノ條文ガ作ラレタ。「イギリス」トシテモ自分ノ案ガ潰レタニ拘ラズ一生懸命ニヤルトイフ同情ガアリマシタヤウデアリマ

ス、ソレデ「イギリス」ノ委員モ誰ニ對シテモ不愉快ノヤウナ顔ハナカツタガ、只「フランス」ノ委員ニ對シテハ終リマデモ良クナカツタノデアリマス、結局種々ナ迂余曲折ヲ經マシテ御手許ニ出テ居ルヤウナ案ガ出來マシタヤウナ譯デアリマス。大體會議ノ「ブリンシブル」ガサウイフ風ニ決マツタノデアリマスガ、ソノ外ニモ色々重要ナ問題ガ澤山アツテ、ソノ主ナモノハ制限スベキ藥品ヲドノ程度ニスルカ、「ヘロイン」ニ關シテ特別ノ規定ヲ置ク中央機關ノ問題、ソレカラ沒收シタ麻藥ヲ廢棄スルトイフ問題、ソレカラ原料ニ關スル制限價格ノ問題、ソレカラ精製「モルヒネ」ニ關スル問題ガ重要ナモノデアリマシタ、ソノ中ノ價格ノ問題ハ最重要ナ事柄デアリマシタガ、コレハ割當案ノ潰レマスト同時ニ、色々内輪デ話合ヲ致シマシテ、割當案ガナイ以上ハ價格ノ協定ハシナイコトニシヤウトイフコトニナリマシテソノ儘ニ進ンデシマツタノデアリマス、極ク簡單ニソレ等ノ問題ニツイテ申上ゲマス、中央機關ノ問題ニツキマシテハ割當案中、ナカ／＼新シイ規定デアリマシテ、中央ニ事務所ヲ置キマシテ各國取引ヲ統制シテ行カウト斯ウイフノデアリマスガ、協定案ガ破レテシマヘバソノ實際ノ價值ハ減殺サレルノデアリマシテ、最初ノ時ノヤウナ強イ意味デ反對スベキモノデナイト思ヒマスガ、日本トシテハ強抗ニ頑張ツタ、消費國ガ一般ニ中央機關ガ非常ニ必要デアルトイフ感ジガアル、殊ニ製造國側ニ於テハ「イギリス」ハ勿論「フランス」ハ極メテ必要トイフノデアリマシテ、「アメリカ」モソレニ熱心デアリマシテ殆ド日本ハ孤立シタヤウナ形ニナリ

マシテ非常ニ苦心シタノデアリマス、初メ日本案ハ良ク出来テ居ルケレドモ中央機關ヲ排斥シテ居ルコトハ面白クナイトイフコトガ一般ノ空氣デアツタ、「イタリー」ノ代表ハ中央機關ノ問題サヘ日本ガ讓ツテ呉レバ日本案ニ賛成スル、斯ウイツタ位デアリマスカヲ日本ハ制限方法ヲ通シタイト云フノデ「イタリー」ノ代表ト交渉ヲ重ネタ、三ヶ月毎ニ中央機關ニ報告シロトイフ妥協案ヲ作りマシテ「イタリー」ノ名前ニ修正案ガ出来テ居リマシタ、所ガ愈々委員會ニ出テ見マスト、「イギリス」ガ熱心ニ原案ヲ提唱シタノハ外國ニ對シテノ輸出スル場合ニ中央機關ニ輸出ノ許可ヲ受ケルトイフノデアリマスガ、ソレヲ熱心ニ「イギリス」ガ主張シタ所ガ味方ト思ツタ「フランス」ガソレニ賛成シテシマツタ、ソレカラ「イタリー」ハ修正案ヲ出シテ居ルケレドモ、元來ソレニ賛成デアルカラ修正案ヲ撤回シタ「スペイン」「アメリカ」ガ相次デソレニ賛成シタ、非常ニ形勢ガ悪クナリマシタノデ日本ハ極メテ強イ言葉ヲ以テ絶對賛成仕難イ旨ヲ述ベタ、「イタリー」ハ日本ノ言葉ガ非常ニ激シカツタト見ヘテ前ノコトハ急ギ止メルコトニナツタ、ソレデ話ガムヅカシクナツタノデ、小委員會デ相談シテ貫ヒタイトイフコトニナツテ、色々小委員デ議論ノ末「イギリス」「スペイン」「アメリカ」「ドイツ」ノ四ヶ國ガ原案、日本ト「オランダ」「スイス」他一ヶ國コノ四ヶ國ガ「イタリー」ノ修正案ニ賛成致シマシテ同數ニナツタ、所ガ「フランス」ハソノ形勢ヲ見マシテ、直グ自分ノ考ヘ違ヒヲ「イギリス」ノ方ニ述ベタケレドモ、コレハ間違ツテ居ツタカラ止メルトイフコトデ、委員會ハ頗ル

可否同數デハ困ル、コノ儘本當ノ委員會ニ持出ス外ハナカラウトイフコトデ本當ノ委員會ニ掛ケタ、ソノ後引續イテ委員會ヲ開イテ、ソノ席上ニ於テハ「イギリス」ダケニナツテシマツタ、日本側ハ日本ト「ドイツ」「フランス」「オランダ」トイフモノハ依然トシテ固カタノデアリマス、「イギリス」ノ方ニ賛成シテ居リマシタ「アメリカ」ハソノ場合棄權ヲ致シマシテ「フランス」ハ日本ノ方ニツキマシタ「スペイン」ハ採決ノ間廊下ニ出テ居ツテ加ハラナカツタ、「イタリー」モ棄權シテシマツタトイフコトデ、結局「イギリス」ダケニナツテ日本ノ主張ガ多數ニナツテ「イギリス」ノ方デハ四人位デ決議ヲスルトイフコトハ良クナイ、元來過半数ノ國ガ賛成シナケレバ成立シナイ筈ダトイフテ苦情ヲイツタノデアリマスガ、結局ソノ場デハ日本ガ勝ニナリマシタ。所ガソノ後ニナツテモコノ問題紛糾致シマシテ結局ハ三ヶ月毎ニ取纏メテ報告スルトイフコトニナツテ、條約國以外ノ國ニ於テ少シ嚴重ナ規定ヲ置クトイフコトニナツテ纏マリマシタヤウナ譯デアリマス。モウ一ツ藥品ノ範圍ヲドノ程度ニ制限スルカトイフ問題デアリマシテ、コレハ「スペイン」カラ修正案ヲ出シマシテ、苟クモ麻薬ト考ヘラル、モノハ制限ノ目的物、實際必要ノナイモノハ後カラ除外スル、斯ウイフ包括的ニスルトイフ「スペイン」ノ案ガ出マシテ、コレハ燐酸「コデイン」ヲ入レルカドウカトイフ問題デアリマシテ、「イギリス」「オランダ」ノ如キハ反對シ、「イタリー」「アメリカ」支那ノヤウナ國ハ熱心ニ「スペイン」案ヲ支持シマシテ激シイ論戰ガ行ハレマシタガ、専門委員會ニ於テ一

票ノ差デ「スベイン」ノ案ガ通過シタ、コレガタメニ會議ガ決裂スルカモ知レヌトイフヤウナ評判ガアリマシタガ、結局話ガツイテ「コデイン」ニ對シテハ幾ラカ外ノ藥ヨリハ寛大ニシヤウトイフコトニナツテ曲ナリニ解決シタノデアリマス。次ニ「ヘロイン」デアリマスガ、コレハ「オーストリア」カラ全然製造ハ禁止シヤウトイフコトデアリ「オランダ」カラハ外國ニ輸出スルコトハ禁止スルトイフ提案ガアツタ、「イギリス」「フランス」ナドハ頻リニ反對シテ専門家ニ於テ醫療上必要デアルカラ外ノ所ノ意見ヲ徵スルトイフコト迄ニナツタ、コレハ消費國側カラ熱心ニ主張シテ居リマシタノデ、餘リコレラ「イギリス」「ドイツ」ガ一緒ニナツテ反對スルノハ外ノ國ニ響クカラ發言ヲ差控ヘテ、採決ノ時ダケ「イギリス」「ドイツ」ト一緒ニナルトイフ態度デアリマス、結局ハ全然製造ヲ禁止スルコトハ否決セラレマシテ、一定ノ條件ヲ付シテ輸出ヲ許ストイフコトニナツタ、コレニツキマシテハソノ後御訓令ガアリマシタノデ、第二續會ニ於テ一應日本ハ修正案ヲ出シテ修正ヲ説明シタノデアリマスガ、各國ノ賛成ヲ得ルコトガ出來マセヌデ、日本ノ修正案ハソノ儘潰レタノデアリマス、ソレカラ精製「モルヒネ」ノ問題デアリマスガ、コレハ制限藥品ニ入ツテキナカツタ臺灣ノ「モルヒネ」ダケハ全然外ニ置カナケレバナラヌトイフコトデアリ修正案ヲ出シタ、コレニ對スル各國ノ傾向ハ「ドイツ」ナドハ修正ニ反對ハナイケレドモ、日本ダケノタメニ一條ヲ設ケルコトハ困ル、「アメリカ」ト色々話ヲシマシテ會議ニ出タラバ賛成シヤウ、ソノ他ノ國ハ態度ガ判リマセ

ズ、「ユーゴースラヴ」ナドカラ修正案ガ出テソノ儘押シ通シテ潰レテハ困ルトイフノデ、コレハ附屬規定ニ入レルトイフコトニシテ修正案トシテハ撤シタノデアリマス。最後ニ問題ヲ起シマシタノハ沒收サレタ麻藥ハ總テ廢棄スベシ、斯ウイフ修正案ガ「ユーゴースラヴ」ノ代表カラ提出サレタノデアリマス、「ユーゴースラヴ」ハ沒收麻藥ノミナラズ條約署名當時ニ存在シテ居ル「ストック」ノ麻藥モ皆廢棄シテシマフ、斯ウイフヤウナ修正案ヲ出シタ、コレハ私共修正案ヲ貫ツテ來マシタ時ハ斯ウイフ馬鹿氣タモノガ通ルトイフコトハ考ヘテ居リマセヌデシタ、殊ニ「ユーゴースラヴ」カラ提出サレタノデアリマスカラ餘リ重キヲ置イテ考ヘテキナカツタ、然ニコレハ麻藥ヲ燒イテシマフトイフ響キガ一般ニ受ケルトイフ關係デアリマスカラ、コレヲ支持スル國ガ中々多イノデアリマシテ、殊ニ外部ノ阿片ニツイテハ社會運動トイフヤウナモノガソレヲ支持シマシテ、盛ニ「パンフレット」ヲ配ツタリ何かシテ、コノ「ユーゴースラヴ」ノ修正案ガ優勢ナモノニナツタ、ソレハ「トルコ」モ一緒ニヤツテ居ツタノデアリマス、議事ニナリマシテカラ日本ハ一應ノ反對演說ヲ致シマシタ、「イギリス」「フランス」等モ反對演說ヲシタ、所ガ「トルコ」「イタリー」トイフ國ガソレニ賛成シマシテ、採決ノ結果「ユーゴースラヴ」ノ修正案ガ通過シタノデアリマス、通過シテ見ルト非常ニ困ルトイフ譯デアリマシテ、一體外ノ國ハドウスル積リダラウカト思ツテ、「フランス」ノ代表ニ意見ヲ聽イテ見マシタ所ガ、「フランス」トシテハ斯ウイフ案ニ署名ハ出來ナイカラ第二續會デ

修正案ヲ出ストイフヤウナコトヲ言ツテ居ツタノデアリマスガ、「フランス」ノ代表ノイフコトハ判
 リマセヌノデ、又「イギリス」ノ代表ニ相談シテ見タノデアリマスガ、「イギリス」ハ困ルト思フケ
 レドモコレヲ二續會デ引繰返ヘシテハ、「ユーゴースラヴ」ヤ「トルコ」ハ條約ニ加入シナイ、サウ
 シテ有力ナ原料國ガ盛ニ麻藥ヲ造ルコトニナツテハ大變デアルカラ、進ンデ引繰返ヘス譯ニモ行カ
 ストイフノデ甚ダ煮エ切ラヌヤウナコトデアツタ、議長ニ話ヲシタ所ガ議長ハサウイフコトヲ言フ
 テ會議ヲ進メラレテモ困ル、自分カラ「セルビヤ」ニ話ヲシテ見ルカラトイフノデ色々議長カラ話
 ヲシテ見タノデアリマス、所ガ「トルコ」ト「ユーゴースラヴ」ハ頑トシテ應ジナイ、ソノ中ニコ
 チラカラ御訓令ガアリマシテ強硬ニ反對シナケレバナラヌコトニナリマシタノデ、ソノコトヲ「イ
 ギリス」ニモ話ヲシ議長ニモ話ヲシタ、「イギリス」ハ依然トシテ議長カラ良ク話ヲサセヤウトイフ
 ヤウナ同ジコトヲイッテ居ツタ、議長モコレハ最後ニシ費ヒタイツテ餘リ進マナカツタ、「ユー
 ゴースラヴ」ト「トルコ」ハ原案者デ面目ガアルカラ賛成スル筈ハナイ、ソレヨリモ尻馬ニツイ
 テ賛成シタ者ヲ説クガ良イトイフノデ、「アメリカ」ニ對シテ諒解ヲ求メタガ「アメリカ」モアナタ
 ノ言フコトハ一理アルガ「アメリカ」ハ「ユーゴースラヴ」ニ賛成デアルトイフヤウナコトデアツ
 タ、ソレデ「スペイン」ニ話ヲシタ、「スペイン」ハ言葉ノ關係デアリマスカ、南米ノ國ハ「スベ
 ン」ノ「リード」ノ下ニ動クヤウナコトデ、ソノ會議ニ於テハ有力デアツタ「スペイン」ニ話ヲ

シタ所ガ御尤モデアアルガ、一讀會ニ於テ自分ガ賛成シタモノヲソレニ又反對スル譯ニハ行カヌ、又
 サウイフ關係モアルカラ南米ナドニ對シテ日本ニ賛成シロトイフコトヲ自分カライフコトハ出來ヌ
 只日本ノ修正案ニ對シテ決ヲ採ルヤウナコトガアレバ自分ハ廊下ニ出テ採決ニ加ハラヌコトニシヤ
 ウトイフ位ノ程度デアツタ、併シ折角コチラカラ強イ訓令ガアリマシタノデ兎ニ角ソレニ基イテ修
 正案ヲ提出致シマシタ所ガ、「イギリス」カラモ修正案ヲ出ストイフコトデ殆ド日本ノ意見ト同ジ意
 味ノ案ガ内示サレタ、ソレナラバ日本ノ意見ヲ主張シテ、ソレガ破レタナラバ「イギリス」ノ案ヲ
 支持スルヤウナ案ヲ出シテ「イギリス」ト合流シヤウトイフコトニナツテ愈々會議ニナリマシテカ
 ラ「イギリス」ハ又別ナ案ヲ持ツテ來テコノ案ニシヤウトイフコトデアリマシタ、ソノ修正案ヲ採
 用シテ沒收シタ麻藥ハ原則トシテ燒棄テル、併シナガラ「トルコ」ト「ユーゴースラヴ」ガ條約ニ
 加入シタラバ燒棄テル、加入シナケレバ燒棄テナイ、「トルコ」ト「ユーゴースラヴ」ガ加入セバ燒
 棄テル、斯ウイフ非常ニ妙ナ修正案デアリマシタノデ、餘リ變ナ修正案デアルカラ日本デハ賛成ガ
 出來ナイトイフノデ會議ニ臨ムダ、第二讀會デアリマシタガ日本ノ修正案ノ説明演說トシテ「セル
 ビヤ」ノ提出シタ第一讀會ノ決議ヲ扶殺スベキコトヲ主張シタ、ソレハ沒收シタ麻藥ヲ燒棄テシマ
 フトイフコトハ無意味ナコトデアアル、沒收シタ麻藥ハ惡イ目的ニ使ハレヤウトシタカ知ラヌガ、一
 度沒收シタ以上ハ政府ノ完全ナ統制ノ下ニアルカラコレヲ不正取引ニ向ケルコトハ考ヘラレナイノ

デアル、ノミナラズ燒クトイツテ若シ燒カナイデ置ケバ不正取引ハ免レナイ、ソノ方ガ遙ニ危険デアル、ソレカラ沒收シタ麻藥ヲ燒棄テルトイフト消費國ニ二重負擔ヲサセル、消費國デハ一旦代價ヲ支拂ツテ輸入セムト企テタ、然ルニソレヲ沒收サレテ燒棄テラル、コトニナルト、更ニソレダケノ藥ヲ外カラ持ツテ來ナケレバナラス、或ハソレダケノモノヲ沒收シテ正當ノ醫療上ノ用途ニ當テルコトニナレバソレダケ輸入量ガ減ル、ソレヲ燒失スレバ又輸入スレバ二重ニ賣付ケルコトニナル、又製造制限ノ趣旨ニモ反スル、燒棄テルト又別ノ麻藥ヲ造ラナケレバナラス、次ニ麻藥ヲ廢棄スルトイフコトハソレダケノ製造ヲ増ス意味カライツテ原料ノ過剩ノ生産ヲ維持スルコトニナル、原料國ハ普通得ラル、藥品ヲ燒棄テラレタ數量ノ合計シタモノガ製造サレナケレバナラヌカラ原料ノ過剩生産ニナル、ソレカラ麻藥ノ密造ヲ誘致シ、一面ニ於テハ阿片ソノモノ、濫用ノアルコトハ見易イコトデアツテ努メテ避クベキコトデアル、斯ウイフ理由デ演說シタ所ガ「アイルランド」ガ先ヅ立ツテ日本ノ演說ニ賛成シタ、次ニ印度ガ賛成シ、「ドイツ」ガ賛成シテ一時優勢ニナツタ、ソレニ次デ「イギリス」側デモ修正案ヲ説明シタガ、コレニ對シテ賛否ノ意見ガアリマシタガ「ドイツ」「イタリー」カラ強イ反對ガアツテ、ソレデ「イギリス」ガ撤回シタ、サウスルト又「アルゼンチン」ガ修正案ヲ出シタ、コレハ「セルビヤ」ト日本トハ全然違フヤウデアアルカラ自分ハ妥協ノタメニ出シタトイフコトデアツタガ、コレハ形ハ妥協デアリマスガ實質的ニハ日本ノ案ニ近イデアリマス、

採決シタ結果日本ノ案ハ二十六對十三デ負ケタガ、「アルゼンチン」ノ案ハ壓倒的ノ多數デ可決サレタ、コレニヨツテ一旦決ツタ沒收麻藥ノ廢棄トイフコトハ第二讀會ニ於テ完全ニ覆サレタ、ソノ決議ガ通りマス同時ニ「トルコ」「ユーゴスラブ」ノ代表ハ退席シテ、翌日「ユーゴスラブ」ノ代表ハ演說ヲシテ會議ヲ見捨テ、國ニ歸ツテシマタ、「トルコ」モソノ儘歸ツテシマツタトイフ譯デ甚ダ氣ノ毒ナヤウナ譯デアリマスガ、ソノヤウニ問題ガ解決シタノデアリマス、大體以上ノヤウナコトガ主ナ問題デアリマシテ最後ニハ隨分日曜ニモ會議ヲスルトイフヤウニ急ギマシタノデアリマシガ、十三日ノ午後三時ニ第三讀會ヲヤツテ形式ノ議決ヲシマシテ直ニ署名調印ヲ了シマシタ、署名ニハ各國ガドウイフ態度ヲ執ルカト心配シマシタガ、ハツキリ判リマセヌデシタガ愈々出來上リマスト殆ド主ナ國ハ全部署名致シマシテ、即日調印シタモノガ二十八ヶ國デアル、日本ハ日本ノ案ガ通ツタトイフ關係カラ致シマシテモ即日調印ガ出來ナイトイフコトデハ甚ダ不體裁デアラウトイフノデ、回訓ノ來ルノヲ待ツテ居リマシタガ、都合好ク十三日ノ會議ノ始マル一時間前ニ訓令ヲ頂キマシテ大變都合ガ好カツタノデアリマス。大體經過ハ以上申上ゲマシタ通りデアリマシテ、甚ダ纏リガ付キマセヌデシタガ、尙御注意ニヨリマシテ申上ゲタイト思ヒマス、日本ノ主張ハ私共行キマシタ當時ニ豫想シテ居リマシタ程度ヲ超ヘテ積極的ニソノ主張ガ貫徹シ得タノデアリマスガ、私共コチラニ居ツタ時ト様子ガ變リマシタノハ、行ツテ見マスト一般消費國側ガ製造國側ニ對シテ何ト

ナシニ不安ヲ抱キ、自分勝手ナ案ヲ作ツテ我々ニ押付ル、サウシテ製造國側デ準備會議ヲシテ案ヲ作ル、斯ウイフヤウナ氣分ガアツテ、會議ハ製造國對消費國トイフ關係ニ分レテ居ツタヤウデアリマスガ、只消費國側トシテハ成案ガナイ、ソレカラ英獨佛ガ結束シテ居ルモノヲ正面カラブツカルコトハ困ルトイフヤウナコトデアツタノデアリマス、幸ニ日本ガ勇敢ニ吶喊シテ行キマシタノデ、外ノ連中モ附隨シタコトデアリマス

安達會長 ソレデハ先ニ止メテ置キマシタ盤谷阿片會議ニ對スル方針ノ件ヲ議題ニ致シマス

赤木委員 私ハコノ答申案ノ第二項ヲ少シ修正致シタイト思ヒマスノデ、修正案ヲ提出致シマス、ソレハコレ迄麻藥製造制限會議ノ際ニモ日本ハ麻藥ノ製造ヲ制限シヤウトイフニハ原料ノ制限ヲスルニ非ラザレバソノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイトイフ主張ヲシテ來テ居リマスノデ、爰ニ罌粟栽培ノ制限及管理ヲセヨトイフ規定ハコレ迄日本ノ主張シテ居ツタ所ト合致スルノデアリマスカラ、コレニハ賛成シタ方ガ良イト思ヒマス、只今度改メマス小部分ダケノ國デコレガ實行力ノアルコトハ不可能デアリマシテ、コレハ生産國全部ノ參加シタ國、消費國ノ參加シタ國際會議ニ於テ研究ヲ必要トスル主義ニハ賛成デアルガ、ソノ文句ヲ變ヘタイト思ヒマス、ソレハ「不正取引及濫用ノ根源ヲ國際的ニ統制セムトスルモノニシテ其ノ根本趣旨ニ賛成ナリ」ト致シマス、ソレカラ次ニ「罌粟栽培ノ制限ハ吸飲用阿片以外麻藥料ノ需給ニ關係ヲ有シ」トアリマスノヲ「關係ヲ有スルヲ以テ

之ガ實行限度及方法ニ付テハ廣ク阿片生産國及消費國ノ參加スル國際會議ニ於テ研究スルヲ必要トス」斯ウイフコトニ改メマシテ、「スベテ本會議」以下ヲ削リタイト思ヒマス

堀切委員 只今ノ修正說ハ至極結構ダト思ヒマス、修正案ニ賛成ヲ致シマス

安達會長 修正案ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

安達會長 御異議ナイト認メマス、ソレデハ案ノ全體ニ付テ御意見ガアルナラバ御述ベヲ願ヒマス、別段御異議ガナイヤウデアリマスカラ原案ノ通り可決ヲ致シマス

安達會長 麻藥不正取引ニ關スル報告

白松幹事 本年ニ入りマシテコノ麻藥ノ不正取引ニ關スル外務省、司法省、拓務省、遞信省各地方廳ヲ纏メマシテ御手許ニ御配リ致シテ置キマシタ、時間ガアリマセヌカラ説明ハ省略致シテ置キマスト何卒後デ御覽ヲ願ヒタウゴザイマス

安達會長 ソレデハ今日ハコレデ閉會ヲ致シマス

午後四時三十分閉會

〔議案〕

盤谷阿片會議ニ對スル方針案

- 一、本會議ニ於テハ極東阿片吸飲事情調査委員ノ報告書ニ於ケル提議ヲ基礎トシテ審議スルモノト豫想セララルトコロ、右提議ノ審議ニ當リテハ左記方針ニ遵ヒ措置スベク、其ノ結果海牙國際阿片條約及壽府第一阿片協定ノ規定ヲ改訂スルコト適當且必要ナリト認メララルニ至リタルトキハ右方針ノ趣旨ニ反セサル限り之ニ同意スベシ
- 二、罌粟栽培ノ制限及管理ニ關スル提議ハ阿片ノ不正取引及濫用ノ根源ヲ國際的ニ統制セントスルモノニシテ其ノ根本越旨ニハ賛成ナリト雖、罌粟栽培ノ制限ハ吸飲用阿片以外麻藥原料ノ需給ニ關係ヲ有シ之ガ實行ノ限度及方法等ニ付テハ廣ク阿片生産國及消費國ノ參加スル國際會議ニ於テ研究スルヲ必要トスベク本會議ニ於テハ右提議ノ内容ニ亘リ具體的審議ヲ爲スハ適當ナラズト認ム
- 三、阿片小賣官營ノ提議ハ本邦ニ於ケル現行小賣制度ハ弊害ナク運用セラレ居ルヲ以テ現狀變更ノ必要ヲ認メサルニ依リ本提議ニ基キ條約改正セラルル場合ニ於テハ本邦ニ關スル限り之ガ實行上ノ緩和規定又ハ除外例ヲ設クベキコトヲ主張スベシ
- 四、阿片煙館ノ制限撤廢及官營ノ提議ニ關シテハ阿片煙館ノ利弊遽ニ決定シ難キノミナラズ煙館開設及官營ノ適否ハ各地域ノ實情ニ依リ判斷セラルベキモノニシテ本邦トシテハ本提議ノ實行ヲ不便困

難トスル事情アルヲ以テ本提議採擇セラルル場合ニ於テハ本邦ニ關スル限り之ガ實行上ノ緩和規定
又ハ除外例ヲ設クベキコトヲ主張スベシ

五、阿片收入ヲ阿片關係支出ニ充當スベシトスル提議ニ關シテハ其ノ根本趣旨ハ必ズシモ異議ナシト
雖其ノ實行ハ各地域ノ財政ニ至大ノ關係ヲ有シ本邦トシテモ其ノ實行容易ナラザルモノアルベキヲ
以テ本提議ガ希望的勸告トシテ採擇セラルルコトハ異議ナキモ條約ノ形式ニ依リ規定セラルルコト
ハ適當ナラズト認ム、又豫算面上阿片收支ノ對照ヲ容易明瞭ナラシムル爲特別ノ一項ヲ設クルコト
又ハ經常豫算ヲ阿片收入ヨリ獨立セシムル形式ヲ採用スルコトハ實益ニ乏シキノミナラズ豫算制度
ノ形式及實質上實行困難ナルヲ以テ右ノ提議ニハ反對スベシ

六、國際聯盟極東阿片中央局ノ設置ノ提議ニ關シテハ阿片取締ハ各關係國ノ誠意アル相互的直接協力
ニ依リ充分實效ヲ收メ得ベク之ガ爲機關特設ノ要ヲ認メサルヲ以テ右提議ニハ反對スベシ

七、右ノ外重要ナル事項ニ關シテハ都度請訓スベシ

委員 北島謙次郎

同 平塚廣義

佐藤(庄)、井上、白松、龜山、安香、飯田、佐藤(龍)、

小野、棟居各幹事

奥村、伊藤、保見、諸富各書記

議事速記録

會長代理(潮委員) 大變御待タセ致シマシタ、是ヨリ開會致シマス。

〔伊藤書記議案朗讀〕

會長代理(潮委員) 拓務省カラ御説明ヲ願ヒマス。

北島委員 理由ヲ一應朗讀致シマス

「朝鮮總督府專賣モルヒネ鹽類製造原料タル生阿片ノ昭和六年度ニ於ケル同總督府收納高ハ例年ニ比シ罌粟ノ作柄極メテ良好ナリシニ因リ豫想外ノ増加ヲ來シタル結果生阿片ノ一部ヲ以テ關東廳保管モルヒネ全部ト相互保管轉換(昭和六年五月閣議決定ニ基ク)ヲ爲シタルモ尙現在五千疋餘ノ手持アル處同總督府ニ於テハ昭和六年五月閣議決定ニ基キモルヒネ鹽類ノ製造原料トシテ臺灣總督府專賣阿片煙膏ノ副産品タル粗製モルヒネヲ購入試用シタル結果生阿片ヲ使用スルニ比シ得量多ク且操作容易ニシテ生産費遙カニ低廉ナルコトヲ確認シタルヲ以テ右購入ニ代ヘ便宜生阿片及粗製モルヒネノ相互保管轉換ヲ爲シ度キ希望ヲ有ス而シテ臺灣總督府ニ於テハ現在多量ノ粗製モルヒネヲ擁シ之ガ處分ニ苦心セル折柄右生阿片ニ就キ試驗ノ結果現在使用中ノ外國産生阿片ニ一部混用ノ上之ヲ阿片煙膏原料トシテ使用シ得ルコトヲ確認シタルヲ以テ右朝鮮側ノ希望スル相互保管轉換ヲ承諾セ

リ仍テ今後兩總督府間ニ於テ生阿片及粗製モルヒネ中ニ含有セララルモルヒネ純分量ヲ標準トシ毎年打合ノ上決定セラルベキ數量ニ依リ生阿片及粗製モルヒネノ相互保管轉換ヲ爲スコトトシ差當リ本年度ハ生阿片一、八一六庇ニ對スル粗製モルヒネ二九三庇ヲ以テ交換スルコトニ協定成立シタルモ右ハ昭和二年六月十四日及昭和六年五月八日閣議決定ニ對スル追加事項トシテ同様閣議決定ヲ經タル上實行セシムルコトヲ適當ト認ム

右昭和六年三月二十七日内甲第一〇三號閣議決定ニ基ク阿片委員會附議事項第一ニ依リ之ヲ諮問スル次第ナリ」(理由書附表參考欄參照)

唯今朗讀致シマシタ理由ニ依ツテ略々御諒解カト存ジマスルガ、尙ホ一言蛇足ヲ加ヘテ説明致シマス。朝鮮デハ罌粟ノ生産量ガ最近昭和六七年度ニ於キマシテハ五千六百庇前後ニ達シテ居リマス、而シテ其ノ需要量ハ大體ニ於キマシテ千五百庇内外デゴザイマス、ソレハ附表一ノ「朝鮮產生阿片ニ關スル調」ヲ御覽願ヒマスレバ分リマスガ、昭和四年度ハ千五百庇内外トナツテ居リマス、昭和六年度ニ於キマシテモ非常ニ減ツテ居リマス、之ハ關東廳ノ「モルヒネ」ト朝鮮ノ「コカイン」トヲ交換シタガタメニ斯ノ如ク減少シテ居リマスノデ、事實ニ於テハ大體ノ需要量其ノモノハ千五百庇内外ト見テ宜カラウト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレデ最近ノ情勢カラ見マスルト優ニ四千庇内外ノ供給過剩ト云フコトニ相成ツテ居リマス、所ガ朝鮮總督府ニ於キマシテハ臺灣ノ粗製モルヒ

ネヲ試驗的ニ取寄セマシテ「モルヒネ」ヲ製造致シマシタルトコロ生阿片デ「モルヒネ」ヲ製造スルヨリハ臺灣ノ粗製モルヒネ」ヲ以テ「モルヒネ」ヲ製造スルコトガ遙カニ操作ガ容易デアリ且ツ生産費ガ低廉デアルコトガ判明致シタノデアリマス、ソコデ朝鮮總督府ト致シマシテハ寧ロ朝鮮内ノ生阿片ヲ使ハナイデ臺灣ノ粗製モルヒネ」ヲ「モルヒネ」ノ原料トシテ使ヒタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマス、一方臺灣總督府ト致シマシテハ其ノ次ノ表ニ載ツテ居リマス通り約一萬庇内外ノ手持ノ粗製モルヒネ」ヲ有シ從來數年來之ガ處分ニ困ツテ居ルト云フコトハ皆様御承知ノ通りデアリマス、臺灣ト致シマシテハ「モルヒネ」ハ必要デナクシテ生阿片其ノモノガ必要デアリマス、ソレデ偶々臺灣手持ノ粗製モルヒネ」ノ處分ノ一方法ト致シマシテ、朝鮮ノ方デ幸ヒニ粗製モルヒネ」ヲ希望致シテ居リマスカラ、朝鮮ノ生阿片ヲ一方臺灣ノ方ニ讓リ受ケ、臺灣ノ粗製モルヒネ」ヲ朝鮮ノ方ニ讓リ渡シテ相互ニ保管轉換ヲシタイト云フ希望ガ相互ノ間ニ一致イタシタノデアリマス、ソレデ此ノ際阿片委員會ニ諮問致シマシテ皆様ノ御贊同ヲ仰グ次第デアリマスガ、之ハ朝鮮、臺灣相互ニドチカラ申シマシテモ非常ニ便利デアリマスルシ、又出來得ル限り外國產ノ例ヘバ「トルコ」「ペルシャ」方面カラ生阿片ヲ輸入シテ居リマス其ノ數量ヲ消シ得ルト云フ利益モアリマスルシ、又既ニ内地ト臺灣トノ間又朝鮮及ビ關東廳ノ間ニモ同様ノ協定ガ出來テ居リマス次第デアリマスル關係上其ノ例ニ倣ツテ今回朝鮮ト臺灣トノ間ニ斯ノ如キ保管轉換ノ方法ヲ取りタイト云フ趣旨

デアリマス、此ノ意味ニ於テ諮問ニナツタ次第デアリマス。

會長代理(潮委員) 御質問ガアリマスレバ御發言願ヒマス。

黒田委員 私ハ素人デヨク分リマセヌガ朝鮮ノ生阿片ノ栽培面積ハダン／＼殖エテ來テ居リマスカ、ソレ等ハ制限ト云フモノガアリマスカ、或ハ獎勵サレテ居リマスカ、ドウナツテ居リマスカ。

北島委員 朝鮮デハ御承知ノ通り昭和五年以來阿片ノ專賣ヲヤツテ居リマス、隨ツテ耕作反別ハ勿論總督府ノ許可ガ要リマスルシ、又拵ヘマシタ阿片ハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ收納スルト云フコトニナツテ居リマス、ソレデ大體ノ趣意ト致シマシテハ出來得ル限り朝鮮内ニ於ケル「モルヒネ」需要ナリ、生阿片ノ需要ノ範圍ハ少クトモ自給自足ヲシタイト云フ方針デ進ンデ居ツタノデアリマスガ御承知ノ通り朝鮮デハ罌粟ノ栽培ニ適シタ面積ハ相當アリマスルシ、又サウ云フトコロハ罌粟以外ノ栽培ニ適當シマセヌノデ自然罌粟栽培者ガ多クナツタ關係上斯ノ如ク非常ニ殖エテ居リマス、特ニ積極的ニ獎勵ト云フヤウナコトハヤツテ居ナイノデアリマス。

黒田委員 ソレデ需要ノ割合ハドウ云フ風ニナルノデアリマスカ、今ソレダケノ面積ニ於テ不足ニナルノデスカ、是カラマダ殖エルノデスカ。

北島委員 餘リ殖エナイノデアリマス。

黒田委員 今許可シテ栽培サセルノデスカ。

大島委員 拓務省ニ一寸御伺ヒ致シマス、數年來問題ニナツテ居リマス、内地産阿片ト、臺灣産粗製

モルヒネト相互ニ保管轉換ノ點ニ付テ何か御考ヘガ之ニ關聯シテアリマセヌカ。

北島委員 今ノ所別ニアリマセヌ。

大島委員 將來内地産ト保管轉換ヲヤツテ戴クヤウニ御願ヒシテアルノデス。

北島委員 内地ノ生阿片ト。

大島委員 サウデス。

北島委員 ソレハ寧ろ臺灣カラ。

棟居幹事 唯今衛生局長カラ御話デアリマスガ、大分前カラノ問題ト心得テ居リマスガ内務省カラモ内地生阿片ハ大分生産ガ多クテ「ストック」ガ大變ニアリ處分ニ惱ンデ居ルガ何か日本全體トシテ利用ノ方法ハナイダラウカト云フ御趣旨デアリマシテ、之ハ取敢ヘズ臺灣ニ之ヲ具體的ニ考慮シテ呉レト云ツテヤリ其ノ回答ヲ待ツテ居リマス。爾來臺灣及ビ關東廳ハ阿片ヲ煙膏ニ用キテ居ルノデ臺灣總督府、關東廳ニ對シマシテ御趣旨ノアルトコロヲ傳ヘマシテ返事ヲ促シマシタガ内地生阿片ハ御承知ノ通り大體「モルヒネ」ヲ作ルタメ生産サレテ居ルノデアリマシテ、之ニ對シマシテ關東廳ハ中毒者ニ阿片ヲ吸ハス趣旨カラシテ生阿片ヲ利用シテ居リマスノデ内地産ノ様ニ「モルヒネ」ヲ作ルタメニ栽培スルノデナクシテダン／＼「モルヒネ」分ノ少ナイモノヲ需要シテ居リマス、ソレデ品

質カラ申シマシテ臺灣、關東州デ需要シテ居リマスモノトビツタリト合ヒマセヌタメ向フデハ餘リ希望致シマセヌ、サウ云フコトヲ返答シテ參ツテ居リマス、ソレ以來引續キ研究サセ内務省モ御承知ノ如ク再三會合ヲシマシテ、今向フデモ研究ヲ進メテ居リマス、唯値段ノ點ト品質ノ點ニ多少ノ相違ガアリマスタメニ尙ホ其ノ儘ニシテ内地トノ契約ハ臺灣、關東廳ト提携スルト云フ所マデ進展シテ居ラヌノデ折角研究シテ居リマス譯、併シ之ハ早晚取纏メルコトガ出來ハシナイカト思ツテ居リマス。

會長代理(潮委員) ソレデハ此ノ案ハ之デ宜シウゴザイマスカ、——ソレデハ可決サレマシタ。

會長代理(潮委員) 次ニハ外務省カラ御報告ヲ願ヒマス。

松田委員 丁度今日此ノ會合ヲ利用致シマシテ麻藥製造制限ト云フコトニ付テ、之ガ基準ニ付テ一寸御參考マデニ申上ゲタイト思ヒマス、御承知ノ如ク此ノ麻藥製造制限條約正確ニ申シマスト「麻藥製造制限及分配取締ニ關スル條約」御手許ニ印刷物ヲ差上ゲテゴザイマシテ、ソレニ加フルニ説明書ヲ御配布申シテアリマス、之ニハ極秘ト云フ判ヲ押シテアリマスガ、之ハ極秘ト云フ程デアアリマセヌガ實ハ此ノ翻譯ハ唯今法制局ガ一應處理致シマシテ出來マシタモノヲ印刷致シマシタモノデ之ヲ更ニ原本ト照合セマシテ、サウシテ確定致シマスルノデ、マダ概譯デアリマスノデ世ノ中ニ出ル

ノハ餘リ面白クナイノデ「極秘」ト云フノデ「極秘」ノ字ハ餘リ重クナイモノト御承知願ヒマス、此ノ麻藥製造制限委員會ト云フモノハ可ナリ各國デ重大視シテ居リマシテ、ドノ位ニ輕ルカト云フコトハ同時ニ餘程懸念サレテ居リマス、此ノ阿片委員會ノ前々回ニ訓令案ヲ諮問ニナリマシタ、サウシテ御協議ノ上デ現在ノ訓令案ノ答申ガ出テ居ルノデアリマス、其ノ會議ハ昨年春開カレマシタ、唯今國際聯盟ノ事務局長ヲ致シテ居リマス澤田節藏君ト内務省ノ大達茂雄君ノ御兩君ガ非常ナ御盡瘁デ日本ガ殆ド其ノ會ヲ「リード」シタヤウナ形デアリマス、サウシテ日本ノ主張ハ大部分通リマシテ、其ノ結果ガ今日御配布申シマシタモノニナツタノデアリマス。御承知ノ如ク此ノ麻藥製造制限條約ニ關シマシテハ現在「ヘーグ」ノ阿片條約並ニ「ゼネバ」ニ於テ指名サレマシタ所謂第一阿片條約斯ウ云フモノデ取締テ居リマスガ、此ノ取締ト云フモノヲ益々完成サセルタメニハ矢張り此ノ製造制限分配條約デナケレバナラヌト云フコトデ此ノ條約ガ締結サレタノデアリマス、詰リ世界ニ於テ製造セラレマスル麻藥ノ數量ヲ國際的ニ正當ナ需要量ニ限ルト云フノガ此ノ提案デアリマス、其處デ唯今申上ゲマシタ此ノ保護條令デアリマスガ制限條約ヲ署名シタ國ハ四十四ヶ國アリマス、既ニ批准シタ國又ハ批准書ヲ寄託シマシタ國ハ米國、ポルトガル、スエーデン、ベルシヤ、ベルー、スーダン、ニカラガ及ビ「カナダ」ノ八ヶ國デアリマスガ、先般ノ國際聯盟總會ニ於キマシテ、イギリス、スペイン、イタリー、フランス、ベルギー、ハンガリー、ギリシヤ、ポーランド、オーストリア、

スイス、支那諸國ハ目下批准寄託ノ手續中デアリ、又日本、ドイツ、チリ、オランダ、チエツコ、印度此ノ諸國ハ批准寄託ノタメニ努力中デアルト云フコトヲ聲明致シテ居リマス、斯様ナ次第デアリマシテ、此ノ制限條約ガ實施セラレマスルノハ二十五ヶ國ノ批准又ハ批准ノ寄託ヲ必要トスルノデアリマス、ソレデ此ノ條約ノ議定書ハ此ノ二十五ヶ國ノ寄託書ガ來年七月十三日マデニ出揃フコトヲ必要ト致シテ居リマスカラ唯今ノ狀況ニ依リマスルト大體此ノ二十五ヶ國ハ豫定ノ期日即チ來年ノ七月十三日カラ効力ガ發生スルト云フコトニナルダラウト思ヒマス、隨ヒマシテ我國ニ於キマシテモ成ベク間ニ合フヤウニ今手續ヲ急イデ居リマシテ、御手許ニ配布致シマシタル此條約ノ翻譯即チ條約及ビ署名議定書ノ翻譯ヲ年内ニ確定致シマシテ、サウシテ樞密院ニ御諮詢ニナルト云フ所マデ進メタイト思ヒマス、此ノ手續ガ濟ミマシテ之ヲ發送致シマシテ丁度七月十三日ニ間ニ合フト云フ手順ニナツテ居リマス、之ガ大體我國ニ於ケル所ノ制限條約ニ對スル日本ノ態度情況デゴザイマス、ソレカラ尙ホ附加ヘマシテ御承知デモゴザイマセウガ昨年「バンコック」デ阿片吸飲ニ關スル條約ガ成立致シマシタ、此ノ條約ハ既ニ調印濟デゴザイマスガ之ハ唯今申上ゲマスル製造制限ノ條約ヲ一應寄託シマシタ上デ條約ノ御批准即チ「バンコック」ノ吸飲條約ハ御批准ノ手續ヲ執ラウト云フ考ヘデアリマス、大體御説明申上ゲマスノハソレダケデアリマスガ尙ホ詳シイコトハ唯今御配布申上ゲマシタル説明書ニ依ツテ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス。

大島委員 内務省ト致シマシテ唯今外務省カラ御説明ニナリマシタ今回ノ條約ト國內法令トノ關係ヲ簡單ニ御説明致シタイト思ヒマス、今回條約ガ御批准ニナリマシテ我國ニ實施セラレル曉ニ於キマシテ、此ノ條約上ノ義務ヲ履行致シマスルタメニハ、現在行ハレテ居リマスル内務省令ノ麻藥取締規則ト云フモノガゴザイマス、ソレヲ四點ニ付テ改正スル必要ガアルト思フノデアリマス、其ノ第一點ハ麻藥ノ品目ヲ追加スルノデアリマス、此ノ條約ノ第一條ニ麻藥ノ種類ガ掲ゲラレテ居リマシガ、ソレニ伴ヒマシテ麻藥ノ取締規則ノ中ニ麻藥ノ品目ヲ追加スルノデアリマス、現在ノ麻藥取締規則ノ第一條ニハ麻藥ノ範圍ガ規定シテアリマスガ、其ノ中ニ「アセチルヂヒドロコデイン」及ビ鹽類ト云フモノヲ追加スレバ宜イノデアリマス。第二點ハ本條約ノ第十三條第一章ノ「ロ」ニ「モルヒネ」○・二「バーセント」以下「コカイン」○・一「バーセント」以下ヲ含有スルモノヲ、之以上含有スル製劑ト、同様ニ取扱フベキコトニ關スル規定ノ改正デアリマス、即チ現行ノ麻藥取締規則ハ「モルヒネ」○・二「バーセント」以上「コカイン」○・一「バーセント」以上ヲ含有スルモノニ限ツテ麻藥トシテ製造又ハ輸出入販賣ヲ取扱ツテ居ルノデゴザイマスガ、無論之レ以下ノモノハ現在ノ日本内地ノ法令デハ放任シテアリマスカラ之ヲ改メマシテ「モルヒネ」○・二「バーセント」以下「コカイン」○・一「バーセント」以下ヲ含有スルモノト同一ニ取扱ヒ得ルト云フヤウニ規則ヲ改正スル必要ガアルノデアリマス。第三點ニ麻藥製造業者ニ關スル製造報告ヲ毎年

四回提出セシメルヤウニ省令ヲ改正スルノデアリマス、現行法ニ依リマスルト毎年十二月末日マデニ一回報告スレバ宜イコト、ナツテ居リマシタノデ此ノ條約ノ結果四回ニ致スト云フコトニナルノデアリマス。第四點ハ本條約ノ第十九條ノ規定ニ關スルコトデアリマシテ麻藥ノ「レツテル」ニ麻藥ノ含有率ヲ掲ゲルコトヲ規定スルノデアリマス、之ヲ新シク取締規則ノ中ニ加ヘル必要ガアルノデアリマス、唯今申上ゲマシタ四點ガ本條約ノ實施セラル、曉ニ於テ麻藥取締規則ヲ改正スベキ點デアリマス、尙ホ附加ヘテ此ノ際申上ゲマスコトハ今回ノ製造制限條約ハ色々ナ點ニ付テ規定ガアリマスガ大體ニ於キマシテ此ノ條約ガ實施セラレマシテモ、我國ト致シマシテハ從來ノ方針ヲ少シモ變ヘル必要ハナイト云フコトデアリマス、即チ具體的ニ申上ゲマスルト、第一ニ此ノ條約デハ自國内ノ醫療用學術用トシテ必要ナル數量ハ自由ニ製造シ得ルコトニナツテ居リマス、第二ハ一定ノ豫備量ヲ保持スルコトガ出來ルト云フコトニナツテ居リマス、又第三ニ正當ナル注文ニ應ズルタメ必要ナル數量ハ自由ニ之ヲ製造スルコトガ出來ルト云フコトニナツテ居リマス、第四ニ製造業者ガ常ニ所有保存シ得ル原料ノ數量ハ原則ハ六ヶ月分デアリマスルケレドモ一ケ年マデハ之ヲ認メルコトガ出來ルト云フコトニナツテ居リマスノデ、此ノ條約ガ實施サレマシテモ我國ト致シマシテハ從來ノ方針ヲ少シモ變ヘル必要ガナイト云フ譯デアリマス、是ダケノコトヲ一寸附加ヘテ置キマス。

松田委員 今度ノ條約ガ實施サレマスニ付キマシテ唯今御説明ヲ伺ヒマシタガ此ノ規則ダケデ、即チ

規則ハ勅令デスカ法令デスカ別ニ法律其ノ他ノ改正ヲ要シナイノデアリマスカ。

大島委員 省令ヲ四點ニ付、改正致シマスレバソレデ濟ム譯デアリマス。

會長代理(潮委員) 外ニ御意見ハゴザイマセヌカ。

中島委員 私ハマダ此ノ書類ヲ拜見シテ居リマセヌカラヨク分リマセヌガ、今局長カラ御説明ノ輸入ニ關シマシテハ大分從來問題ガアツタヤウデアリマスガ、今ノ御説明デ輸出トカ輸入トカ言葉ノ争ヒト云フヤウナコトハ起ラナイノデアリマスカ、其ノ點ハ從來ト同ジヤウナ格好デアリマスカ、今色々問題ガアリマスカラ明確ニスルヤウニナツテ居リマスガ、其處ハドンナ風ニナツテ居リマスカ。

白松幹事 私カラ御答ヘ致シマス、條約ノ文句カラ言ヒマスルナラバ此ノ前ノ阿片會議ノ條約トハ輸出入ノ點ニ於テ何等相違ノ點ハアリマセヌ、唯先年私共ト大藏省トハ意見ガ合ヒマシタガ司法省トハ遺憾ナガラ意見ガ一致シマセヌ點ガアリマシタ、ソレハ「モルヒネ」ニ「パーセント」以下ヲ含有スル製劑ヲ麻藥トシテ取扱ハナイト云フ關係上「モルヒネ」ヲソレ以上ニ水デ薄メテソレヲ内地ヘ持ツテ來ルト云フヤウナ例ガアリマス、私共ハ「モルヒネ」其ノモノニ外ナラナイト云フ解釋ヲ取ツテ居リマシタガ、司法省デハ矢張り「パーセント」以下ヲ含有スルモノハ麻藥トシテ取扱ハナイト云フ解釋ヲ固持サレタノデアリマス、サウ云フ點ヲ國際聯盟ハ注目サレマシテ、サウ云フ場合ニ

於テモソレシニ「バーセント」以上含有スルモノト同ジニ取扱フト云フ條約ニ對シマシテ、先程衛生局長カラ御説明ガアリマシタ如ク、「バーセント」以上含有スルモノト同ジニナツテ居リマス、内地ノ取締規則ニ於キマシテモ之ニ對應シテ相當其ノ點ダケハ明文ニ表ハシタイト考ヘテ居リマス、ソレ以外ノ點ニ關シマシテハ從來ト少シモ變ツタコトハアリマセヌ。

平塚委員 外務省ノ松田委員ニ一寸御伺ヒ致シマスガ、先刻二十五ヶ國揃ヘバ七月十三日ニ効力ヲ發生スルト云フ御説明デアリマシタガ、四月十三日マデニ二十五ヶ國以上ノ寄託ヲ了スルヤウナ御豫定ニナツテ居リマスカ。

松田委員 唯今申シマスヤウニ條約ハ二十五ヶ國以上デアリマシテ、先程申シマシタヤウニ既ニ批准寄託ヲ了シテ加入致シマシタモノガ合計八ヶ國、ソレデ此ノ間ノ總會ニ於キマシテ目下批准ノ準備中デアルト云フコトヲ聲明シタ國ガ日本其ノ他十數ヶ國アリマスノデ、今ノ形勢デハ此ノ條約ノ三十條ニ謳ツテ居リマス二十五ヶ國ノ批准ト云フモノハ集ルダラウト云フ見込ミデアリマス、其ノ見込ノ下ニ日本モ可及的速カニ批准ヲシナケレバナラヌコトハ、日本ハ先程申シマシタ通り日本ガ自分デ進ンデ盛ンニ言ヒ出シテ置キマシテ尻込ヲスルコトハドウカト云フコトデ「イギリス」ナドモ日本ノ態度ヲ注意シテ居リマシテ「イギリス」ナドモ目下準備ヲ致シテ居リマス、日本デシナケレバ自分モシナイトハ云ヒマセヌケレドモ、ソレ等ノ關係上同時ニ多分成立ツデアラウト云フ見込

ノ下ニ促進シタイ、其ノ時機ニ遅レナイヤウニシタイト云フ態度デ進ミタイト云フ考ヘデアリマス。會長代理(潮委員) 外ニ御話ガナケレバ宜シウゴザイマスカ、——ソレデハ此ノ御報告ハ承ツテ置キマス。今日ノ議案ハ是デ議了致シマシタ閉會致シマス。

午前十一時散會

〔議案〕

朝鮮總督府保管生阿片及臺灣總督府專賣局粗製モルヒネ
ノ相互保管轉換ニ關スル件

阿片委員會

朝鮮總督府保管生阿片及臺灣總督府專賣局粗製モルヒネ」ハ之ヲ相互保管轉換セントス
右諮問ス

昭和七年十月廿八日

拓務大臣 永井柳太郎

【参考】

附表一

朝鮮産生阿片ニ關スル調

年別	栽培面積	生産量	モヒ含有率	製薬 使用量	製薬		阿片 片用	備考
					モルヒネ	ヘロイン		
昭和二年	三、七〇〇 _反	七六八 _野	九・九五 _%	七九八 _野	一〇四 _野	一	一四六 _野	
同三年	四、一八四	八〇八	一〇・一四	一四	一六			
同四年	七、五二九	一、五〇〇	一一・八三	〇	〇			
同五年	七、四一九	一、三九九	一〇・五五	一、三一九	一四一			
同六年	一〇、六二五	五、六五五 _約	一一・〇〇	七三	二七五	一六〇	七八	九制六事 月度月業 開專創專 始賣設賣
同七年 (見込)	一〇、九六一	五、六二五						

附表二

臺灣粗製モルヒネ受拂表

年次	前年繰越高	製造高	移出高	翌年度ニ繰越高	備考
昭和二年	二二、八〇〇 _{封度}	二、一〇〇 _{封度}	三、〇〇〇 _{封度}	二二、九〇〇 _{封度}	
同三年	二二、九〇〇	二、二七五	三、〇〇〇	二二、一七五	

昭和七年以降豫定

年次	前年繰越高	製造高	移出高	翌年度ニ繰越高	備考
同四年	二二、一七五	二、五六五	三、〇〇〇	二一、七四〇	
同五年	九、七八一 _野	二、二二〇 _野	二、一〇〇 _野	九、八三五 _野	以下()内ハ封度換算高 換算率一封度四五〇瓦
同六年	九、八三五	一、九二〇 _野	一、〇八八	一〇、二一一	移出高内露 内地同 四・二八瓦 朝鮮向 六〇〇瓦

年次	前年繰越高	製造高	移出高	翌年度ニ繰越高	備考
昭和七年	一一〇、二一一 _野	一、七二〇 _野	一、〇六一 _野	九、八七〇 _野	移出高ノ中ニハ朝鮮向ノ 二九三瓦ヲ含ム以下同様
同八年	九、八七〇	一、六〇九	一、〇六一	九、四一八	
同九年	九、四一八	一、四九八	一、〇六一	八、八五五	

秘

昭和九年三月

第五回委員會報告

阿片委員會

第五回阿片委員會

昭和八年四月五日午後一時五十分內務省會議室ニ於テ開催ス

出席者

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	委員	會長(代理)
生	北	木	淺	大	中	黑	大	勝	瀧	潮	惠
駒	島	村	野	橋	島	田	島	田			正
	謙	小	平	八	鐵	英	辰	永			之
一	高	左	二	郎	平	雄	郎	吉	雄	輔	
	次	衛									
	常	郎	門	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	

委員 平塚 廣義
井上、白松、安香、飯田、小野、棟居、各幹事
奥村、伊藤、保見、諸富各書記

議事速記録

會長代理(潮委員) 是カラ開會致シマスガ、今日ハ會長ニ御差支ガアリマシテ、私ガ代ツテ此ノ席ヲ汚シマス、御了承ヲ願ヒマス、直チニ議事ヲ開キマスガ、第一號議案「朝鮮ニ於ケル阿片ノ生産ニ關スル件」ヲ議題ト致シマス。拓務省側カラ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス。

北島委員 ソレデハ一應朗讀致シマス。

(議案朗讀)

其ノ理由ヲ御手許ニ差上ゲテ置キマシタガ、コレモ朗讀致シマス。

朝鮮ニ於ケル阿片ノ生産ハ昭和三年十一月閣議決定ノ方針ニ基キ朝鮮ニ於ケル麻藥ノ原料ハ可成之ガ供給ヲ朝鮮内ニ仰グト共ニ朝鮮ニ於ケル專賣麻藥ノ製造ニ必要ナル限度ニ止ムルコトトナリ居レル處、近年栽培技術ノ改良等ニ因ル自然の増産ニ伴ヒ總督府ニ於ケル蓄積量ハ漸次増嵩ヲ見ルニ至リ昭和七年度ニ在リテハ收納、沒收及前年度持越量合計約一四、〇〇〇庇ニ對シ製藥原料一、八〇〇庇滅失約一、〇〇〇庇ナルヲ以テ同年度末在庫量ハ約一一、〇〇〇庇ノ推算ニシテ向後ニ於テモ大体同様ノ蓄積量ヲ保持シ得ルノ見込ナリ。

然ルニ一方關東廳管内ニ於テハ最近五箇年(昭和二年乃至同六年)平均約四三、五〇〇庇ノ外國阿片

ヲ消費シ尙將來滿鐵附屬地ニ阿片專賣制度ヲ實施スル曉ニ於テハ更ニ一七、〇〇〇斤内外ヲ要スル見込ニシテ又臺灣ニ在リテモ最近五箇年(昭和二年乃至同六年)平均三二、〇〇〇斤ノ外國阿片ヲ購入セリ、外國阿片ノ輸入ハ最近爲替相場ノ激落及輸出國ノ輸出統制等ニ因リ著シク不利トナレルヲ以テ此ノ際右過剩ノ朝鮮產阿片ヲ以テ關東廳ノ需要ノ一部ヲ充タスト共ニ其ノ品質改良ニ依リ臺灣總督府專賣阿片煙膏原料トシテ現交換量以上ニ供給スルコトトセバ右ノ不便ヲ補ヒ國際貸借ノ改善ニモ寄與シ得ルノ利アリ。

仍テ右朝鮮、關東州及臺灣ニ於ケル阿片需給ニ關スル相互ノ事情ニ鑑ミ今後朝鮮總督府ニ於ケル專賣モルヒネ鹽類ノ原料ハ主トシテ昭和八年一月九日閣議決定ニ基ク臺灣總督府粗製モルヒネ並ニ昭和六年五月八日閣議決定ニ基ク關東廳沒收モルヒネノ各交換量ヲ以テ充當シ、朝鮮内ニ於テ生産ニ係ル生阿片ハ右トノ交換ニ充ツルノ外、臺灣總督府及關東廳ニ於ケル專賣阿片ノ資料トシテ供給シ以テ國內ニ於ケル需給ノ圓滑ニ資スルヲ適當ノ方策ト認ム。

大體朗讀致シマシタ理由ヲ説明ハ盡キテ居ルト思ヒマスカラ、重ネテ申上ゲルノモ如何ト思ヒマス御質問デモゴザイマスレバ御答ヘ致シマス。

會長代理(潮委員) ソレデハ御質問ヲ願ヒマス、原案ノ通り御異議アリマセヌデスカ。

平塚委員 一寸御伺ヒシタイノデアリマスガ、「朝鮮内ニ於テ生産ニ係ル生阿片ハ主トシテ之ヲ臺灣總

督府及關東廳ノ專賣阿片ノ資料」云々ト云フコトヲ書イテアリマスガ、此ノ「主トシテ」ト云フノハドウ云フ御考デアリマセウカ、拓務省ノ御説明ヲ願ヒマス。

北島委員 御答ヘ致シマス、現在朝鮮ノ「モルヒネ鹽類ノ原料ハ試驗ノ結果カラ見マスルト、朝鮮產ノ生阿片ヲ使フヨリモ臺灣ノ粗製モルヒネ」ヲ使ツタ方ガ、品質カラ云ツテモ、生産費ノ關係カラ云ツテモ、却ツテ有利デゴザイマスカラ、「主トシテ」ト書カナクトモ書イテモ實質ニ於テハ殆ト同ジデスケレドモ、念ノ爲メ「主トシテ」ト書イテ置イタダケデゴザイマス。

黒田委員 朝鮮デ出來タ生阿片ヨリモ臺灣ノ粗製モルヒネ」ノ方ガ利益ダト云フノハ、ドウ云フ譯デスカ、私ハ斯ウ云フコトハ素人デ解リマセヌカラ、御説明ヲ願ヒタイ。

北島委員 昭和六年度ノ實績ニ依リマス、朝鮮產ノ生阿片ヲ使ツテ鹽酸モルヒネ」一坩ヲ拵ヘマスト三百三十三圓掛リマス、ソレカラ臺灣ノ粗製モルヒネ」ヲ使ヒマスト二百七十一圓デ出來テ居リマス、而モ出來タモノハ別ニ品質ニ於テ劣ラナイト云フコトニナツテ居リマス。

黒田委員 朝鮮ノ方ハ能ク解リマシタガ、臺灣ノ方ハ、サウスルト朝鮮ノ生阿片ヲ臺灣、或ハ關東州ノ方ニ賣ツテ、臺灣總督府、關東廳ニ於テハソレデ以テドウ云フ風ニ使ハレルノデアリマセウカ、ソレデ「モルヒネ」ヲ拵ヘルト矢張り高クナリマセウガ、臺灣、關東州ナラ廉ク出來ルノデスカ、サウデナシニ朝鮮デ「モルヒネ」ヲ拵ヘルニハ粗製モルヒネ」ヲ使ツタ方ガ廉イ譯デスカ、生産品ノ方

六
デ廉ケレバ臺灣ニ行ツテモ、モルヒネ」ヲ拵ヘルナラバ同ジコトダラウト思ヒマス。

北島委員 ソレハ臺灣ノ方デハ煙膏ノ方ガ必要デアリマシテ、モルヒネ」ハ必要ガナイノデアリマス、ソレデ生阿片カラハ煙膏ト「モルヒネ」ト兩方取レルノデアリマスカラ、臺灣トシテハ煙膏ガ必要デアリマスカラ煙膏ヲ取ツテ、滓ハ所謂粗製「モルヒネ」トシテ殘ル譯デス、ソレハ臺灣ニハ殆ト必要ガナイ、所ガ朝鮮ノ方デハ「モルヒネ」ハ要ルケレドモ、煙膏ハ必要ガナイ、ソレデ臺灣ノ廢物ヲ以テ朝鮮デ「モルヒネ」ヲ拵ヘタ方ガ、生阿片デ拵ヘルヨリハ却ツテ有利デアル、故ニ臺灣トシテハ廢物ノ捌ケロガ出來、一方生阿片ハ何所カラカ、詰リ現在ハ波斯トカ土耳其トカカラ輸入シテ居リマスガ何所カラカ買ハナケレバナラス、斯ウスレバ寧ロ國際貸借ノ改善カラ云ツテモ、臺灣ノ廢物ヲ朝鮮デ利用シ、ドウセ買ハナケレバナラス生阿片ヲ外國カラ買フ、リ朝鮮カラ買フ、斯ウ云フ譯デアリマス。

黒田委員 今マデ朝鮮デ拵ヘタ煙膏ハ之ヲ輸出シテ居ツタノデスカ。

北島委員 煙膏ハ使ハナイノデス、全然必要アリマセヌ。

黒田委員 今マデ生阿片デ「モルヒネ」ダケ拵ヘテ居タノデスカ、廢物利用ハ出來ナカツタノデスカ、或時ハ煙膏モ造ツタノデスカ。

北島委員 煙膏ハ拵ヘマセヌ、朝鮮ニハ全然必要ガアリマセヌカラ。

黒田委員 煙膏モ拵ヘテ、煙膏ダケハ輸出シテ居ツタカト思ツタガ、サウヂヤナイノデスカ。

北島委員 ソレハ致シマセヌ。

黒田委員 解リマシタ。

會長代理(潮委員) 本案ハコレデ宜シウゴザイマスカ。

平塚委員 一寸意見デアリマスカ、申上ゲタイト思ヒマス、此ノ案ノ御趣旨ハ臺灣ト致シマシテハ誠ニ好都合ノコトデアリマスカ、唯茲デ申上ゲテ置キタイノハ、朝鮮産ノ生阿片ヲ臺灣ノ煙膏ノ原料トシテ使用スル點デアリマスカ、コレハ現在ノ品質ノ儘デハ私ノ方デ販賣シテ居ル煙膏ノ三分カ、多クトモ五分位マデナラバ、朝鮮産ノモノヲ原料トシテ使用スルコトガ出來マスカレドモ、ソレ以上ハ詰リ煙膏ノ風味ノ關係上、現在ノ朝鮮産ノミヲ多ク使フト云フコトハ風味ヲ害スル虞ガアルノデアリマス。從ツテ無制限ニ之ヲ使用スルト云フコトハ、臺灣ノ煙膏ヲ拵ヘル上ニ於テ考慮ヲ要スル點デアリマス、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ先刻モ一寸「主トシテ」ト云フコトヲ御伺ヒ致シマシタ譯デアリマスカ、要スルニ朝鮮産ノ生阿片ヲ原料トシテ使用シ得ルニ至リマスレバ、少クトモ現在ノ波斯阿片ノ風味ニ類似スルニ至ルト云フコトガ必要ダト思フノデアリマス。ソレデ此ノ點ニ付キマシテハ此御諮問案ノヤウナコトハ誠ニ結構ナコトデアリマスカラ、尙研究スル積リデアリマスカ、併シ品質ノ改良ニ付テハサウ俄ニ之ヲ期待スル譯ニモ行カスト思フノデアリ

マス。從ツテ一方臺灣ニ於キマシテモ出來得ル限リ朝鮮ノモノヲ使用スルコトノ出來ルヤウニ尙研究ヲ致ス譯デアリマスルガ、今申シ上ゲマシタ風味ノ點ニ關係致シマシテモ、配合品ニヨル加工ニ依リマシテ其目的ヲ達シマシヨヤウ、詰リ風味ヲ、波斯阿片ヲ使フト同様ノ風味ヲ持タセヤウト云フコトヲ、私ノ方デハ研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、サウシテ其ノ研究ノ大體經過ヲ考ヘテ見マスト、其目的ヲ達成スルノニ先ヅ有望デアル、斯ウ見テ居ルノデアリマス。從ツテ先刻申シマシタ三分ト五分トカノ朝鮮産ノ阿片ヲ其ノ位ノ程度デナケレバ困ルト云フ、其ノ限度ヲ研究ノ結果ニ依リマシテハ尙ヨリ以上ニ使ツテ風味ヲ害セヌヤウニ將來爲シ得ルダラウ、斯ウ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、臺灣ニ於テ朝鮮産ノ生阿片ヲ原料トシテ使用スルト云フコトニ於キマシテハ、日本ノ産業ノ上カラ見マシテ、國際貸借ノ上カラ見マシテ、誠ニ結構ナコト、考ヘラレマスルガ、此ノ點ニ付キマシテ、御趣旨ニ付キマシテハ素ヨリ賛成ヲ致スノデアリマス、唯、今申シマシタ原料トシテ使用シ得ル程度ト云フ點ダケヲ御考慮ヲ願ヒマシテ、詰リ臺灣ト致シマシテハ此ノ程度ヲ條件……ト言ヒマシテハ少シ堅苦シイ言葉ニナリマスケレドモ、サウ云フ意味ニ於テ、詰リ原料トシテ使用シ得ル程度ト云フ點ヲ一ツ御考慮ヲ願ヒマシテ、サウ致シマスレバ臺灣ト致シマシテハ、此ノ案ニハ素ヨリ賛成ヲ表スル譯デアリマス。

會長代理(潮委員) 今平塚君ノ御話モアリマシタガ、原案ハコレデ宜シウゴザイマスカ。

中島委員 一寸私後レ馳デスガ、御質問申シタイノデス、拓務省ニ御尋ネ申シマスガ、朝鮮デハ阿片ノ栽培ト云フモノハ或程度ニ局限サレテ居ル譯ナンデセウネ、朝鮮ダケノ必要ヲ充セバ宜イト云フヤウナ考ニ慥カナツテ居ツタヤウニ承知致シテ居リマスガ、斯ウ云フコトニナリマスト自然コノ朝鮮ノ生阿片ノ栽培面積ヲ殖スヤウナ、促進スルヤウナコトニナルノデハナイカト思ヒマスガ、ソコハドウ云フ風ニナリマスカ、今丁度斯ウ云フ風ニ臺灣ナリ關東應デ御ヤリニナルト云フコトハ宜イトシマシテ、一ツノ「ファーマシスト」ノ制度トシテ、朝鮮カラ臺灣ニ持ツテ行ク、朝鮮カラ關東州ニ供給スル途ハ、ドウ云フ風ニシテ御ヤリニナリマスカ、三年位續イテヤツテモ朝鮮ノ栽培ト云フモノハ促進サレルコトハ或ハ宜イコトカモ知レマセヌガ、朝鮮自體ハ成ベク必要以上ノモノハ作ラヌト云フコトガ立前ニナツテ居ルヤウニ思ヒマスガ、ソコノ所ハドウ云フコトニマリマスカ一寸伺ヒマス。

北島委員 只今御話ノ通り現在朝鮮ニ於ケル「モルヒネ」等專賣ニ關スル件ト云フ、昭和三年十一月九日ノ閣議決定ニ於キマシテ「モルヒネ、ヘロイン」ノ原料ハ可成之ガ供給ヲ朝鮮内ニ仰グコト、但シ朝鮮ニ於ケル罌粟ノ栽培ハ朝鮮ニ於ケル「モルヒネ、ヘロイン」ノ製造ニ必要ナル限度ニ止ムルコトト云フコトニナツテ居リマス。ソレデ原則トシテ朝鮮ニ於ケル「モルヒネ」製造ニ必要ナル限度ニ於テ罌粟ヲ栽培シ、生阿片ノ製造ヲスルト云フ立前ニナツテ來テ居リマス。最初ハ勿論其ノ方針

デヤツテ居リマシタケレドモ、最近反別モズツト殖エテ居リマスガ、主ナ原因ハ反當リノ收量ガ非常ニ増加シテ、其ノ結果最近特ニ朝鮮内ノ需要ヲ充タシテ非常ニ餘リガ出來ルヤウナ状態ニナツテ居ルノデアリマス。ソレデ今度ノ案ガ決議ニナリマスト、只今朝讀シマシタ昭和三年ノ閣議決定ノ趣旨ハ事實ニ於テ變更サレルヤウナコトニ相成リマシテ、詰リ自給自足ノ原則ハ之ニ依ツテ改メラレルト云フヤウナ結果ニナルダラウト云フ風ニ、我々モ其ノ積リデ居リマスガ、其ノ結果益々以テ朝鮮ニ於ケル罌粟ノ栽培及ビ生阿片ノ増殖ヲ誘致スルコトガアリハシナイカト云フ點ニ付キマシテハ、大體只今朝讀致シマシタ理由書ニモ書イテアリマス通り臺灣ト關東廳兩方ヲ通ジテ、波斯及ビ土耳其カラ非常ナ數量ノ阿片ヲ輸入シテ居リマス而モ爲替相場ノ關係上最近ニ於テ相當ノ價格ニ上ツテ居リマス、ドウセ外國カラ輸入シナケレバナラスモノデアツタラ、國際貸借ノ見地カラ云ツテ、又失業救済ト云フヤウナ見地カラ云ツテモ、寧ロ外國產ノモノヲ使ハナイデ朝鮮產ノモノヲ使ツタナラバ、帝國全體ノ立場カラ見テ宜クハナイカ、ソレデ増產其ノモノハ必シモサウ不都合ナコトモアルマイ、又國際條約ノ關係カラ行キマシテモ、ソウ別ニ大シタ支障モナイモノデアルト云フヤウニ考ヘテ居リマス。唯積極的ニ更ニ此ノ上ノ増產ヲスルカドウカト云フコトハ、コレ亦餘程考ヘナケレバナラス問題デアリマスカラ、其ノ點ハ尙ホ能ク研究シタイト思ヒマス。

會長代理(潮委員) 御質問モ御意見モアリマセスカ、ゴザイマセスケレバ原案通り決定致シマシテ宜

シウゴザイマスカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

會長代理(潮委員) 御異議ナイヤウデゴザイマスカラ原案通り決定致シマス。

會長代理(潮委員) 第二號議案、朝鮮總督府保管生阿片讓渡ニ關スル件

北島委員 一應諮問案及理由ヲ朗讀致シマス。

(諮問案竝理由朗讀)

『滿洲國政府ニ於テハ本年一月十一日ヨリ阿片專賣制度ヲ實施スルコトトナリタル處專賣用阿片ノ不足ヲ告ゲ今般朝鮮總督府ニ對シ同府保管生阿片ノ有價分與方要望アリ
朝鮮ニアリテハ從來製藥原料トシテ必要ナル限度ニ於テ阿片ノ生産ヲ爲シ來レル處昭和六、七年度ニ於テハ天候ノ關係、生産技術ノ改善等ニ因リ豫定量以上ノ收納アリ關東廳及臺灣總督府ニ對スル交換及讓渡所要數量ヲ控除スルモ尙相當餘剩アルヲ以テ右滿洲國ノ事情ヲ酌ミ暫定的措置トシテ手持生阿片ノ一部ヲ同國政府ニ讓渡シ得ルコトトスルヲ適當ト認ム』

北島委員 一寸追加シテ御説明申上ゲマスガ、昨年ノ十月カラ滿洲國ニ於キマシテハ阿片專賣制度實施ノ準備ト致シマシテ、阿片ノ收買法ト云フモノヲ出シマシテ、其ノ準備行爲ヲヤツテ居ツタノデア

リマス。ソレデ今年ノ一月十一日カラ阿片法ヲ制定公布致シマシテ、現在阿片ノ專賣制度ヲ施行シテ居リマス。其ノ實體ニ於キマシテハ大體關東州、臺灣ノ制度ニ倣ヒマシテ、癮者ニ對シテハ矢張特許制度ヲヤツテ、專賣制度ヲ實行致シテ居リマス。所ガ滿洲國ト致シマシテハ阿片ノ生産地テアル熱河方面ガ御承知ノヤウナ状態デアリマスノデ、專賣ニ必要ナル生阿片ノ不足ヲ告ゲマシタノデ、其ノ中ノ一部ヲ補充スル爲ニ朝鮮總督府ニ對シテソレヲ分與シテ貰ヒタイト申込ンデ來タノデアリマス。ソレデ朝鮮總督府ト致シマシテハ手持ノ「ストツク」ヲ之ニ讓渡スルノガ適當デアルト考ヘマシテ、此ノ諮問案ヲ提出シタヤウナ次第デアリマス。滿洲國ト致シマシテハ熱河其ノ他阿片ノ生産シ得ル場所ハ相當アルヤウデアリマス。只今申上ゲマシタ通り熱河ハサウ云フ状態デアリマシテ、其ノ他ノ方面ニ於キマシテハ現在阿片ノ生産、罌粟ノ栽培ノ増殖計畫ヲ樹テ、今實行中デアリマスケレドモ、急場ノ間ニ合ハナイノデ、而モ又全部ノ需要ハ到底充タシ切レナイヤウナ關係モアリマスノデ、茲當分ノ間恐ラクドウシテモ滿洲國以外ノ方面カラ生阿片ノ輸入ノ必要ガアル。ソレデ此ノ滿洲國ヘノ讓渡ノ關係ハ或ハ當分續クノデハナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居リマス。取敢ヘズ昭和七年度生産ノ生阿片三百貫、ソレカラ昭和六年度ニ沒收シマシタ生阿片二百貫、合計五百貫ヲ差當リ朝鮮總督府カラ滿洲國ニ讓渡スル計畫ニナツテ居リマス、大體以上ヲ申上ゲテ置キマス。

會長代理(潮委員)

御質問ヲ願ヒマス、御尋ネハアリマセヌカ、御質問モ御意見モゴザイマセヌケレ

バ決定致シタイト思ヒマスガ、原案通りニ御異議ゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

會長代理(潮委員)

御異議ナイト認メマスカラ、第二號議案ハ原案通り決セラレマシタ。

會長代理(潮委員)

最後ニ第三號議案ノ南滿洲鐵道附屬地ニ阿片專賣制度實施ニ關スル件、之ヲ議題

ニ供シマス。

(書記議案竝理由朗讀)

「滿洲國ニ於テハ建國以來阿片ノ取締ニ付銳意研究中ナリシカ從來ノ國情ニ徴シ嚴禁主義ヲ以テ臨ムコトノ困難ナルニ鑑ミ漸減主義ヲ採用シ阿片癮者ニ對シテハ救療上必要ナル限度ニ於テ之カ吸食ヲ許シ且ツ阿片ノ收買及賣下ハ官ニ於テ專掌スルコトトシ以テ從來ノ密吸食及密取引ノ取締ヲ勵行シ一面社會教育等ニ依リ禁煙思想ノ普及徹底ヲ圖リ禁煙ノ目的ヲ達成セントシ昭和七年十月一日ヨリ阿片法ヲ施行シテ各地ニ散在スル阿片ノ收集整理ヲ爲シ之カ專賣及取締ノ完全ヲ期シツツアリ然ルニ滿洲國ト地域相接壤スル我南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル現行取締狀況ハ日本人ニ對シテハ帝國領事裁判權ニ依リ刑法ノ適用アリ滿洲人其ノ他ニ對シテハ單ニ附屬地ニ於ケル關東廳警察行政權ノ範圍内ニ於テ阿片及阿片吸食用器具等ハ警察處分ヲ以テ沒收シ阿片ノ取引吸食ヲ絕對ニ禁止シ居レリ

然ルニ今ヤ隣邦滿洲國ニ於テ前記ノ如ク阿片ノ專賣制度ヲ實施スルニ於テハ事情ヲ全ク同シウスル南滿洲鐵道附屬地ニ於テモ同様ノ目的、方策ノ下ニ取締規定ヲ設ケテ附屬地ニ於ケル阿片制度ヲ確立シ一方滿洲國ト互ニ連絡協調シ以テ同國阿片政策ノ圓滿ナル遂行ヲ支援シ相共ニ阿片ノ害惡ヲ除去スルノ舉措ヲ講スルコト最モ緊要ナリト認ム。

生駒委員 南滿洲鐵道附屬地ニ阿片專賣制度ヲ實施スルコト、之ニ付テ簡單ニ御説明申上ゲマス。關東州ニ於キマシテハ御承知ノヤウニ州内ニ於キマシテハ關東州ノ阿片令及ビ其ノ施行規則ニ依ツテ取締ヲ致シテ居リマス。然ルニ南滿洲鐵道附屬地ニ於キマシテハ、現在ハ嚴禁主義ニ依リテ取締シテ居ルノデアリマスガ、日本人ニ對シマシテハ領事裁判權ニ依リテ刑法ノ適用ガアルノデアリマス。滿洲人其ノ他ニ對シマシテハ單ニ附屬地ニ於ケル關東廳ノ警察行政權ノ範圍内ニ於キマシテ、阿片及ビ阿片吸食用器具等ヲ警察處分ヲ以テ沒收スルト云フコトダケテ取締ツテ居ルノデアリマス。然ルニ從來嚴禁主義ヲ標榜シテ居ツテモ全ク有名無實デアリマシタ處ノ滿洲地方ニ滿洲國ガ建設サレマシテ以來、阿片政策ノ問題ヲ非常ニ重要視シマシテ、色々研究ノ結果從來ノ如ク嚴禁主義ヲ以テ之ニ臨ミマシテモ、到底實効ヲ舉ゲルコトガ困難デアルト云フ關係カラ、所謂嚴禁主義ニ基ク癮者ノ漸減方針ニ依リマシテ、阿片癮者ニ對シマシテハ救療上必要ナル限度ニ於テ吸食ヲ許シ、且ツ阿片ノ收買及ビ賣下ハ官ニ於テ專掌スルコト、致シマシテ、從來ノ密吸食及ビ密取引ノ取締ヲ勵行シ、

一面社會教育等ニ依ツテ禁煙思想ノ普及徹底ヲ圖ツテ禁煙ノ目的ヲ達スル爲ニ、昨年ノ十月一日カラ阿片ノ收買法ト云フモノヲ施行致シマシテ、阿片ノ收集整理ヲ行ヒ、本年一月十一日カラハ阿片法ヲ施行致シマシテ專賣及ビ取締ノ完璧ヲ期シツ、アルヤウナ狀態デアリマス。斯様ナ狀態ニ至リマシタノデ、滿洲國ト全ク事情ヲ同ジクシテ居ル所ノ南滿洲鐵道附屬地ニ於キマシテモ、從來ノヤウニ致シテ置ク譯ニハ行キマセヌノデ、全ク同様目的ノ方策ノ下ニ取締規則ヲ設ケマシテ附屬地ニ於ケル阿片ノ制度ヲ確立シテ、滿洲國ト互ニ連絡協調シテ阿片政策ノ圓滿ナル遂行ヲ支援シテ、相共ニ阿片ノ害惡ヲ除去スルノ方法ヲ講ズルコトガ必要デアルト云フコトニ相成リマシタノデ、今回此ノ後ニ附イテ居リマスル南滿洲鐵道附屬地阿片取締規則案（參考欄參照ノコト）ト云フモノヲ決メマシテ、之ニ依ツテ其ノ目的ヲ達成シヤウト云フコトニ相成ツタノデアリマス。此ノ法規ノ大體ノ内容ハ現在行ハレテ居リマスル關東州ノ阿片令及ビ同施行細則ノ内容ト大體同ジデアリマス。

會長代理（潮委員） 御質問ヲ願ヒマス。

中島委員 一寸何ンデゴザイマスカ、此ノ取締規則ハ、只今ノ御説明デハ關東州ニ行ハレテ居ル規則ト大體内容ハ同ジダト云フコトデアリマスガ、滿洲國ノ一月十一日カラ施行サレルト云フ阿片取締規則ハ、モウ發令ニナツテ居リマスカ。

生駒委員 滿洲國ハ既ニ發令ニナツテ居リマス。

中島委員 其ノ規則ト大體同ジデスカ、變ツタ所ハ餘リアリマセスカ。

生駒委員 大體滿洲國ノ阿片法ガ關東州ノ阿片令及ビ其ノ施行細則ト非常ニ能ク似タモノデアリマス、主義方針ハ同ジデアリマス、内容ニ至ツテモ大體同ジデアリマス。

中島委員 サウシマスト南滿洲鐵道附屬地ニ對スルノモ、關東州ニ對スルノモ、滿洲國ニ對スルノモ結局一ツノ法規ガ行ハレテ居ルヤウナコトニ相成リマスカ、地域ニ依ツテ矢張り何カ違ヒガアリマスカ、實質ハ同ジモノト考ヘテ宜シウコザイマスカ、何所カ違ツテ居リマスカ、斯ウ云フ風ニ地域ガ違フカラシテ法規モ違フカモ知レマセスカ、アスコラニ居ル人ハ皆同ジ「システム」ノ下ニ支配シテ行クノガ本當ノヤウニ考ヘマスカ、違ツタ點ガアリマスルナラバ、其ノ點ヲ御説明ヲ願ヒマス。

生駒委員 根本ノ主義方針、ソレカラ取締ノ要點等ニ至リマシテハ、先ヅ大體同ジダと言ツテ差支ナイノデゴザイマス、細カク申上ゲマスレバ多少文句等ニ於テ違フ所モゴザイマスケレドモ、廣ク實質的ニ考ヘテミマスト大體同ジダト申上ゲテ差支ナイト思ヒマス。

中島委員 何カ附屬地デハ出來ナイケレドモ、一寸附屬地ヲ離レテ滿洲國ニ行ケバ出來ルトカ、飲メルトカ、飲メヌトカ、サウ云フコトハアリマセスカ。

生駒委員 サウ云フコトハアリマセヌ。

大島委員 一寸伺ヒマスカ、此ノ規定ハ内地人ニ對シテハ適用ガナイノデスカ。

生駒委員 内地人ニ對シテハ適用アリマセヌ、内地人ニ對シテハ刑法ノ適用ガアルノデス。

大島委員 例ヘバ第十一條ノ如キ規定デスネ、コレナドハ内地人ヲ小賣人ニ指定サレルコトハ妨ゲナイノデスカ。

生駒委員 矢張り此ノ十一條モ支那人ダケニ許スコトニナツテ居リマス。

大島委員 其ノ内地人ニハ適用ナク、向フノ支那人ニダケ適用ガアルト云フコトハ、其ノ滿洲國人ト云ヒマスカ、支那人ト云ヒマスカ、ソレハ此ノ規定デサウ云フ主義ガハツキリ致シマスカ、警察取締規則デアルカラサウ云フコトニナルンダト云フ、斯ウ云フ風ニ解釋スル譯デスカ、解釋ノ明文ハ要ラナイノデスカ。

生駒委員 今概括的ニ適用ガナイト申シマシタガ、詰リ刑法ノ適用ノアル以外ノ事項デ取締ニ必要ナル點ハ、内地人ヲモ取締ルコトニナル譯デアリマス。

會長代理(潮委員) 阿片小賣人ノ資格ニ付テハ制限ガナイノデスネ、明文トシテハ――

生駒委員 法令ノ上カラハ明瞭ニハ日本人ニハ許サナイト云フコトハ現レテ居ナイ譯デス。

大島委員 少シ細カイヤウデスカ、吸煙シタリ何カスルコトハ、是ハ内地人ニハ出來ナイノデ、滿洲國人ハ此ノ取締規則ニ依ツテ、特別ニ許可ヲ受ケレバ出來ル譯デスナ、所ガ此ノ十二條ノ規定ノ如

キハ是ハ内地人ニモ向フノ人ニモ等シク適用ガアルト云フヤウナ趣意デナイカト思フノデスガ、其ノ點ハドウデスカ。

生駒委員 併シソレハ刑法ノ規定ニ依ツテ阿片ヲ取扱フコトガ出来ナイモノトスレバ、假令阿片小賣人ノ指定ヲ受ケマシタ所デ、實際阿片ヲ取扱フコトガ出来ナイ譯デスカラシテ、事實上ナニモナラヌコトニナリマス。

大島委員 サウデスカ、解リマシタ。

會長代理(潮委員) 他ニ御質問等ガゴザイマセスカ、御意見モアリマスマイカ、原案デ宜シウゴザイマスカ。

(異議ナシト呼ブ者アリ)

會長代理(潮委員) 御異議ナイヤウデゴザイマスカラ、原案ノ通り決定致シマス、コレデ議案全部議了ヲ願ヒマシタ、コレデ散會致シマス、御苦勞デゴザイマシタ。

午後二時三十五分散會

第一號議案

朝鮮ニ於ケル阿片生産ニ關スル件

阿片委員會

殖商第一〇二號

朝鮮總督府專賣モルヒネ鹽類ノ原料ハ主トシテ臺灣總督府粗製モルヒネ及ビ關東廳沒收モルヒネヲ以テ充當シ朝鮮内ニ於テ生産ニ係ル生阿片ハ主トシテ之ヲ臺灣總督府及關東廳ノ專賣阿片ノ資料トシテ供給スルコト

右諮問ス

昭和八年三月二十五日

拓務大臣 永井柳太郎

【参考】

一、朝鮮ニ於ケル「モルヒネ」等專賣ニ關スル件

(昭和三年十一月九日閣議決定)

朝鮮ノ現状ニ鑑ミ麻薬類ノ製造及販賣ヲ一層嚴重取締リ以テ「モルヒネ」中毒者ヲ速ニ根絶セシムル爲メニ左ノ方法ヲ講スルコト

- 一、「モルヒネ」「ヘロイン」ノ製造及販賣ハ之ヲ政府專賣トスルコト
- 二、「モルヒネ」中毒者ハ官ノ指定シタル醫師診断ニ依リ之ヲ登録スルコト
- 三、前號ノ登録者ニ對シテハ速ニ治療ヲ施スコト
- 四、第二號登録者ニ限り一定數量ノ「モルヒネ」「ヘロイン」ヲ販賣スルコト
- 五、「モルヒネ」「ヘロイン」ノ原料ハ可成之カ供給ヲ朝鮮内ニ仰クコト但朝鮮ニ於ケル罌粟ノ栽培ハ朝鮮ニ於ケル「モルヒネ」「ヘロイン」ノ製造ニ必要ナル限度ニ止ムルコト

二、朝鮮總督府保管生阿片及關東廳保管「モルヒネ」ノ相互保管轉換ニ關スル件

(昭和六年五月八日閣議決定)

朝鮮總督府保管生阿片及關東廳保管「モルヒネ」ハ之ヲ相互保管轉換スルコトヲ得

三、朝鮮總督府保管生阿片及臺灣總督府專賣局粗製

「モルヒネ」ノ相互保管轉換ニ關スル件

(昭和八年一月九日閣議決定)

朝鮮總督府保管生阿片及臺灣總督府專賣局粗製「モルヒネ」ハ之ヲ相互保管轉換スル事ヲ得

附表

一 朝鮮ニ於ケル阿片需給表

年度別	前年度繰越高	収 納 高	沒收品引繼高	製藥原料(關東州又ハ臺灣トノ交換量ヲ含ム)	六〇度乾燥其ノ他ニ因ル減耗高	年度末在庫高
昭和四年	一、三八四 _証	一、五〇〇 _証	九六六 _証	四、二二四	一六六 _証	三、六八四 _証
同 五年	三、六八四	一、三九九	三三五	二、一四六	一六三	一、〇三一
同 六年	一、〇三一	五、六五四	一、五五六	一、八〇二	五六一	五、五三四
同 七年	五、五三四	七、六三四	一月未迄 一、二四五		九一九	一一、六九二

附表

二 臺灣ニ於ケル阿片輸入量及阿片吸食特許者數

年(曆年)別	輸入量		阿片吸食特許者數
	波斯產	土耳其產	
昭和二年	一四、二四六	—	二九、五三六
同 三 年	二一、三七四	—	二七、三七八
同 四 年	三一、七七六	—	二五、〇二二
同 五 年	四五、八八七	—	二三、二三七
同 六 年	三五、七九八	一一、五〇五	二一、五一〇
同 七 年	一一、〇三〇	—	未詳

備考

臺灣總督府購入ノ阿片一疋當產地別價格比較 (臺北著值)

波斯阿片 三二圓〇〇錢 昭和七年中購入ノモノ平均
 土耳其阿片 二〇圓六〇錢 昭和八年一月購入ノモノ

附表

三、關東州ニ於ケル阿片輸入量及阿片吸食特許者數

年(曆年)別	輸入量			朝鮮產量	計	阿片吸食特許者數
	波斯產	土耳其產	西比利亞產			
昭和二年	三八、九六二	六、九二九	—	—	四五、八九一	三一、〇六二
同 三 年	二四、〇六四	二、八九八	七二五	—	二七、六七七	三一、一七六
同 四 年	六四、一四五	—	—	—	六四、一四五	三〇、八五八
同 五 年	三三、五七〇	三、七二八	—	—	三七、二九八	三〇、四九一
同 六 年	三三、七六一	七、三四一	—	—	四二、三二八	三〇、六七三
同 七 年	二一、一〇二	四七、〇三〇	—	二、〇七二	七〇、二〇四	三二、〇〇七

備考

關東廳購入ノ阿片一疋當產地價格比較 (大連著值)

波斯阿片 三二圓三四錢 昭和七年十月購入ノモノ
 土耳其阿片 二〇圓二四錢 昭和七年十月購入ノモノ
 朝鮮阿片 三四圓一三錢 (モヒ含量平均一%) 昭和七年度讓受見込ノモノ
 同 三三四八六錢 (モヒ含量平均一〇%) 昭和八年度讓受見込ノモノ
 同 三二圓〇〇錢 (モヒ〇量平均一〇%) 昭和七年度讓受見込沒收品

第二號議案

朝鮮總督府保管生阿片讓渡ニ關スル件

阿片委員會

殖商第三五七號

朝鮮總督府保管生阿片ハ暫定的措置トシテ之ヲ滿洲國政府ニ讓渡スルコトヲ得
右諮問ス

昭和八年三月二十八日

拓務大臣 永井柳太郎

第三號議案

南滿洲鐵道附屬地ニ阿片專賣制度實施ニ關スル件

阿片委員會

管警第一八三號

南滿洲鐵道附屬地ニ阿片專賣制度ヲ實施スルコト
右諮問ス

昭和八年三月二十八日

拓務大臣 永井柳太郎

【参考】

南滿洲鐵道附屬地阿片取締規案

- 第一條 本令ニ於テ阿片トハ生阿片及阿片煙膏ヲ謂フ
- 第二條 阿片ハ之ヲ吸食スルコトヲ得ス但シ關東長官ハ當分ノ内未成年者ニ非サル阿片癮者ノ救療上必要アリト認ムル場合ニ限り其ノ吸食ヲ許可スルコトアルヘシ
- 第三條 阿片吸食ノ許可ヲ受ケントスル者ハ本籍、住所、氏名、年齢及職業ヲ具シ關東長官ニ願出ツヘシ
- 第四條 阿片癮者ノ認定ハ官ノ指定シタル醫師ノ診斷ニ依ル
- 阿片吸食ノ許可ヲ與フルトキハ之ニ一日ノ吸食定量ヲ指定シ吸煙證ヲ下付ス
- 第五條 阿片又ハ阿片吸食器具ハ之ヲ輸移人シ又ハ輸移出スルコトヲ得ス但シ官ニ於テ製藥又ハ阿片癮者救療ノ爲必要ナル生阿片ヲ輸移入スル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第六條 生阿片ノ賣下又ハ交付ハ官ニ於テ之ヲ行フモノトス
- 第七條 阿片又ハ阿片吸食器具ハ關東長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ製造シ、賣買シ、授受シ、所有シ又ハ所持スルコトヲ得ス、但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 一 阿片小賣人カ阿片煙膏若ハ阿片吸食器具ヲ製造シ又ハ生阿片、阿片煙膏若ハ阿片吸食器具ヲ賣

買シ、授受シ、所有シ若ハ所持スルトキ

二 阿片吸食ノ許可ヲ受ケタル阿片癮者カ生阿片、阿片煙膏若ハ阿片吸食器具ヲ讓受ケ又ハ所有シ若ハ所持スルトキ

三 製藥者カ製藥ノタメ生阿片ヲ讓受ケ又ハ之ヲ所有シ若ハ所持スルトキ

第八條 阿片煙灰ハ官ニ於テ買上クル場合ヲ除クノ外之ヲ賣買スルコトヲ得ス

第九條 阿片煙館ハ之ヲ開設シ又ハ維持スルコトヲ得ス

第十條 阿片ヲ製造スル目的ヲ以テ罌粟ヲ栽培スルコトヲ得ス

第十一條 阿片小賣人ハ關東長官ニ於テ必要ニ依リ之ヲ指定ス

第十二條 阿片小賣人又ハ阿片買入ノ許可ヲ受ケタル製藥者ニシテ阿片ヲ要スルトキハ關東應專賣局ヨリ之カ賣下ヲ受クヘシ

學校、研究所又ハ試験所ニ於テ學術試驗用トシテ阿片ヲ必要トスルトキハ關東應專賣局ニ於テ無償

ヲ以テ交付スルコトアルヘシ

第十三條 阿片吸食ノ許可ヲ受ケタル者ハ吸煙證ヲ提示シテ阿片小賣人ヨリ阿片又ハ阿片吸食器具ヲ讓受ケルコトヲ得、但シ旅行其ノ他己ムヲ得サル事由ニ依リ所轄警察官署ノ許可ヲ得タル場合ヲ除クノ外吸食定量ノ十日分以上ノ阿片ヲ讓受クルコトヲ得ス

第十四條 阿片小賣人ハ吸煙證ヲ所持セサル者ニ阿片若ハ阿片吸食器具ヲ讓渡シ又ハ前條但書ノ制限ヲ超エテ阿片ヲ讓渡スコトヲ得ス

阿片ノ小賣ハ現金以テ之ヲ爲スヘシ

第十五條 阿片小賣人本籍、住所、氏名ヲ變更シ又ハ廢業シ若ハ死亡シタルトキハ十日内ニ本人又ハ其ノ家族ヨリ關東長官ニ届出ツヘシ

第十六條 阿片小賣人ハ阿片又ハ阿片吸食器具ノ買受帳及賣渡帳ヲ備フヘシ

阿片又ハ阿片吸食器具ノ買受帳ニハ買受ケノ都度其ノ種類、數量、價格、年月日ヲ明確ニ記載スヘシ

阿片又ハ阿片吸食器具ノ賣渡帳ニハ賣渡ノ都度其ノ種類、數量、價格、年月日及買受人ノ住所、氏名、年齢其ノ他特ニ關東長官ノ命シタル事項ヲ明確ニ記載スヘシ

前二項ノ帳簿ハ五年間之ヲ保存スヘシ

第十七條 阿片小賣人ハ阿片又ハ阿片吸食器具ノ受拂ニ付毎月五日迄ニ其ノ前月分ヲ所轄警察署ニ報告スヘシ

第十八條 阿片小賣人又 製造者カ其ノ指定若ハ其ノ許可ヲ取消サレ又ハ廢業シ若ハ死亡シタルトキハ殘餘阿片又ハ片片吸食器具ノ處分方法ニ付當該事實發生ノ日ヨリ十日内ニ關東長官ノ許可ヲ受ク

ヘシ

前項ノ手續ハ本人死亡ノ場合ニ於テハ其ノ相續人又ハ其ノ家族ヨリ之ヲ爲スヘシ

第十九條 關東長官ハ當該官吏ヲシテ阿片小賣所ニ臨檢セシムルコトアルヘシ

第二十條 阿片小賣人ハ其ノ業務ニ關シ關東長官ノ命シタル事項ヲ遵守スヘシ

第二十一條 阿片小賣人ハ本令ニ基キテ發スル命令若ハ處分ニ違反シ又ハ業務上不正ノ行爲アリタルトキハ其ノ業務ヲ停止シ若ハ指定ヲ取消スコトアルヘシ

第二十二條 本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令若ハ處分ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第二十三條 阿片小賣人又ハ製藥者ニシテ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本令ノ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス

第二十四條 阿片小賣人又ハ製藥者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本令ノ規定ニ違反シタル者アルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十五條 本令ノ罰則ハ法人ニ在リテハ之ヲ其ノ代表者ニ適用ス

附 則

本令ハ昭和 年 月 日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十年三月

第六回委員會報告

秘

阿片委員會

議事速記録

會長代理(大森委員) 會長ガ議會デ差支ガゴザイマシテ、私代リマシテ此ノ席ヲ汚シマス、御多忙ノ際御集リヲ戴キマシテ有難ウゴザイマス、之レヨリ開會致シマシテ、拓務大臣ヨリ提出セラレマシタ朝鮮麻藥取締合案ヲ附議致シマシテ、答申ヲ得タイト存ジマス、拓務省ノ方カラ御説明ガゴザイマセウカラ、ドウゾ……、御手許ニ案ハ揃ツテ居リマセウカラ、拓務次官カラ御説明ヲ願ヒマス

入江委員 本日朝鮮ノ麻藥取締合ヲ提案致シマシテ、其ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、此度朝鮮總督府ニ於キマシテ、制令ヲ以テ麻藥取締合ヲ制定致シタイト存ジテ居リマスニ付キマシテ、阿片委員會ノ官制ニ基キマシテ、豫メ御審議ヲ煩ハシタイト存ジマス、朝鮮ニ於キマシテ麻藥類中毒者ガ發生シテ居リマスル狀況ヲ見マスルト、年々増加ノ傾向ヲ迪ツテ居リマス、當局ト致シマシテハ極力不正賣買ノ取締及ビ中毒者ノ救済ニ努力シテ居リマスルガ、昭和八年末ニ於キマシテハ中毒者ノ數ガ實ニ四千六百二十八人ト云フ多數ニ達シテ居リマス、而モ尙ホ隠レテ居リマスル中毒者ノ數ヲ加ヘマスルト、恐ラクハ之レノ倍數、八九千人ニ達スルモノト推定サレテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク中毒者ノ増加ヲ來シマシタ原因ハ、麻藥ノ不正取引ガ主モナル原因デアリマシテ、現行法令ノ制裁ヲ輕視シ、又ハ豫期シテ犯罪ヲ敢テ犯スヤウナ者ガ多イノデアリマス、之レガ爲ニ益々新タ

ナル中毒者ガ發生シテ居ルヤウナ狀態デアリマス、加之近頃支那及ビ滿洲方面ニ於キマシテハ麻藥製造工場ガ澤山出來マシテ、之等ノモノガ密賣者ト共ニ非常ニ跋扈シテ居リマシテ、之ガ爲ニ中毒者ハ驚クベキ増加ヲ來シテ居ルヤウナ次第デアリマス、若シ今日ノ儘デ放任シテ置キマスルト、將來益々麻藥ノ濫用ノ弊害ヲ朝鮮内ニ蔓延セシムル虞ガアリマスノデ、此ノ點ヲ慮ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ又國際間ニ於キマシテモ阿片及ビ麻藥類ノ濫用ニ依ル弊害ガ益々大キイノヲ認メマシテ、之ガ防止ノ爲ニ一九二四年ノ「ジュネーヴ」ニ於ケル阿片會議ガ開催サレマシテ、第二阿片條約ト云フモノヲ締結サル、ニ至ツタノデアリマス、昭和三年ニ此ノ條約ガ批准セラレマシテ、次デ昭和六年ニ「ジュネーヴ」ニ於テ麻藥ノ製造制限及分配取締ニ關スル會議ガ又開催サレマシタノデアリマス、其ノ際新シク條約案ノ審議ヲ見マシテ、更ニ各種報告等ニ關スル協定ガ協議サレマシテ、此ノ協定ハ既ニ各國ノ間ニ於キマシテ其ノ履行ヲ見ツ、アルノデ、是ハ既ニ皆様御承知ノ通りデアリマスガ、之等ノ條約ニ基ク義務ノ履行及ビ前ニ述ベマシタ特殊ナ朝鮮ニ於ケル事情ヲ考慮致シマス、現行ノ朝鮮總督府令ヲ以テ取締ツテ居リマスル法令デハ甚ダ不備ナ點ガアリマスルノデ、今回制令ヲ以テ取締規則ヲ制定致シマシテ、之等ノ中毒者ノ根絶ヲ期シ、併セテ條約ニ基ク義務ヲ履行シタイト云フコトニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、大體提案致シマシタ趣旨ハ以上ノ通りデアリマシテ、詳細ナルコトハ各條ニ付テ御質疑ニ依リマシテ御説明申上ゲルコトニ致

シタイト存ジマス、何卒慎重御審議ノ上、適當ナル御決議アランコトヲ希望致シマス。

會長代理(大森委員) 御質疑ヲドウゾ……………

入江委員 法案ノ極ク大體ノ内容ヲ御説明申上ゲルコトニ致シマセウ

會長代理(大森委員) サウデスネ、大體簡明ニ一ツ御願ヒ致シマセウ、皆様其ノ方ガ宜シウゴザイマスカ

〔「賛成」ト呼ブ者アリ〕

會長代理(大森委員) ソレデハサウ願ヒマス

入江委員 ソレデハ一ツ、朝鮮ノ方カラ衛生課長ガ出テ居リマスカラ、説明致サセマス

會長代理(大森委員) ドウゾ簡單ニ……………

西亀衛生課長(朝鮮總督府警務局) 此ノ制令案ノ内容ハ、大體内地ノ現在ノ麻藥取締規則ニ倣ツテ居ルノデアリマスルガ、ソレト違ヒマスル點ハ、第一ガ違反者ニ對スル制裁ヲ重ク致シタト云フコトデゴザイマス、第二ハ朝鮮ニ於キマシテハ麻藥類、「モルヒネ」、「ヘロイン」ノ專賣ヲヤツテ居リマスルノデゴザイマスルガ、從來此ノ專賣ニ對スル明文ガゴザイマセヌノデ、此ノ法令ノ中ニ此ノ規定ヲ設ケタト云フコトガ違ツテ居リマス、此ノ法令ノ中デ最モ問題トナリマスルノハ、違反ニ對スル制裁ガ特ニ重クナツタト云フ點デゴザイマスルガ、併シ朝鮮ノ麻藥類濫用ト中毒者發生ノ現狀

ニ鑑ミマシテ、現行ノ府令程度ノ處罰デハ到底徹底シタル取締ヲスルコトガ出來ナイ、デ此ノ問題ハ從來朝鮮各道ノ知事、警察部長、司法關係、道會議、其ノ外一般カラモ現在ノ制裁ノ程度ヲ更ニ々々重クシテ貰ハナケレバナラスト云フ熱心ナ要望ガアルノデゴザイマス、他ノ法令トノ關係デゴザイマスルガ、臺灣ノ律令阿片令ニ依リマシテハ、違反ノ處罰ノ最大限度ハ矢張り此ノ法令ノ程度ト同ジデゴザイマシテ、不正ノ輸移出入、製造等ニ關シマシテハ五年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處スルト云フコトニナツテ居リマスルシ、又阿片吸食器具ヲ密輸出入シ又ハ製造シタル者ニ對シマシテハ、三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處スルコトニナツテ居リマス、朝鮮ニ於キマスル麻藥ノ弊害ノ状態ハ恰モ臺灣ニ於ケル阿片ト同様、或ハソレ以上ノ状態ニアルノデアリマスノ濫用ニ關スル弊害ト云フモノハ非常ナモノデゴザイマシテ、此ノ意味カラ致シマシテモ特ニ重キ制裁ヲ以テ臨マナケレバナリマセヌ、ソレカラ又國際聯盟ニ於キマシテモ現在ノ制裁ノ規定デハ餘リ輕ニ過ギルカラ、モウ少シ重クシロト云フコトガ向フノ希望デゴザイマス、又外國ノ制裁ノ程度ヲ見マシテモ、何レモ之ヨリ輕クナツテ居ラヌノデゴザイマス、斯ウ云フ事情カラ致シマシテ、現在此ノ程度ノ重キ處罰ヲ以テ取締ノ徹底ヲ期シナケレバ、將來困ル時機ガ來ル虞ガアリマスルノデ、斯ウ云フ意味カラ特ニ此ノ麻藥類ノ密輸出入、不正ノ製造ニ對シマシテハ五千圓以下ノ罰金

又ハ五年以下ノ懲役、ソレカラ又國內ノ不正賣買ニ對シマシテハ二年以下ノ懲役、二千圓以下ノ罰金刑ヲ以テ臨ンダ譯デゴザイマス、其ノ外先刻拓務次官カラ御話ガゴザイマシタ國際間ノ取締ニ關スル規定ガ現行法ニハゴザイマセヌノデ、是ハ必シモ制令ニシナケレバナラヌカドウカト云フコトハ問題デゴザイマスルケレドモ、之ニ關スル條項ヲ加ヘルト云フコトガ改正ノ主モナ要點デゴザイマス、尙ホ又朝鮮ノ麻藥濫用中毒者發生ノ色々ノ實情ニ付キマシテ少シク申上ゲレバ、以上申上ゲマシタル規定ノ重キヲ設ケタル理由ガ御諒解ニナルコトト思ヒマスルケレドモ、時間ノ都合デ、御多忙ノコト、存ジマスカラ、コレハ御尋ネガゴザイマスレバ、御答ヲ致シマス、尙ホ今申上ゲマシタル色々ノ事情ノ中デ、特ニ麻藥類中毒者ト犯罪トノ關係ヲ簡單ニ申上ゲテ見タイト存ジマス、昭和七、八年、此ノ二ケ年ニ麻藥類ノ法令違反ノ爲ニ處罰ヲ受ケマシタモノハ六千四百人餘リゴザイマス、尙ホ此ノ外ニ微罪不檢舉、或ハ又警察ノ方ニ知レナイ所ノ小サナ麻藥ノ犯罪ニ至リマシテハ、コレハ非常ニアルコトト考ヘテ居リマス、コレハ麻藥ノ法令違反ニ關スル犯罪デゴザイマスルケレドモ、中毒者トナリマシタル者ガ段々自分ノ資産ヲ蕩盡シ、遂ニハ恰モ乞食ノヤツナ風ニナツテ仕舞ヒマシテ、ソレデモ矢張り麻藥ヲ購入シナケレバナリマセスガ爲ニ、色々ナ搔拂ヒダトカ、詐欺ダトカ、横領ダトカ、竊盜ダトカ、色々ノ犯罪ヲヤツテ居ルノデゴザイマス、或ル警察デ調べマシタ所ニ依リマス、一ケ年ノ犯罪件數八百餘件ノ中ニ、麻藥ニ關スル犯罪ガ百三十餘件、全件數ノ

一割七分ニ當ツテ居リマス、ソレカラ又内地ニ參ツテ居リマスル朝鮮人ノ間ニ近頃中毒者ガ非常ニ殖エテ居ルノデゴザイマシテ、例ヘバ東京ニ於キマシテ約五萬人ノ中ニ推定三千人ノ中毒者ガアリ、大阪二十四、五萬人居リマスル中ニモ同數位ノ中毒者ガアリ、其ノ他神戸、横濱其ノ他ノ都市ニ居リマスル朝鮮人ノ中ニモ此ノ中毒者ガ少クナイノデアリマス、四十五、六萬人ノ中ニ約一萬人位アリト云フ推定デゴザイマスルガ、斯ウ云フ中毒者ガ居住シテ居ル周圍ニハ先刻申上ゲタヤウナ色々ノ犯罪ヲ起シマスルガ爲ニ、其ノ居住シテ居リマスル周圍ノ人々ハ非常ナ迷惑ヲ蒙ツテ居ル有様デゴザイマシテ、他ノ善良ナル朝鮮人マデガ疑ノ眼ヲ以テ見ラレルト云フ面白クナイ現象ヲ呈シテ居ル、コレハ内地ノコトデゴザイマスルケレドモ、内地ニ於キマシテモ此ノ麻藥類ノ中毒者ト云フモノハ相當アルノデアリマス、確カナル數字ハ解ツテ居リマセスケレドモ、此ノ方ニ關係シテ居ル人ノ調査シタ報告ニ依リマスルト、恐ラクハ二萬近クアルデアラウ、併シナガラ朝鮮ト事情ガ違ヒマス、其ノ爲ニ朝鮮ニ於ケル中毒者ノ如ク治安上ニ障害ヲ及ボスコトガナイカラシテ、内地ニ於テハ朝鮮ニ於ケルガ如ク社會的問題ニナツテ居ナイデアラウト考ヘマスガ、併シ内地ノ下層勞働者ノ中ニモ近頃相當中毒者ガ殖エテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスルノデ、之等ハ更ニ徹底シタ取締ヲ要スルノデナカラウカト考ヘルノデゴザイマス。

會長代理(大森委員) 御質問、若クハ御意見ヲ此ノ際ドウゾ願ヒマス。

津島委員 此ノ訓ヲ重クスルト云フコト、ソレカラ行政上ノ取締ノ機關、取締ノ機關ト云フノハ役人ヲ増加スルト云フヤウナ、コレハ實行上ノ問題デスガ、サウ云フコトハ御考ヘニナツテ居リマスカ。

西龜衛生課長 別ニ計畫ハゴザイマセス。

津島委員 特別ナ經費ガ之レガ爲ニ要ルト云フヤウナコトハ先ヅナイ譯デゴザイマスカ。

西龜衛生課長 今ノ所ゴザイマセス。

栗山委員 此ノ問題ニ關聯致シマシテ外務省側ノ希望ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、最近國際聯盟ノ方面ニ於キマシテ、日本ノ麻藥取締規則ノ罰則ガ輕キニ失スルト云フ聲ヲ頻リニ聞クノデアリマス、此ノ折柄朝鮮總督府ノ御當局ガ、現在ノ總督府令ニ依ル取締ノ不徹底ヲ御認メニナリマシテ、制令ヲ以テ臨マル、ニ至ツタコトハ、私共カラ見マシテ誠ニ機宜ニ適シタル御措置ト存ジテ居リマスルニ依ツテ、外務省側ト致シマシテハ之ニ欣然賛成ヲ致ス次第デアリマス。朝鮮ハ麻藥ニ關シマシテハ内地及ビ其ノ他ノ植民地トハ違ツタ特殊ノ事情ガアリマスルノデ、斯ウ云フ御處置ヲ執ルニ至ツタコトト考ヘルノデアリマスガ、内地及ビ其ノ他ノ植民地御當局ニ於カレテモ、麻藥中毒者ノ發生防遏ト云フ衛生的見地ノミデナク、麻藥ノ不正取引取締ト云フ見地カラ致シマシテモ、現在ノ取締規定ガ果シテ十分ナモノデアルカドウカト云フコトヲ篤ト御研究ヲ願ヒタイト思フノデアリマス。

ス、サウシテ若シソレガ不十分デアルト云フコトヲ御認メニナリマシタナラバ、此ノ朝鮮總督府ノ先例ニ倣ハレンコトヲ希望スル次第デアリマシテ、殊ニ關東州デハ支那ト滿洲トヲ控ヘテ、麻藥ノ密製造、密取引ガ最近可成リ多クナリツ、アル傾向ガアルト云フヤウニ聞及ンデ居ルノデアリマスガ、果シテ左様ナコトデアリマスレバ、現在ノ關東廳令ヲ一段進メテ、例ヘバ勅令ト云フヤウナ形ニセラレテ、罰則ノ程度ヲ引上グルト同時ニ、取締ノ徹底ヲ期スルト云フ風ニセラレル必要ガアルノデハナイカト竊ニ考ヘテ居ル次第デアリマス。只今申上ゲマシタコトハ外務省側ノ希望デアリマシテ、此ノ席デ直チニ御關係ノ向キカラ別ニ御説明ヲ承ルト云フ趣旨デハナイノデゴザイマスケレドモ、外務省側ト致シマシテハ本案ニ御賛成ヲ致シマス同時ニ、只今申上ゲタヤウナ希望ヲ申述べテ置キタイト思ヒマス。

西龜衛生課長 尙ホ一言申述べテ置キマスガ、朝鮮ニ現在ノ如ク多數ノ麻藥中毒者ガ發生致シテ居リマスル其ノ因ハ、鮮外カラ朝鮮ニ不正ニ輸移入サレル所ノ麻藥ニ依ルノデアリマス、斯ノ如ク不正ニ流レ込ミマシタル麻藥ヲ、其ノ次ノ小賣的ノ密賣者ガ鮮内ニ之ヲ撒布致スト云フ關係デアリマシテ、之等ノ不正ノ取引者ハ現在ノ程度ノ處罰ト云フモノハ殆ド問題ニシナイデ、法ノ制裁ヲ受ケルコトヲ覺悟シテ犯罪ヲ重ネ々々ヤツテ居ルヤウナ状態デゴザイマス、ズツト以前ニ朝鮮ニ來マスル麻藥ノ元ハ、主トシテ内地、殊ニ大阪方面カラ鮮内ノ密賣者ト不正ノ商人トガ連絡ヲ執リマシテ、

極メテ巧妙ナル手段ヲ以テ朝鮮ニ入レテ居ツタノデゴザイマスガ、關係當局トノ協力ニ依リマシテ、之等ノ内地カラノ不正輸移入ハ餘程減少致シテ居ルノデアリマス、所ガ先刻御話ガゴザイマシタ如ク滿洲ニ於ケル麻薬ノ密工場ノ簇出、此ノ不正ノ賣捌ト云フモノハ想像以上ノモノデゴザイマシテ、最近ニ至リマシテハ滿洲方面ト連絡ヲ執ツテ鮮内ニ斯カル不正ノ密輸入ヲ企テルモノガ相當アルノデアリマス、一、二年前ニ既ニ數件相當大キイモノヲ檢舉致シテ居ルノデアリマスガ、之等モ此ノ處罰ガ極メテ輕イガ爲ニ、矢張り此ノ犯罪ヲ敢行スルノデゴザイマス、德斯ウ云フ意味カラ致シマシテモ重刑ヲ以テ臨マネバナラスト云フ現狀ニアルノデゴザイマス

會長代理(大森委員) 御意見ハ如何デゴザイマスカ、逐條デ致シマセンデ一括シテ御審議ヲ願ツテ居リマスカラ、御異議ガゴザイマセヌケレバ原案通り決定ヲ致シタイト存ジマス、如何デゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

會長代理(大森委員) 御異議ナイモノト認メマシテ左様ニ決定ヲ致シマス、之ニテ閉會ヲ致シマス、御苦勞様デゴザイマシタ

午後二時四十三分 散 會

議案

朝鮮麻藥取締令案

- 第一條 本令ニ於テ麻藥ト稱スルハ左ノ各號ニ掲グル物ヲ謂フ
- 一 モルヒネ及デアセチルモルヒネ其ノ他ノモルヒネエステル竝ニ其ノ鹽類
 - 二 粗製モルヒネ、コカ葉及粗製コカイン
 - 三 エクゴニン（比旋光度ノ如何ヲ問ハズ）及コカイン其ノ他ノエクゴニンエステル竝ニ其ノ鹽類
 - 四 デヒドロオキシコデイン、デヒドロコデイン、デヒドロモルヒノン、アセチルデヒドロコデイン、デヒドロモルヒネ及其ノエステル竝ニ其ノ鹽類
 - 五 コデイン、エチルモルヒネ、ベンジルモルヒネ其ノ他ノモルヒネエーテル及其ノ鹽類
 - 六 モルヒネエスオキシド其ノ他ノ五價窒素モルヒネ及其ノ誘導體
 - 七 デヒドロコデイン、テバイン及其ノ鹽類
 - 八 モルヒネ、モルヒネエステル（デアセチルモルヒネヲ除ク）若ハモルヒネエーテル（コデインヲ除ク）ヲ千分中二分以上檢出シ又ハデアセチルモルヒネヲ檢出スル物

九 エクゴニン又ハコカイン其ノ他ノエクゴニンエステルヲ千分中一分以上検出スル物
 十 チヒドロオキシコデイン、チヒドロコデイン、チヒドロモルヒノン、アセチルチヒドロコ
 デイン、チヒドロモルヒネ若ハ其ノエステル又ハ五價窒素モルヒネ若ハ其ノ誘導體ヲ千分中二
 分以上検出スル物

十一 印度大麻草、其ノ樹脂及之ヲ含有スル物

十二 朝鮮總督ノ指定スル物

前項第一號乃至第十一號ニ該當スル物ニシテ朝鮮總督ノ指定スルモノニ付テハ本令ヲ適用セズ

第二條 本令ニ於テ醫業者ト稱スルハ醫師、醫生、齒科醫師及獸醫師ヲ謂ヒ藥業者ト稱スルハ藥劑
 師、藥種商及製藥者ヲ謂フ

第三條 朝鮮總督ノ指定スル麻藥ハ政府ノ外之ヲ製造、輸入又ハ移入スルコトヲ得ズ

前項ノ規定ハ學術研究ノ用ニ供スル爲朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ之ヲ適用セズ

第四條 前條第一項ニ規定スル麻藥ハ朝鮮總督ノ指定スル麻藥元賣捌人ニ之ヲ賣下グ

官廳、官公立ノ病院若ハ學校又ハ道ハ前條第一項ニ規定スル麻藥ノ賣下又ハ交付ヲ受クルコトヲ得

第五條 麻藥ヲ輸出若ハ移出シ又ハ第三條第一項ニ規定スル麻藥以外ノ麻藥ヲ製造、輸入若ハ移入
 セントスル者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第六條 外國貨物タル麻藥ヲ陸揚、積換、積戻又ハ運送セントスル者ハ税關手續ヲ爲ス際送荷ニ添
 送セル輸出許可證又ハ轉向證明書ノ謄本ヲ税關長ニ提示スベシ外國貨物タル麻藥ヲ通過セシメント
 スル者亦同ジ

前項ノ規定ハ郵便ニ依ル輸送ニハ之ヲ適用セズ

第一項ノ麻藥ハ其ノ輸出許可證又ハ轉向證明書ノ謄本ニ記載シタル仕向地ト異ナル場所ニ輸送シ又
 ハ税關長ノ許可ヲ受ケズシテ荷造ノ變更其ノ他ノ操作ヲ爲スコトヲ得ズ

第七條 麻藥ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ヲ除クノ外之ヲ讓渡シ又ハ讓受クルコトヲ得ズ

一 醫業者ガ診療ノ爲又ハ藥劑師ガ醫業者ノ處方箋ニ依リ患者又ハ家畜ノ所有者若ハ保管者ニ讓渡
 ス場合

二 麻藥元賣捌人又ハ藥業者ヨリ醫業者、藥業者又ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ學術研究ノ用ニ供
 スル爲若ハ業務上麻藥ヲ必要トスル者ニ讓渡ス場合

三 麻藥元賣捌人又ハ藥業者ヨリ官廳、官公立ノ病院若ハ學校又ハ道ニ讓渡ス場合

第八條 麻藥元賣捌人、醫業者、藥業者又ハ業務上麻藥ヲ必要トスル者死亡シ、廢業シ其ノ他業務
 ヲ繼續スルコト能ハザルニ至リタルトキノ麻藥ノ處分ニ付テハ朝鮮總督之ヲ定ム

第九條 當該官吏取締上必要アリト認ムルトキハ工場、店舖、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ麻藥、帳簿、書類其ノ他ノ物件ノ検査又ハ取締上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ證票ヲ携帶スベシ

第十條 朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル所ニ依リ麻藥ノ製造、輸入、移入、輸出若ハ移出ヲ禁止若ハ制限シ又ハ其ノ許可若ハ第四條第一項ノ指定ヲ取消スコトヲ得

第十一條 朝鮮總督ハ本令ニ規定スル其ノ職權ノ一部ヲ道知事ニ委任スルコトヲ得

第十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一 第三條第一項ノ規定ニ違反シタル者
 - 二 許可ヲ受ケズシテ麻藥ヲ輸出又ハ移出シタル者
 - 三 許可ヲ受ケズシテ第三條第一項ニ規定スル麻藥以外ノ麻藥ヲ製造、輸入又ハ移入シタル者
 - 四 第十條ノ規定ニ依ル禁止又ハ制限ニ違反シテ麻藥ヲ製造、輸入、移入、輸出又ハ移出シタル者
- 前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十三條 第七條ノ規定ニ違反シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

- 一 許可ヲ受ケズシテ學術研究ノ用ニ供スル爲麻藥ヲ製造、輸入又ハ移入シタル者
- 二 輸出許可證若ハ轉向證明書ノ謄本ヲ税關長ニ提示セズシテ外國貨物タル麻藥ノ陸揚積換積戻運送ヲ爲シ若ハ之ヲ通過セシメタル者又ハ第六條第三項ノ規定ニ違反シタル者
- 三 第九條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ臨檢若ハ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ其ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シ其ノ他當該官吏ノ爲シタル處分ニ違反シタル者
- 第十五條 第十二條、第十三條又ハ前條第一號ノ場合ニ於テ犯人以外ノ者ニ屬セザル麻藥ハ之ヲ沒收ス犯人ノ消費シ又ハ讓渡シタルトキハ其ノ價格ニ相當スル金額ヲ追徵ス犯人以外ノ者ニ屬スル麻藥ハ行政官廳ノ處分ヲ以テ之ヲ沒取スルコトヲ得

第十六條 醫業者又ハ藥業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第十七條 本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル罰則ヲ適用スベキ者法人ナルトキハ理事、取締役、其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附 則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

本令施行ノ際必要ナル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

理 由

朝鮮ニ於ケル麻藥取締ノ徹底ヲ圖リ以テ麻藥類中毒者ノ根絶ヲ期スルノ必要アルニ由ル

昭和十年三月

第六回委員會報告

秘

阿片委員會

議事速記録

會長代理(大森委員) 會長ガ議會デ差支ガゴザイマシテ、私代リマシテ此ノ席ヲ汚シマス、御多忙ノ際御集リヲ戴キマシテ有難ウゴザイマス、之レヨリ開會致シマシテ、拓務大臣ヨリ提出セラレマシタ朝鮮麻藥取締令案ヲ附議致シマシテ、答申ヲ得タイト存ジマス、拓務省ノ方カラ御説明ガゴザイマセウカラ、ドウゾ……、御手許ニ案ハ揃ツテ居リマセウカラ、拓務次官カラ御説明ヲ願ヒマス

入江委員 本日朝鮮ノ麻藥取締令ヲ提案致シマシテ、其ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、此度朝鮮總督府ニ於キマシテ、制令ヲ以テ麻藥取締令ヲ制定致シタイト存ジテ居リマスニ付キマシテ、阿片委員會ノ官制ニ基キマシテ、豫メ御審議ヲ煩ハシタイト存ジマス、朝鮮ニ於キマシテ麻藥類中毒者ガ發生シテ居リマスル狀況ヲ見マスルト、年々増加ノ傾向ヲ辿ツテ居リマス、當局ト致シマシテハ極力不正賣買ノ取締及ビ中毒者ノ救療ニ努力シテ居リマスルガ、昭和八年末ニ於キマシテハ中毒者ノ數ガ實ニ四千六百二十八人ト云フ多數ニ達シテ居リマス、而モ尙ホ隠レテ居リマスル中毒者ノ數ヲ加ヘマスルト、恐ラクハ之レノ倍數、八九千人ニ達スルモノト推定サレテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク中毒者ノ増加ヲ來シマシタ原因ハ、麻藥ノ不正取引ガ主ナル原因デアリマシテ、現行法令ノ制裁ヲ輕視シ、又ハ豫期シテ犯罪ヲ敢テ犯スヤウナ者ガ多イノデアリマス、之レガ爲ニ益々新タ

ナル中毒者ガ發生シテ居ルヤウナ狀態デアリマス、加之近頃支那及ビ滿洲方面ニ於キマシテハ麻藥製造工場ガ澤山出來マシテ、之等ノモノガ密賣者ト共ニ非常ニ跋扈シテ居リマシテ、之ガ爲ニ中毒者ハ驚クベキ増加ヲ來シテ居ルヤウナ次第デアリマス、若シ今日ノ儘デ放任シテ置キマスルト、將來益々麻藥ノ濫用ノ弊害ヲ朝鮮内ニ蔓延セシムル虞ガアリマスノデ、此ノ點ヲ慮ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ又國際間ニ於キマシテモ阿片及ビ麻藥類ノ濫用ニ依ル弊害ガ益々大キイノヲ認メマシテ、之ガ防止ノ爲ニ一九二四年ノ「ジュネーヴ」ニ於ケル阿片會議ガ開催サレマシテ、第二阿片條約ト云フモノヲ締結サル、ニ至ツタノデアリマス、昭和三年ニ此ノ條約ガ批准セラレマシテ、次デ昭和六年ニ「ジュネーヴ」ニ於テ麻藥ノ製造制限及分配取締ニ關スル會議ガ又開催サレマシタノデアリマス、其ノ際新シク條約案ノ審議ヲ見マシテ、更ニ各種報告等ニ關スル協定ガ協議サレマシテ、此ノ協定ハ既ニ各國ノ間ニ於キマシテ其ノ履行ヲ見ツ、アルノデ、是ハ既ニ皆様御承知ノ通りデアリマスガ、之等ノ條約ニ基ク義務ノ履行及ビ前ニ述べマシタ特殊ナ朝鮮ニ於ケル事情ヲ考慮致シマスト、現行ノ朝鮮總督府令ヲ以テ取締ツテ居リマスル法令デハ甚ダ不備ナ點ガアリマスルノデ、今回制令ヲ以テ取締規則ヲ制定致シマシテ、之等ノ中毒者ノ根絶ヲ期シ、併セテ條約ニ基ク義務ヲ履行シタイト云フコトニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、大體提案致シマシタ趣旨ハ以上ノ通りデアリマシテ、詳細ナルコトハ各條ニ付テ御質疑ニ依リマシテ御説明申上ゲルコトニ致

シタイト存ジマス、何卒慎重御審議ノ上、適當ナル御決議アランコトヲ希望致シマス。

會長代理(大森委員) 御質疑ヲドウゾ……

入江委員 法案ノ極ク大體ノ内容ヲ御説明申上ゲルコトニ致シマセウ

會長代理(大森委員) サウデスネ、大體簡明ニ一ツ御願ヒ致シマセウ、皆様其ノ方ガ宜シウゴザイマ

スカ

〔「賛成」ト呼ブ者アリ〕

會長代理(大森委員) ソレデハサウ願ヒマス

入江委員 ソレデハ一ツ、朝鮮ノ方カラ衛生課長ガ出テ居リマスカラ、説明致サセマス

會長代理(大森委員) ドウゾ簡單ニ……

西亀衛生課長(朝鮮總督府警務局) 此ノ制令案ノ内容ハ、大體内地ノ現在ノ麻藥取締規則ニ倣ツテ居ルノデアリマスルガ、ソレト違ヒマスル點ハ、第一ガ違反者ニ對スル制裁ヲ重ク致シタト云フコトデゴザイマス、第二ハ朝鮮ニ於キマシテハ麻藥類、「モルヒネ」、「ヘロイン」ノ專賣ヲヤツテ居リマスルノデゴザイマスルガ、從來此ノ專賣ニ對スル明文ガゴザイマセヌノデ、此ノ法令ノ中ニ此ノ規定ヲ設ケタト云フコトガ違ツテ居リマス、此ノ法令ノ中デ最モ問題トナリマスルノハ、違反ニ對スル制裁ガ特ニ重クナツタト云フ點デゴザイマスルガ、併シ朝鮮ノ麻藥類濫用ト中毒者發生ノ現狀

ニ鑑ミマシテ、現行ノ府令程度ノ處罰デハ到底徹底シタル取締ヲスルコトガ出來ナイ、デ此ノ問題ハ從來朝鮮各道ノ知事、警察部長、司法關係、道會議、其ノ外一般カラモ現在ノ制裁ノ程度ヲ更ニ々々重クシテ貫ハナケレバナラヌト云フ熱心ナ要望ガアルノデゴザイマス、他ノ法令トノ關係デゴザイマスルガ、臺灣ノ律令阿片令ニ依リマシテハ、違反ノ處罰ノ最大限度ハ矢張り此ノ法令ノ程度ト同ジデゴザイマシテ、不正ノ輸移出入、製造等ニ關シマシテハ五年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處スルト云フコトニナツテ居リマスルシ、又阿片吸食器具ヲ密輸出入シ又ハ製造シタル者ニ對シマシテハ、三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處スルコトニナツテ居リマス、朝鮮ニ於キマスル麻藥ノ弊害ノ状態ハ恰モ臺灣ニ於ケル阿片ト同様、或ハソレ以上ノ状態ニアルノデアリマス朝鮮ニ於キマシテハ阿片ニ關スル弊害ト云フモノハ割合ニ少イノデゴザイマスルケレドモ、麻藥ノ濫用ニ關スル弊害ト云フモノハ非常ナモノデゴザイマシテ、此ノ意味カラ致シマシテモ特ニ重キ制裁ヲ以テ臨マナケレバナリマセヌ、ソレカラ又國際聯盟ニ於キマシテモ現在ノ制裁ノ規定デハ餘リ輕ニ過ギルカラ、モウ少シ重クシロト云フコトガ向フノ希望デゴザイマス、又外國ノ制裁ノ程度ヲ見マシテモ、何レモ之ヨリ輕クナツテ居ラヌノデゴザイマス、斯ウ云フ事情カラ致シマシテ、現在此ノ程度ノ重キ處罰ヲ以テ取締ノ徹底ヲ期シナケレバ、將來困ル時機ガ來ル虞ガアリマスルノデ、斯ウ云フ意味カラ特ニ此ノ麻藥類ノ密輸移出入、不正ノ製造ニ對シマシテハ五千圓以下ノ罰金

又ハ五年以下ノ懲役、ソレカラ又國內ノ不正賣買ニ對シマシテハ二年以下ノ懲役、二千圓以下ノ罰金刑ヲ以テ臨ンダ譯デゴザイマス、其ノ外先刻拓務次官カラ御話ガゴザイマシタ國際間ノ取締ニ關スル規定ガ現行法ニハゴザイマセヌノデ、是ハ必シモ制令ニシナケレバナラヌカドウカト云フコトハ問題デゴザイマスルケレドモ、之ニ關スル條項ヲ加ヘルト云フコトガ改正ノ主モナ要點デゴザイマス、尙ホ又朝鮮ノ麻藥濫用中毒者發生ノ色々ノ實情ニ付キマシテ少シク申上ゲレバ、以上申上ゲマシタル規定ノ重キヲ設ケタル理由ガ御諒解ニナルコトト思ヒマスルケレドモ、時間ノ都合デ、御多忙ノコト、存ジマスカラ、コレハ御尋ネガゴザイマスレバ、御答ヲ致シマス、尙ホ今申上ゲマシタル色々ノ事情ノ中デ、特ニ麻藥類中毒者ト犯罪トノ關係ヲ簡單ニ申上ゲテ見タイト存ジマス、昭和七、八年、此ノ二ケ年ニ麻藥類ノ法令違反ノ爲ニ處罰ヲ受ケマシタモノハ六千四百人餘リゴザイマス、尙ホ此ノ外ニ微罪不檢舉、或ハ又警察ノ方ニ知レナイ所ノ小サナ麻藥ノ犯罪ニ至リマシテハ、コレハ非常ニアルコトト考ヘテ居リマス、コレハ麻藥ノ法令違反ニ關スル犯罪デゴザイマスルケレドモ、中毒者トナリマシタル者ガ段々自分ノ資産ヲ蕩盡シ、遂ニハ恰モ乞食ノヤウナ風ニナツテ仕舞ヒマシテ、ソレデモ矢張り麻藥ヲ購入シナケレバナリマセヌガ爲ニ、色々ナ搔拂ヒダトカ、詐欺ダトカ、横領ダトカ、窃盜ダトカ、色々ノ犯罪ヲヤツテ居ルノデゴザイマス、或ル警察デ調べマシタ所ニ依リマス、一ケ年ノ犯罪件數八百餘件ノ中ニ、麻藥ニ關スル犯罪ガ百三十餘件、全件數ノ

一割七分ニ當ツテ居リマス、ソレカラ又内地ニ參ツテ居リマスル朝鮮人ノ間ニ近頃中毒者ガ非常ニ殖エテ居ルノデゴザイマシテ、例ヘバ東京ニ於キマシテ約五萬人ノ中ニ推定三千人ノ中毒者ガアリ、大阪ニ十四、五萬人居リマスル中ニモ同數位ノ中毒者ガアリ、其ノ他神戸、横濱其ノ他ノ都市ニ居リマスル朝鮮人ノ中ニモ此ノ中毒者ガ少クナイデアリマス、四十五、六萬人ノ中ニ約一萬人位アルト云フ推定デゴザイマスルガ、斯ウ云フ中毒者ガ居住シテ居ル周圍ニハ先刻申上ゲタヤウナ色々ノ犯罪ヲ起シマスルガ爲ニ、其ノ居住シテ居リマスル周圍ノ人々ハ非常ニ迷惑ヲ蒙ツテ居ル有様デゴザイマシテ、他ノ善良ナル朝鮮人マデガ疑ノ眼ヲ以テ見ラレルト云フ面白クナイ現象ヲ呈シテ居ル、コレハ内地ノコトデゴザイマスルケレドモ、内地ニ於キマシテモ此ノ麻藥類ノ中毒者ト云フモノハ相當アルノデアリマス、確カナル數字ハ解ツテ居リマセヌケレドモ、此ノ方ニ關係シテ居ル人ノ調査シタ報告ニ依リマスルト、恐ラクハ二萬近クアルデアラウ、併シナガラ朝鮮ト事情ガ違ヒマスルノハ、内地ノ之等ノ中毒者ト云フモノハ多クハ醫者、藥劑師、或ハ知識階級ノモノデゴザイマス、其ノ爲ニ朝鮮ニ於ケル中毒者ノ如ク治安上ニ障害ヲ及ボスコトガナイカラシテ、内地ニ於テハ朝鮮ニ於ケルガ如ク社會的問題ニナツテ居ナイデアラウト考ヘマスガ、併シ内地ノ下層勞働者ノ中ニモ近頃相當中毒者ガ殖エテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスルノデ、之等ハ更ニ徹底シタ取締ヲ要スルノデナカラウカト考ヘルノデゴザイマス。